

第5次名護市総合計画策定に向けての 基礎調査報告書

<アンケート調査結果分析編>

令和元年5月

名 護 市

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の設計	1
4. 回収状況	1
5. 報告書を見る際の注意事項	1

II 調査結果

1. 回答者の属性	2
(1) 居住地区	2
(2) 性別	2
(3) 年齢	2
(4) 家族構成	3
(5) 名護市での居住年数.....	4
(5-1) 名護市に転入した主な理由.....	5
(6) 職業	6
(6-1) 主な通勤・通学先.....	6
2. 名護市の住みやすさについて	7
(1) 名護市の住みやすさの評価.....	7
(1-1) 住み良いと感じる理由.....	10
(1-2) 住みにくいと感じる理由み.....	12
(2) 名護市での今後の居留意向.....	14
3. 地域での日常の暮らしについて	17
(1) 地域での日常の暮らしの満足点.....	17
(2) 地域での日常の暮らしの不満点.....	21
4. 地域のシンボル・誇りにについて	25
5. これからの名護市のまちづくりについて	26
6. 人とのつながりにについて	38
(1) ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	38
(2) いざというときに助け合える人や、頼ることができる人.....	42
(3) 挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる人.....	46
7. 現在の幸福感	50
8. 自由回答	54

I 調査概要

1. 調査の目的

新たに今後 10 年先を見据えた、市のまちづくりの目標や目指していく将来の姿を定め、それを実現するための方法や手段を総合的・体系的に明らかにする「第 5 次名護市総合計画」を策定するにあたり、市のあらゆる施策や計画の基礎資料とするために実施した。

2. 調査項目

- (1) 名護市の住みやすさについて
- (2) 地域での日常の暮らしについて
- (3) 地域のシンボル・誇りについて
- (4) これからの名護市のまちづくりについて
- (5) 人とのつながりについて

3. 調査の設計

- ・調査対象：名護市在住の 16 歳以上 80 歳未満の男女 3,000 人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成 31 年 3 月 11 日～平成 31 年 3 月 25 日

4. 回収状況

発送数	回収数	有効回収数※	有効回収率
3,000	1,101	1,100	36.7%

※有効回収数：回収数から回答が全くない票（白票）を除いた数。

5. 報告書を見る際の注意事項

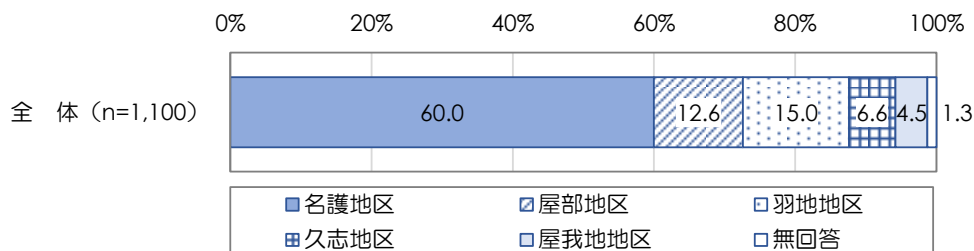
- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。
- 1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

II 調査結果

1. 回答者の属性

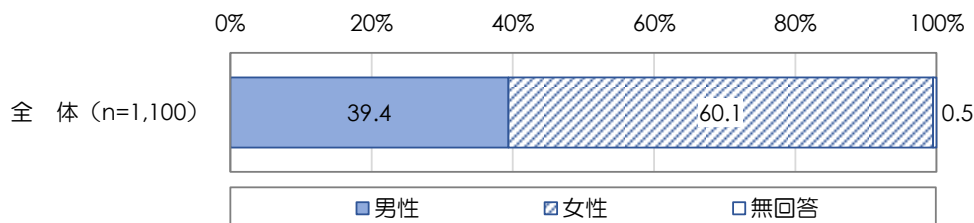
(1) 居住地区

回答者の居住地区は、「名護地区」が6割（60.0％）を占め、圧倒的に多い。以下、「羽地地区」（15.0％）、「屋部地区」（12.6％）、「久志地区」（6.6％）、「屋我地地区」（4.5％）と続いている。



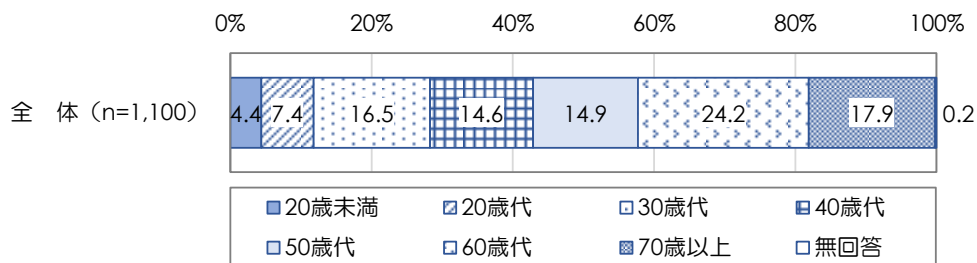
(2) 性別

回答者の性別は、「男性」が39.4％、「女性」が60.1％となっており、女性の回答率が高くなっている。



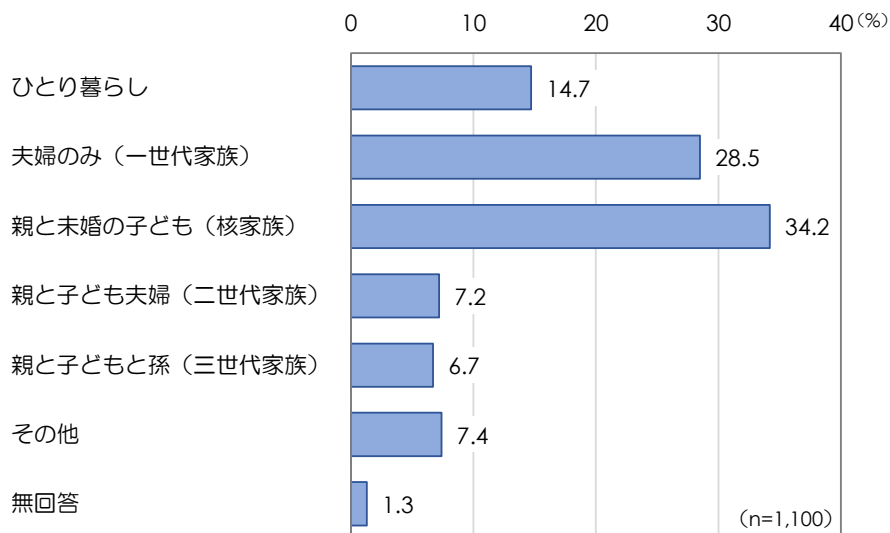
(3) 年齢

回答者の年齢は、「60歳代」が24.2％と最も多く、以下、「70歳以上」（17.9％）、「30歳代」（16.5％）と続いている。



(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と未婚の子ども（核家族）」が 34.2%と最も多く、以下、「夫婦のみ（一世代家族）」（28.5%）、「ひとり暮らし」（14.7%）と続いている。



地区別に家族構成をみると、名護地区、屋部地区、羽地地区では「親と未婚の子ども（核家族）」が最も多く、久志地区、屋我地地区では「夫婦のみ（一世代家族）」が最も多くなっている。

《地区別：家族構成》

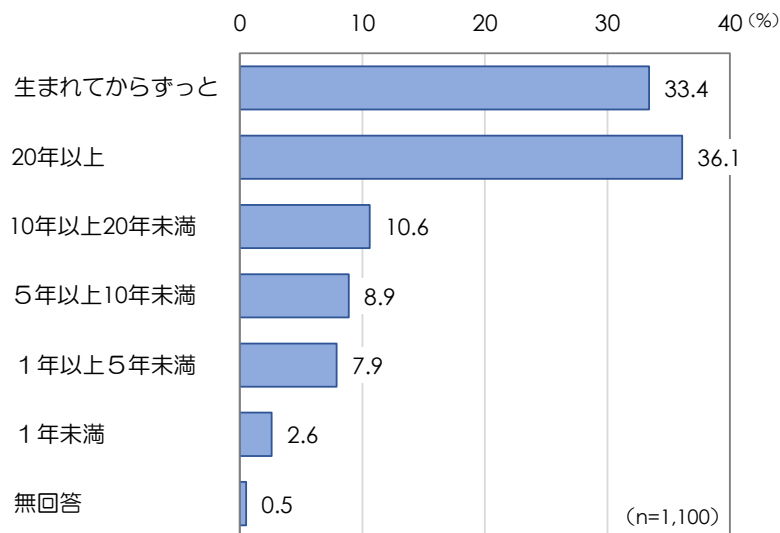
上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

	全 体	ひ と り 暮 ら し	夫 婦 の み （ 一 世 代 家 族 ）	親 と 未 婚 の 子 ど も （ 核 家 族 ）	親 と 子 ど も 夫 婦 （ 二 世 代 家 族 ）	親 と 子 ど も と 孫 （ 三 世 代 家 族 ）	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	162 14.7	314 28.5	376 34.2	79 7.2	74 6.7	81 7.4	14 1.3
名護地区	660 100.0	105 15.9	178 27.0	238 36.1	38 5.8	47 7.1	48 7.3	6 0.9
屋部地区	139 100.0	18 12.9	44 31.7	47 33.8	16 11.5	5 3.6	8 5.8	1 0.7
羽地地区	165 100.0	20 12.1	46 27.9	59 35.8	12 7.3	12 7.3	13 7.9	3 1.8
久志地区	73 100.0	11 15.1	26 35.6	17 23.3	6 8.2	5 6.8	8 11.0	－
屋我地地区	49 100.0	6 12.2	17 34.7	12 24.5	7 14.3	3 6.1	3 6.1	1 2.0

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

(5) 名護市での居住年数

回答者の名護市での居住年数は、「20 年以上」が 36.1%と最も多く、以下、「生まれてからずっと」(33.4%)、「10 年以上 20 年未満」(10.6%) と続いている。



地区別に家族構成をみると、すべての地区において「生まれてからずっと」または「20 年以上」が最も多くなっている。「1 年未満」と「1 年以上 5 年未満」を合わせた『5 年未満』をみると、羽地地区以外では 1 割程度を占めている。

《地区別：居住年数》

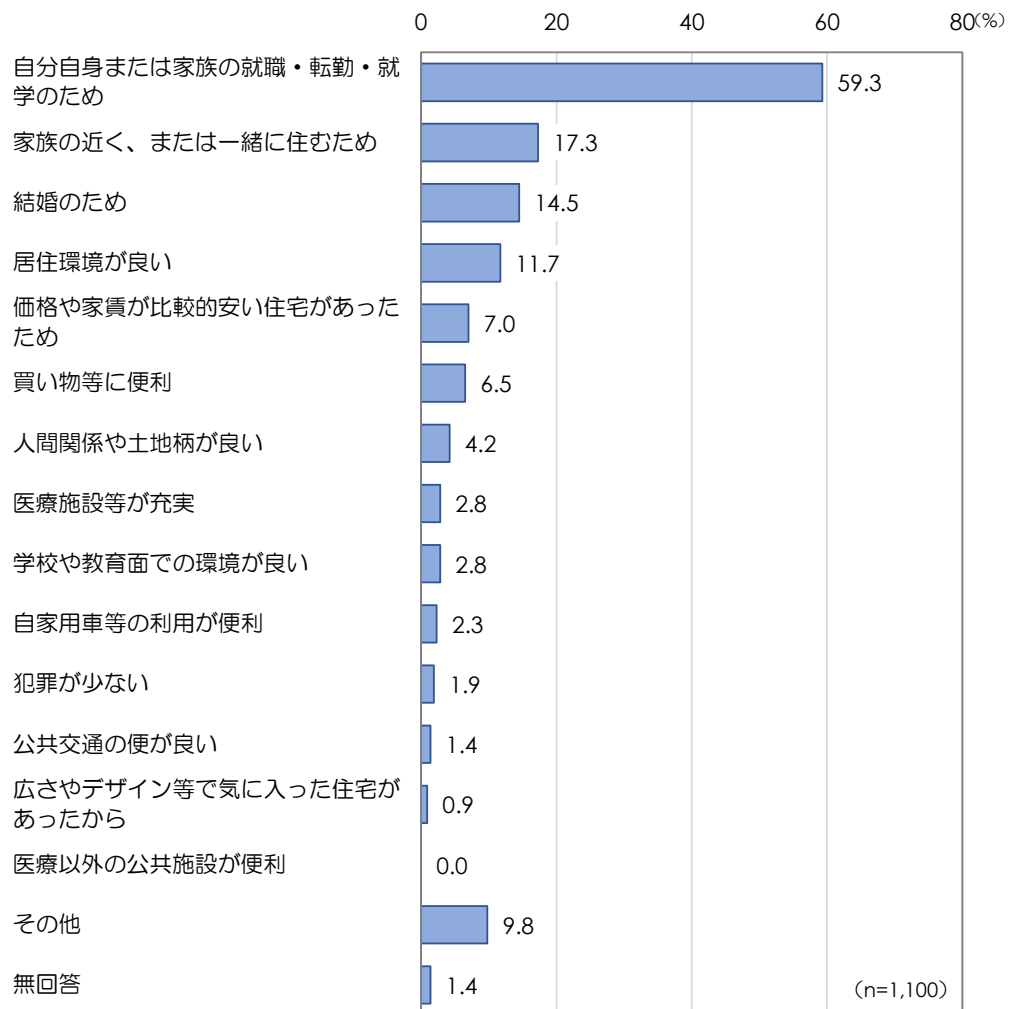
上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

	全 体	と 生 ま れ て か ら ず っ つ	2 0 年 以 上	2 0 年 未 満 1 0 年 以 上	1 0 年 未 満 5 年 以 上	1 年 以 上 5 年 未 満	1 年 未 満	無 回 答
全 体	1,100 100.0	367 33.4	397 36.1	117 10.6	98 8.9	87 7.9	29 2.6	5 0.5
名護地区	660 100.0	229 34.7	236 35.8	68 10.3	49 7.4	55 8.3	21 3.2	2 0.3
屋部地区	139 100.0	41 29.5	39 28.1	28 20.1	15 10.8	13 9.4	3 2.2	－ －
羽地地区	165 100.0	57 34.5	68 41.2	13 7.9	17 10.3	7 4.2	2 1.2	1 0.6
久志地区	73 100.0	28 38.4	25 34.2	3 4.1	9 12.3	6 8.2	2 2.7	－ －
屋我地地区	49 100.0	9 18.4	24 49.0	4 8.2	7 14.3	5 10.2	－ －	－ －

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を 、
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

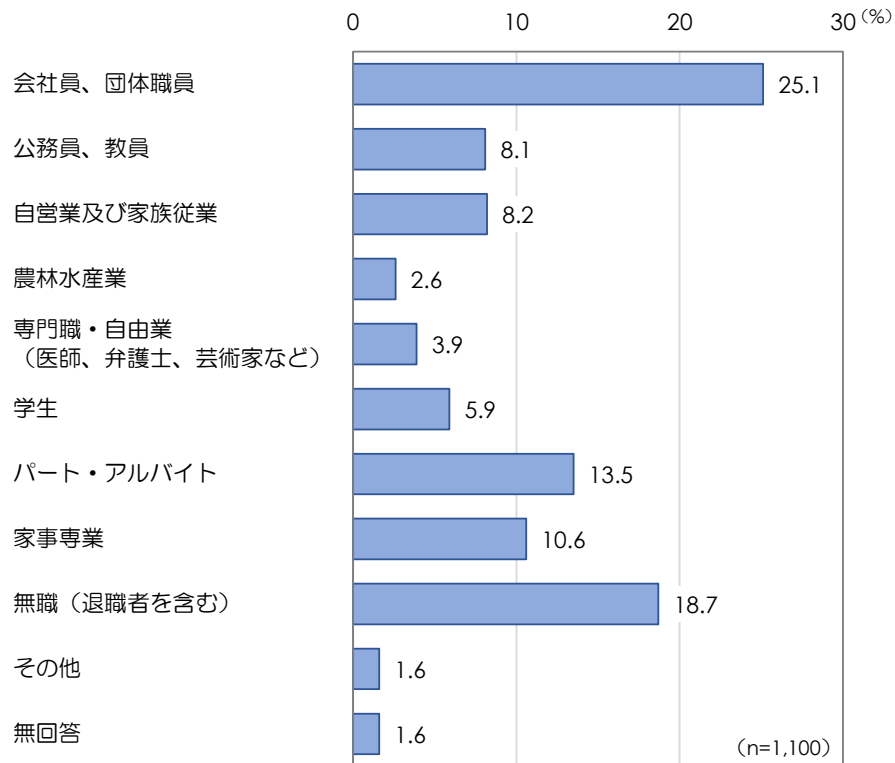
(5-1) 名護市に転入した主な理由 ※ (5) で名護市での居住年数が 10 年未満の人のみ

名護市での居住年数が 10 年未満の人の名護市への主な転入理由では、「自分自身または家族の就職・転勤・就学のため」が 59.3%と約 6 割を占め最も多く、次いで「家族の近く、または一緒に住むため」(17.3%)、「結婚のため」(14.5%)、「居住環境が良い」(11.7%)と続いている。



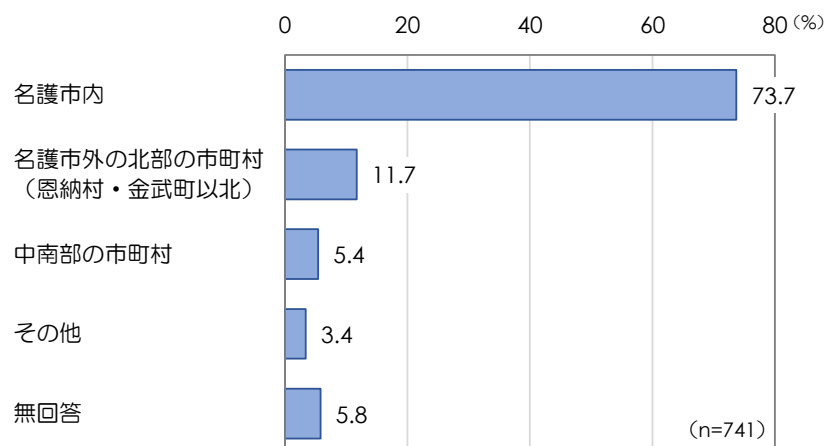
(6) 職業

回答者の職業は、「会社員、団体職員」が 25.1%と最も多く、以下、「無職（退職者を含む）」（18.7%）、「パート・アルバイト」（13.5%）と続いている。



(6-1) 主な通勤・通学先 ※(6)で家事専業、無職、その他以外を回答した人のみ

主な通勤・通学先は、「名護市内」が 73.7%と大半を占める。

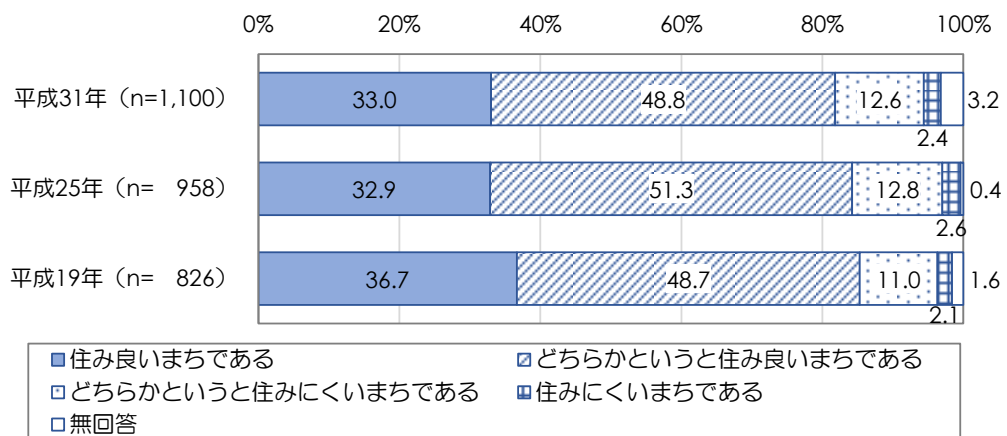


2. 名護市の住みやすさについて

(1) 名護市の住みやすさの評価

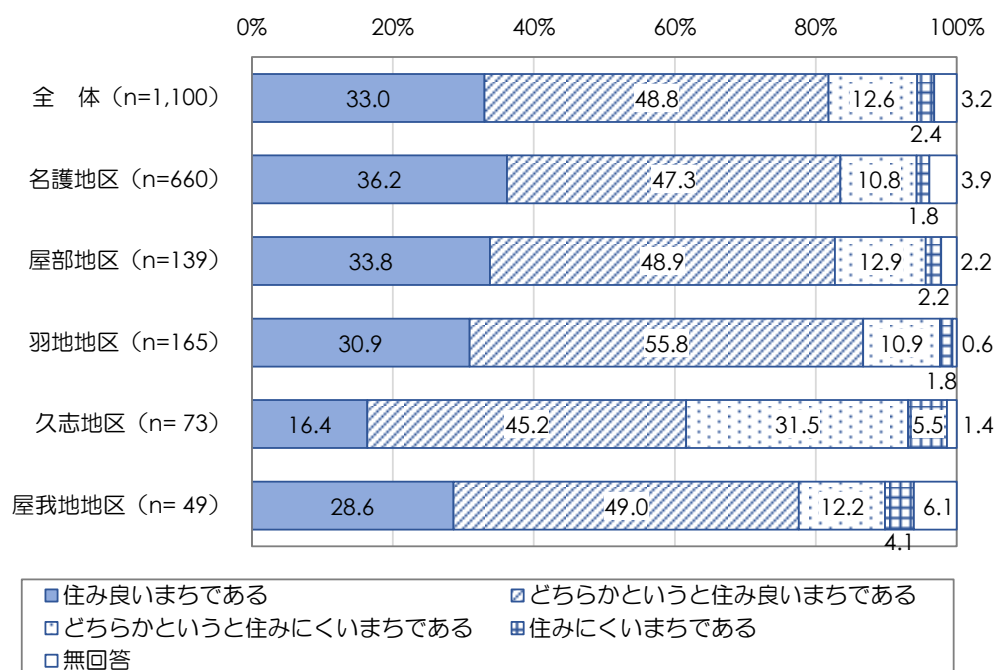
名護市の住みやすさについては、「どちらかというに住み良いまちである」が48.8%と半数近くを占め「住み良いまちである」(33.0%)と合わせると、8割以上が『住み良いまちである』との回答となっている。

平成19年・平成25年調査との比較を行うと、年々『住み良いまちである』の割合が減少傾向となっているものの、大きな差異はみられない。



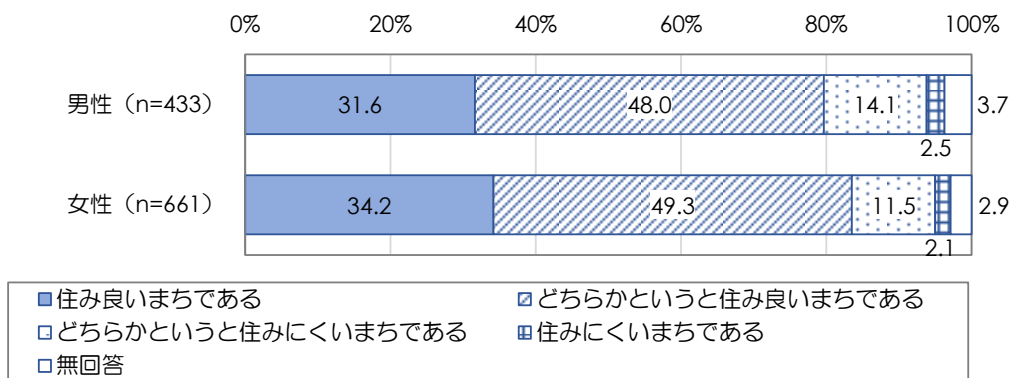
地区別にみると、久志地区では「どちらかというに住みにくいまちである」(31.5%)と「住みにくいまちである」(5.5%)を合わせると4割近くを占め、他地区に比べて高くなっている。

《地区別：名護市の住みやすさの評価》



性別にみると、「住み良いまちである」と「どちらかというに住み良いまちである」を合わせた『住み良いまちである』の割合が、男性に比べて女性でやや多くなっているものの、大きな差異はみられない。

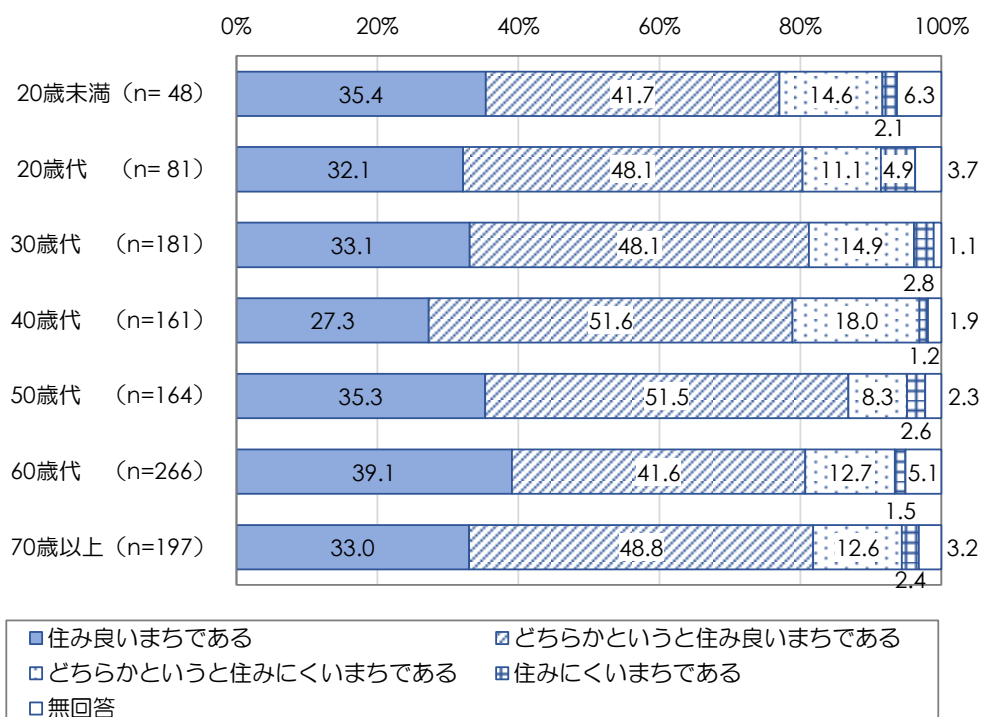
《性別：名護市の住みやすさの評価》



年齢別にみると、「住み良いまちである」と「どちらかというに住み良いまちである」を合わせた『住み良いまちである』の割合が50歳代で86.8%と最も高く、次いで70歳以上（81.8%）、30歳代（81.2%）の順となっている。

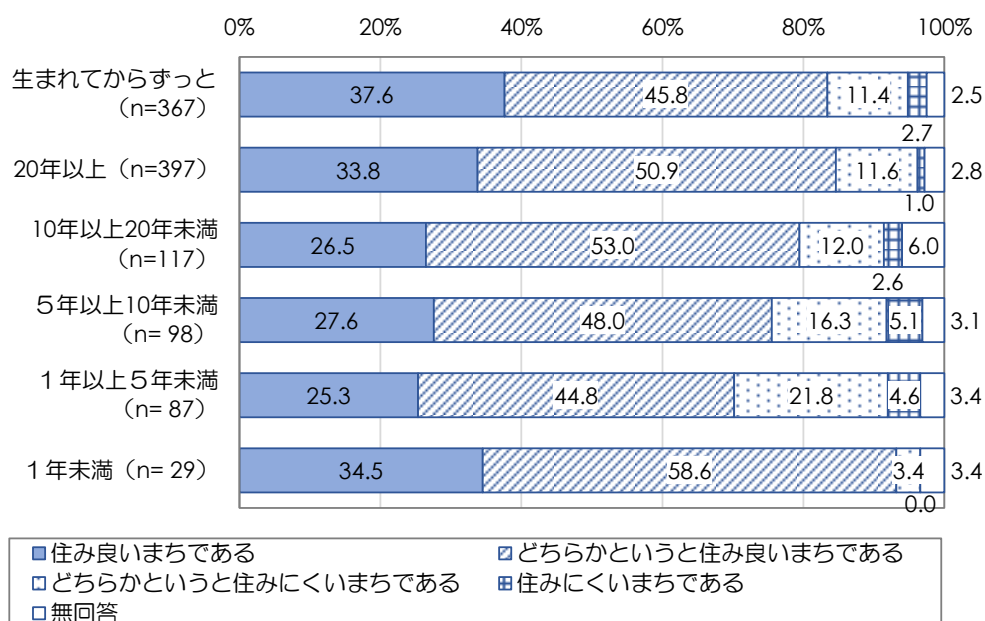
一方で、40歳代では「住みにくいまちである」と「どちらかというに住みにくいまちである」を合わせた『住みにくいまちである』が19.2%と約2割を占め、他の年代に比べてやや多くなっている。

《年齢別：名護市の住みやすさの評価》



居住年数別にみると、1年未満では「住み良いまちである」(34.5%)と「どちらかというに住み良いまちである」(58.6%)を合わせると、9割以上が『住み良いまちである』との回答となっている。一方で、1年未満を除くと、居住年数が短くなるにつれて、「どちらかというに住みにくいまちである」と「住みにくいまちである」を合わせた割合が増加している。

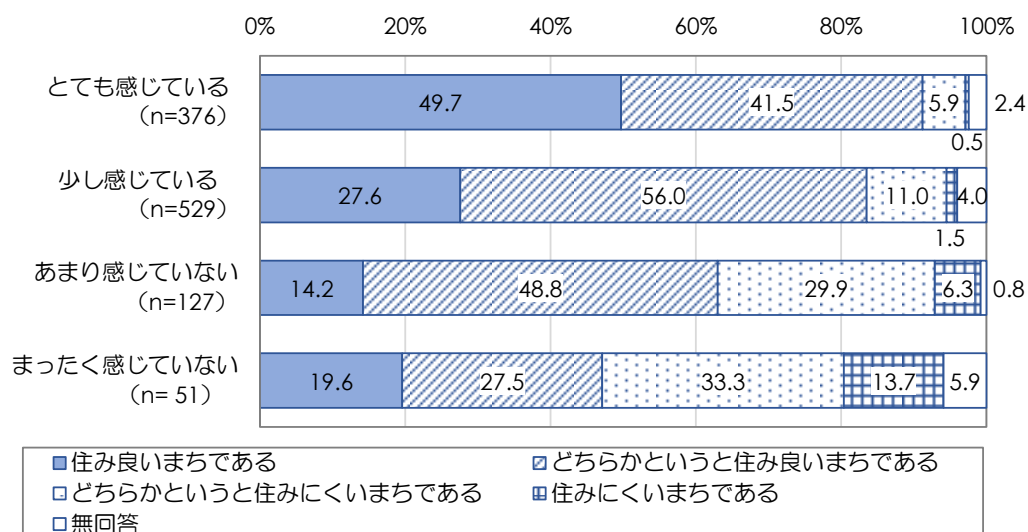
《居住年数別：名護市の住みやすさの評価》



幸福度別にみると、幸福感を感じている人ほど、「住み良いまちである」と「どちらかというに住み良いまちである」を合わせた『住み良いまちである』の割合が多くなっている。

一方で、幸福感をまったく感じていない人では「住みにくいまちである」と「どちらかというに住みにくいまちである」を合わせた『住みにくいまちである』の割合が半数近くを占める。

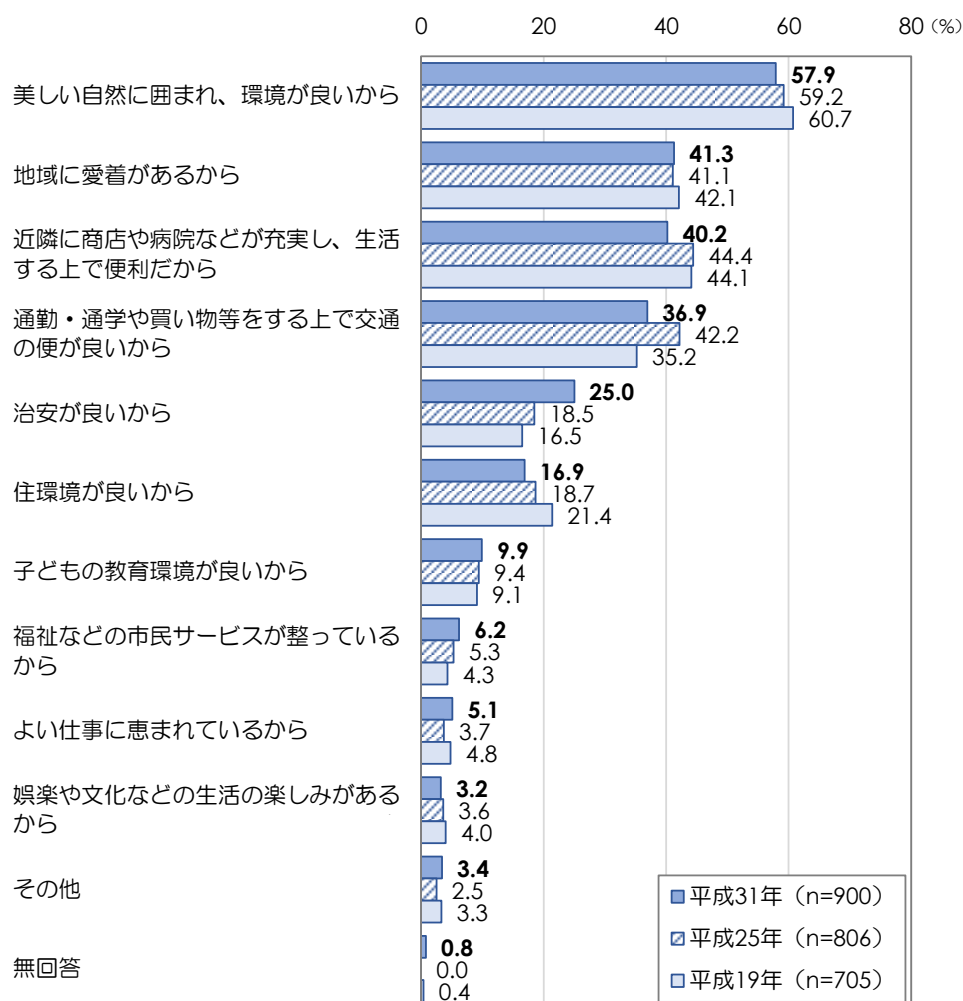
《幸福度別：名護市の住みやすさの評価》



(1-1) 住み良いと感じる理由 ※(1)で名護市を住み良いまちと回答した人のみ

名護市を住み良いと感じる理由では、「美しい自然に囲まれ、環境が良いから」が57.9%と6割近くを占め最も多く、次いで「地域に愛着があるから」(41.3%)、「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」(40.2%)の順となっている。

平成19年・平成25年調査との比較を行うと、上位項目は同様の結果となっている。平成25年調査と比べると、「治安が良いから」の割合が増加しているのに対し、「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」及び「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから」の割合が減少している。



地区別にみると、名護地区、屋部地区では「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」、羽地地区では「治安が良いから」、久志地区では「住環境が良いから」及び「よい仕事に恵まれているから」が他の地区に比べてやや高くなっている。

性別にみると、男性では「地域に愛着があるから」が女性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、20～40 歳代の働き盛りでは、「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから」が高くなっている。

《地区別・性別・年齢別：住み良いと感じる理由》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

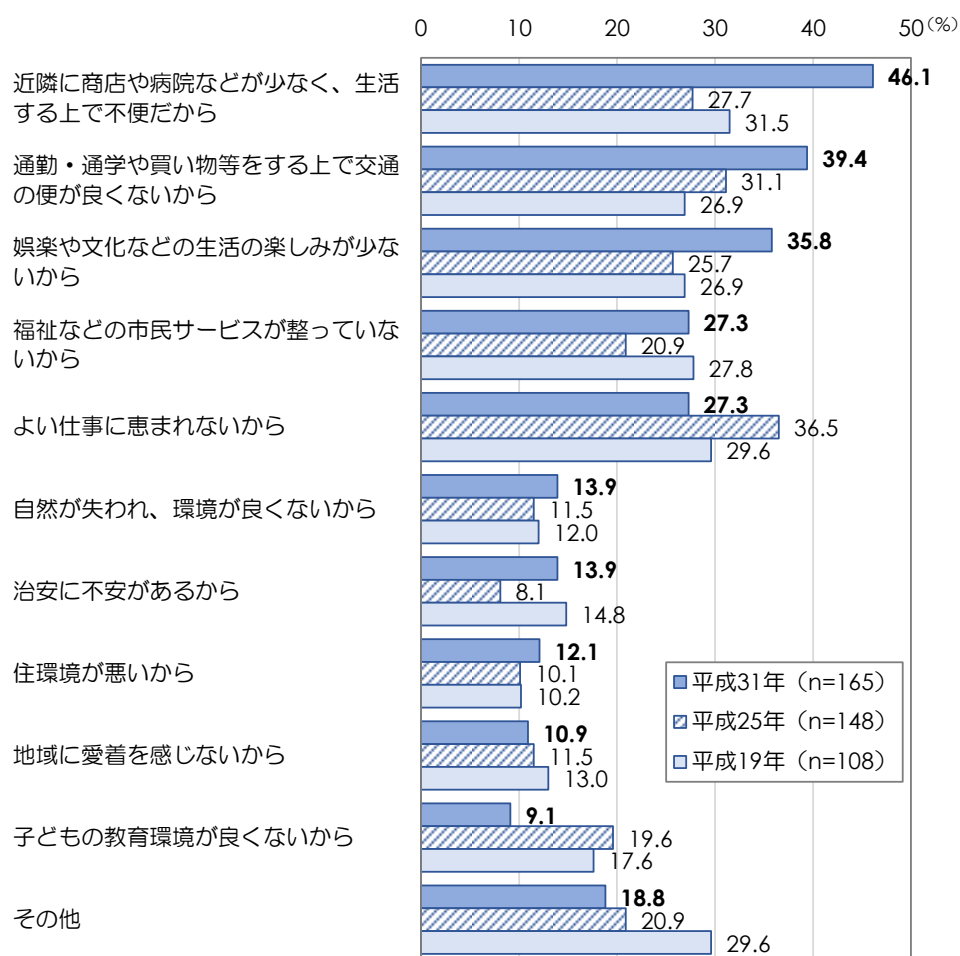
	全 体	か美 しい 自然に 囲まれ、 環境が 良い	地 域に 愛着が あるから	近 隣に 商店や 病院な どが充 実し、 生活す る上で 便利だ から	通 勤・通 学や買 い物等 をする 上で 交通の 便が良 いから	治 安が良 いから	住 環境が 良いから	子 ども の教育 環境が 良いから	福 祉など の市民 サービ スが整 つてい るから	よ い仕事 に恵ま れてい るから	娯 楽や文 化など の生活 の楽し みがある から	そ の他	無 回 答
全 体	900 100.0	521 57.9	372 41.3	362 40.2	332 36.9	225 25.0	152 16.9	89 9.9	56 6.2	46 5.1	29 3.2	31 3.4	7 0.8
名護地区	551 100.0	314 57.0	212 38.5	250 45.4	234 42.5	134 24.3	85 15.4	51 9.3	31 5.6	31 5.6	16 2.9	14 2.5	5 0.9
屋部地区	115 100.0	61 53.0	45 39.1	47 40.9	41 35.7	25 21.7	21 18.3	14 12.2	8 7.0	7 6.1	5 4.3	6 5.2	- -
羽地地区	143 100.0	88 61.5	64 44.8	53 37.1	47 32.9	44 30.8	26 18.2	14 9.8	11 7.7	2 1.4	6 4.2	3 2.1	2 1.4
久志地区	45 100.0	25 55.6	32 71.1	4 8.9	2 4.4	10 22.2	12 26.7	6 13.3	2 4.4	5 11.1	1 2.2	3 6.7	- -
屋我地地区	38 100.0	29 76.3	16 42.1	4 10.5	4 10.5	10 26.3	6 15.8	4 10.5	4 10.5	1 2.6	1 2.6	3 7.9	- -
男性	345 100.0	206 59.7	162 47.0	132 38.3	118 34.2	91 26.4	66 19.1	30 8.7	19 5.5	22 6.4	8 2.3	11 3.2	1 0.3
女性	552 100.0	313 56.7	209 37.9	229 41.5	214 38.8	132 23.9	86 15.6	59 10.7	37 6.7	24 4.3	21 3.8	19 3.4	6 1.1
20 歳未満	37 100.0	21 56.8	15 40.5	14 37.8	7 18.9	9 24.3	5 13.5	1 2.7	3 8.1	- -	2 5.4	- -	- -
20 歳代	65 100.0	39 60.0	30 46.2	18 27.7	32 49.2	19 29.2	10 15.4	8 12.3	1 1.5	5 7.7	3 4.6	3 4.6	- -
30 歳代	147 100.0	76 51.7	50 34.0	54 36.7	68 46.3	26 17.7	23 15.6	34 23.1	14 9.5	12 8.2	4 2.7	5 3.4	- -
40 歳代	127 100.0	78 61.4	41 32.3	49 38.6	62 48.8	17 13.4	19 15.0	15 11.8	5 3.9	8 6.3	5 3.9	8 6.3	- -
50 歳代	133 100.0	73 54.9	59 44.4	50 37.6	58 43.6	34 25.6	21 15.8	7 5.3	2 1.5	10 7.5	2 1.5	4 3.0	1 0.8
60 歳代	231 100.0	137 59.3	107 46.3	103 44.6	63 27.3	65 28.1	41 17.7	11 4.8	16 6.9	7 3.0	8 3.5	9 3.9	6 2.6
70 歳以上	159 100.0	96 60.4	69 43.4	74 46.5	42 26.4	54 34.0	33 20.8	13 8.2	15 9.4	4 2.5	5 3.1	2 1.3	- -

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を、
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

(1-2) 住みにくいと感じる理由 ※(1)で名護市を住みにくいまちと回答した人のみ

名護市を住みにくいと感じる理由では、「近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから」が46.1%と4割以上を占め最も多く、次いで「通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」(39.4%)、「娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから」(35.8%)の順となっている。

平成19年・平成25年調査との比較を行うと、上位項目は年々割合が増加している。平成25年調査と比べると、「よい仕事に恵まれないから」、「子どもの教育環境が良くないから」の割合が大幅に減少している。



地区別にみると、名護地区、屋部地区、羽地地区では「娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから」が最も多くなっている。

性別にみると、男性では「娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから」が女性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、20～30 歳代の働き盛りでは、「娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから」が最も高くなっている。

《地区別・性別・年齢別：住みにくいとを感じる理由》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

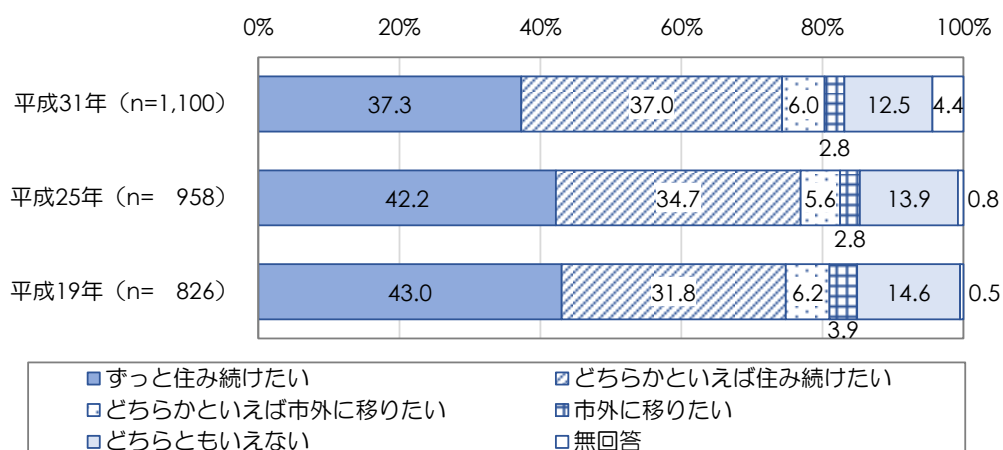
	全 体	近 隣に商店や病院などが少なく、 生活する上で不便だから	通 勤・通学や買い物等をする上で 交通の便が良くないから	娯 楽や文化などの生活の楽しみ が少ないから	福 祉などの市民サービスが整っ ていないから	よ い仕事に恵まれないから	自 然が失われ、環境が良くないか ら	治 安に不安があるから	住 環境が悪いから	地 域に愛着を感じないから	子 どもの教育環境が良くないか ら	そ の 他
全 体	165 100.0	76 46.1	65 39.4	59 35.8	45 27.3	45 27.3	23 13.9	23 13.9	20 12.1	18 10.9	15 9.1	31 18.8
名護地区	83 100.0	30 36.1	28 33.7	33 39.8	28 33.7	30 36.1	11 13.3	10 12.0	10 12.0	9 10.8	10 12.0	12 14.5
屋部地区	21 100.0	8 38.1	8 38.1	10 47.6	7 33.3	4 19.0	3 14.3	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	7 33.3
羽地地区	21 100.0	9 42.9	8 38.1	10 47.6	3 14.3	3 14.3	1 4.8	3 14.3	2 9.5	5 23.8	2 9.5	7 33.3
久志地区	27 100.0	20 74.1	16 59.3	2 7.4	5 18.5	4 14.8	6 22.2	4 14.8	5 18.5	3 11.1	1 3.7	2 7.4
屋我地地区	8 100.0	5 62.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	- -	1 12.5
男性	72 100.0	30 41.7	25 34.7	31 43.1	24 33.3	23 31.9	9 12.5	10 13.9	10 13.9	6 8.3	7 9.7	13 18.1
女性	90 100.0	44 48.9	40 44.4	28 31.1	20 22.2	22 24.4	13 14.4	12 13.3	10 11.1	11 12.2	8 8.9	17 18.9
20 歳未満	8 100.0	3 37.5	6 75.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	3 37.5	1 12.5
20 歳代	13 100.0	4 30.8	5 38.5	8 61.5	3 23.1	2 15.4	2 15.4	4 30.8	1 7.7	2 15.4	1 7.7	3 23.1
30 歳代	32 100.0	13 40.6	11 34.4	16 50.0	8 25.0	14 43.8	1 3.1	4 12.5	1 3.1	4 12.5	4 12.5	6 18.8
40 歳代	31 100.0	14 45.2	13 41.9	11 35.5	7 22.6	10 32.3	5 16.1	3 9.7	4 12.9	3 9.7	4 12.9	5 16.1
50 歳代	23 100.0	14 60.9	11 47.8	6 26.1	5 21.7	4 17.4	5 21.7	3 13.0	3 13.0	3 13.0	- -	4 17.4
60 歳代	29 100.0	14 48.3	9 31.0	7 24.1	11 37.9	11 37.9	5 17.2	4 13.8	4 13.8	4 13.8	1 3.4	6 20.7
70 歳以上	28 100.0	13 46.4	10 35.7	8 28.6	10 35.7	3 10.7	4 14.3	3 10.7	6 21.4	2 7.1	2 7.1	6 21.4

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

(2) 名護市での今後の居住意向

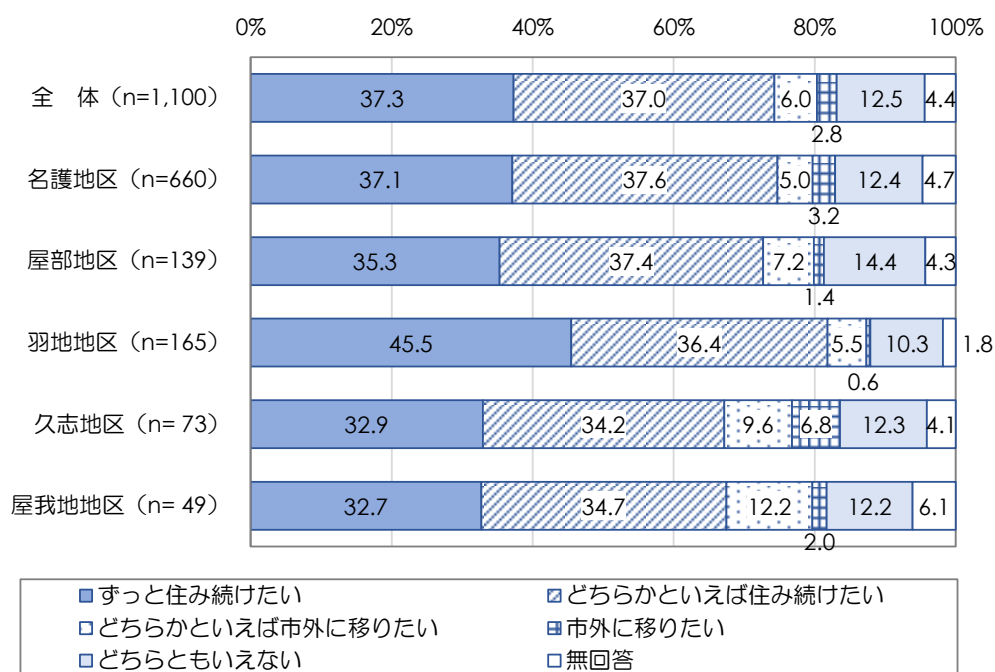
名護市での今後の定住意向については、「ずっと住みたい」が37.3%と最も高く、「どちらかといえば住みたい」(37.0%)と合わせると、7割以上が名護市に住みたいとの回答となっている。

平成19年・平成25年調査との比較を行うと、「ずっと住みたい」の割合が年々減少傾向となっているものの、大きな差異はみられない。



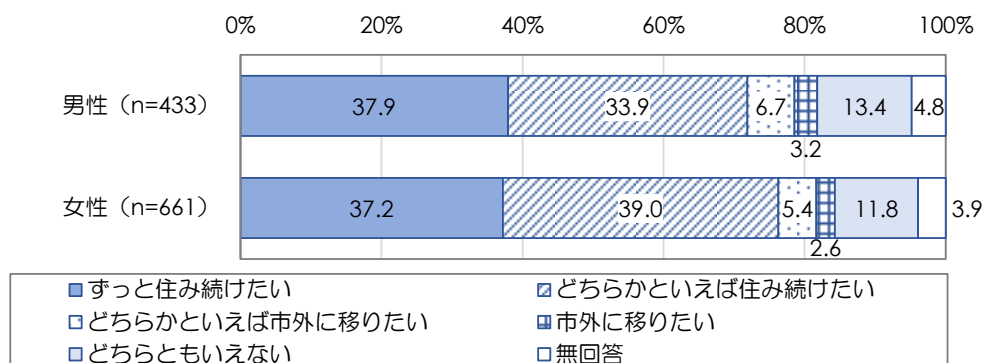
地区別にみると、羽地地区では「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた名護市での居住継続意向が81.9%と最も高く、反対に久志地区、屋我地地区では7割未満と、他の地区に比べてやや低くなっている。

《地区別：名護市での今後の居住意向》



性別にみると、「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた居住継続意向の割合が、男性に比べて女性でやや多くなっているものの、大きな差異はみられない。

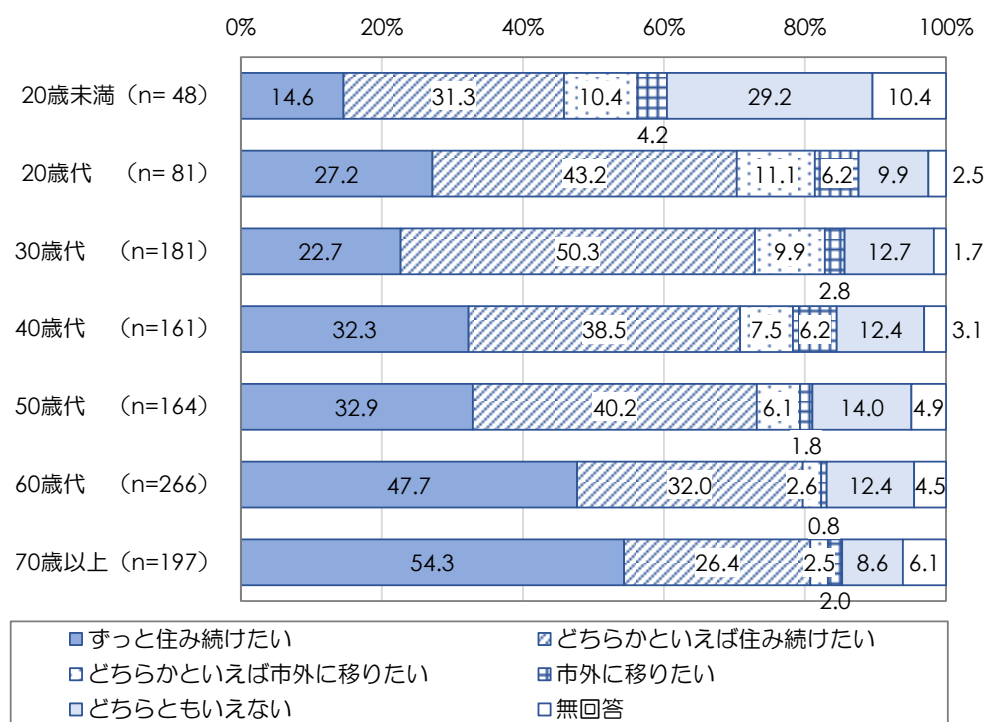
《性別：名護市での今後の居住意向》



年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた居住継続意向が高くなっている。

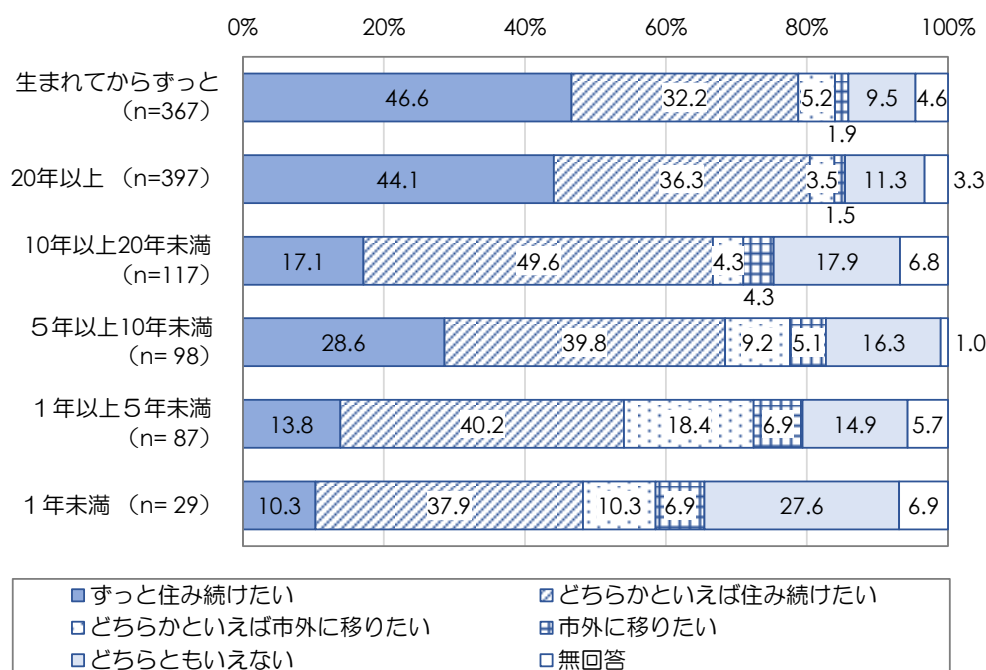
一方で、「どちらかといえば市外に移りたい」と「市外に移りたい」を合わせた市外移転以降の割合は20歳代で最も高く、2割近く（17.3%）を占める。

《年齢別：名護市での今後の居住意向》



居住年数別にみると、居住年数が短くなるにつれて、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた居住継続意向が減少傾向となっており、20年以上居住の人では8割前後の居住意向となっているのに対し、1年未満の人では半数未満となっている。

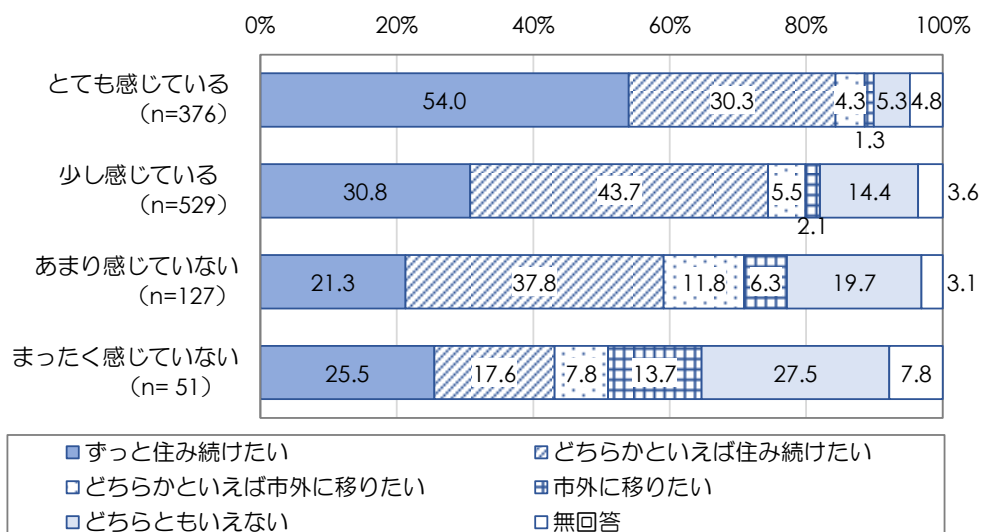
《居住年数別：名護市での今後の居住意向》



幸福度別にみると、幸福感を感じている人ほど、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた居住継続意向が高くなっている。

一方で、幸福感を感じていない人では「どちらかといえば市外に移りたい」と「市外に移りたい」を合わせた市外移転以降の割合が2割近くを占める。

《幸福度別：名護市での今後の居住意向》

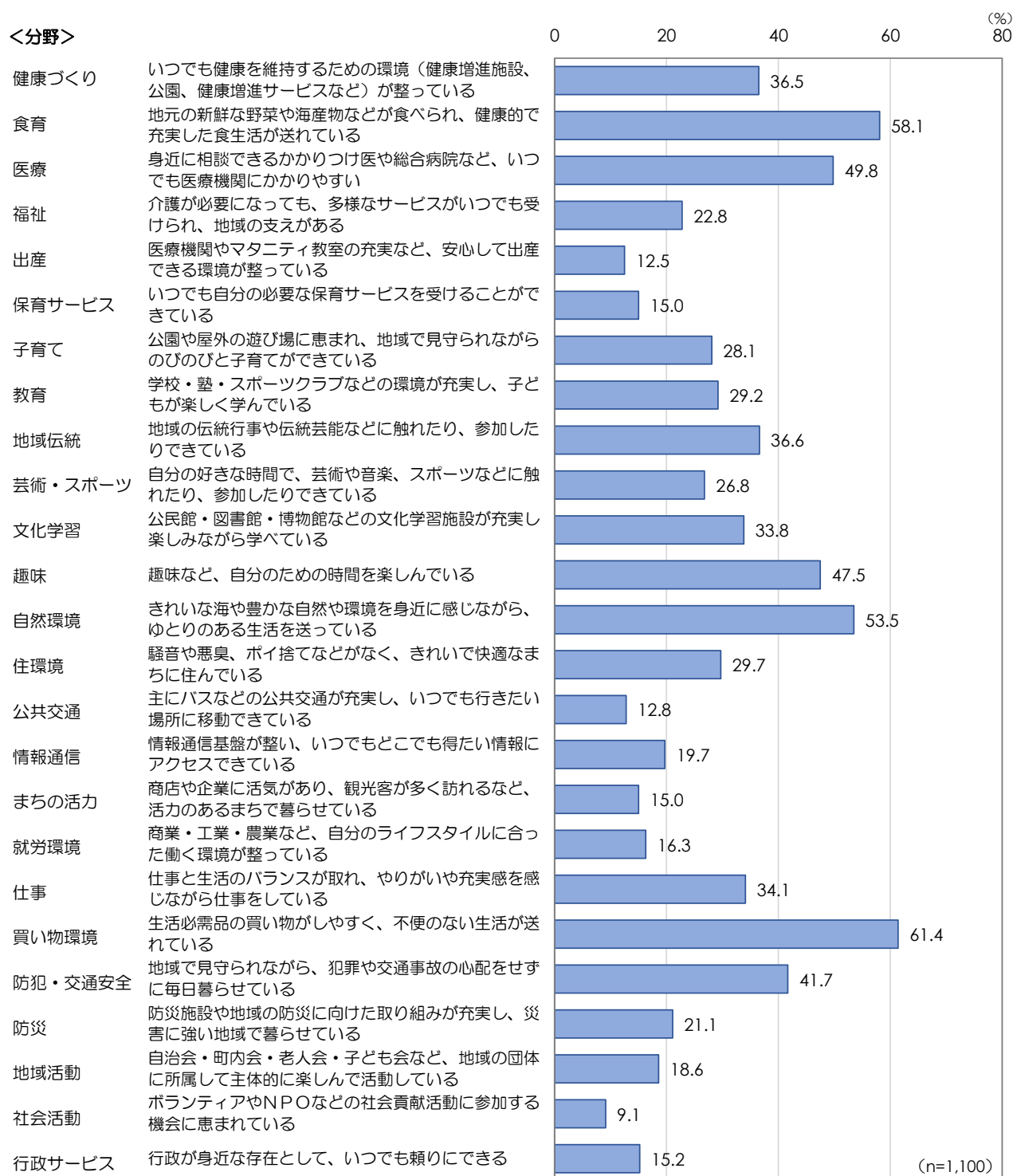


3. 地域での日常の暮らしについて

(1) 地域での日常の暮らしの満足点

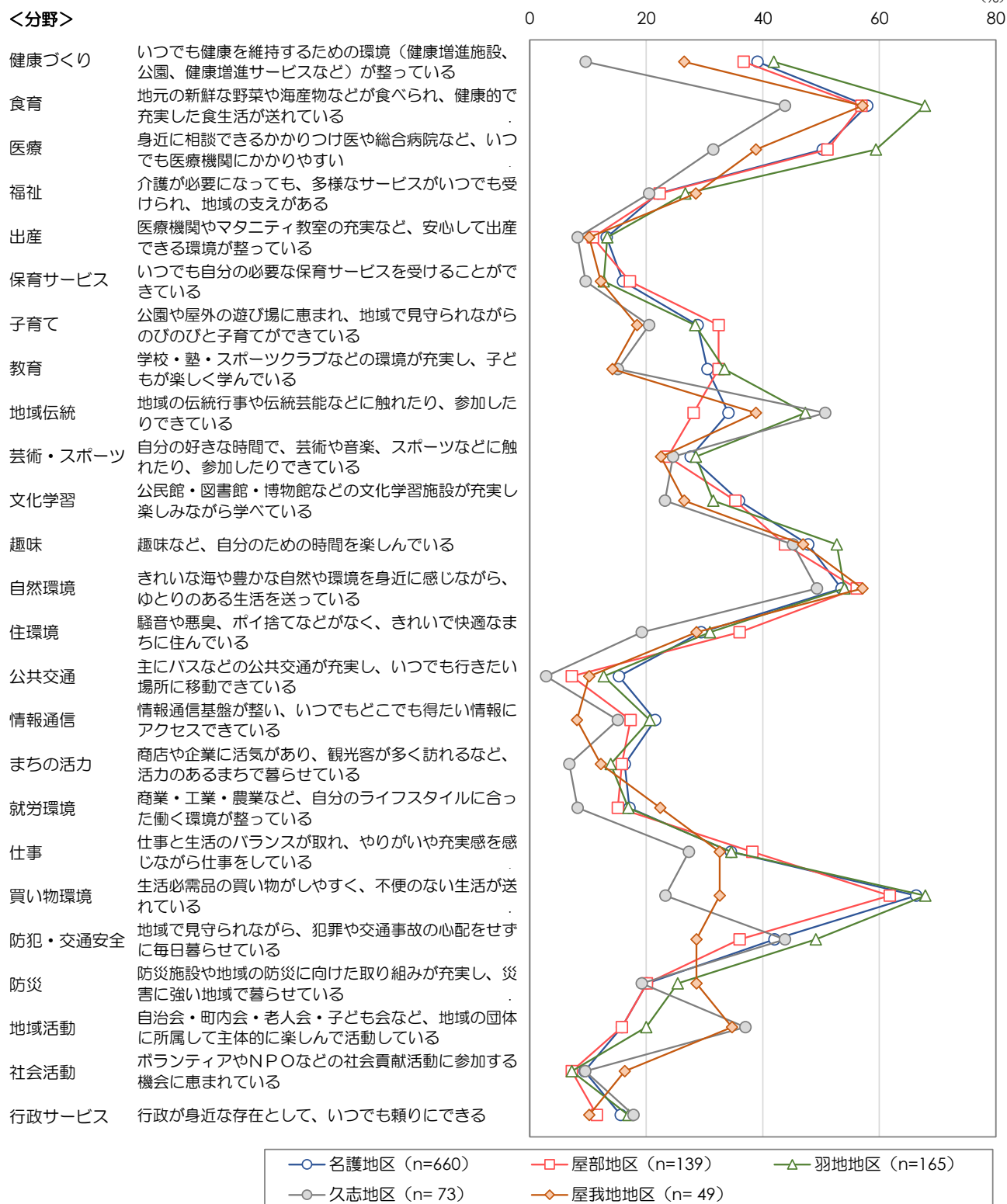
(「とてもそう思う」「少しそう思う」を合わせた割合)

名護市での地域での日常の暮らしの満足点については、「生活必需品の買い物がしやすく、不便のない生活が送れている」が61.4%と最も高く、次いで「地元の新鮮な野菜や海産物などが食べられ、健康的で充実した食生活が送れている」(58.1%)、「きれいな海や豊かな自然や環境を身近に感じながら、ゆとりのある生活を送っている」(53.5%)の順となっている。



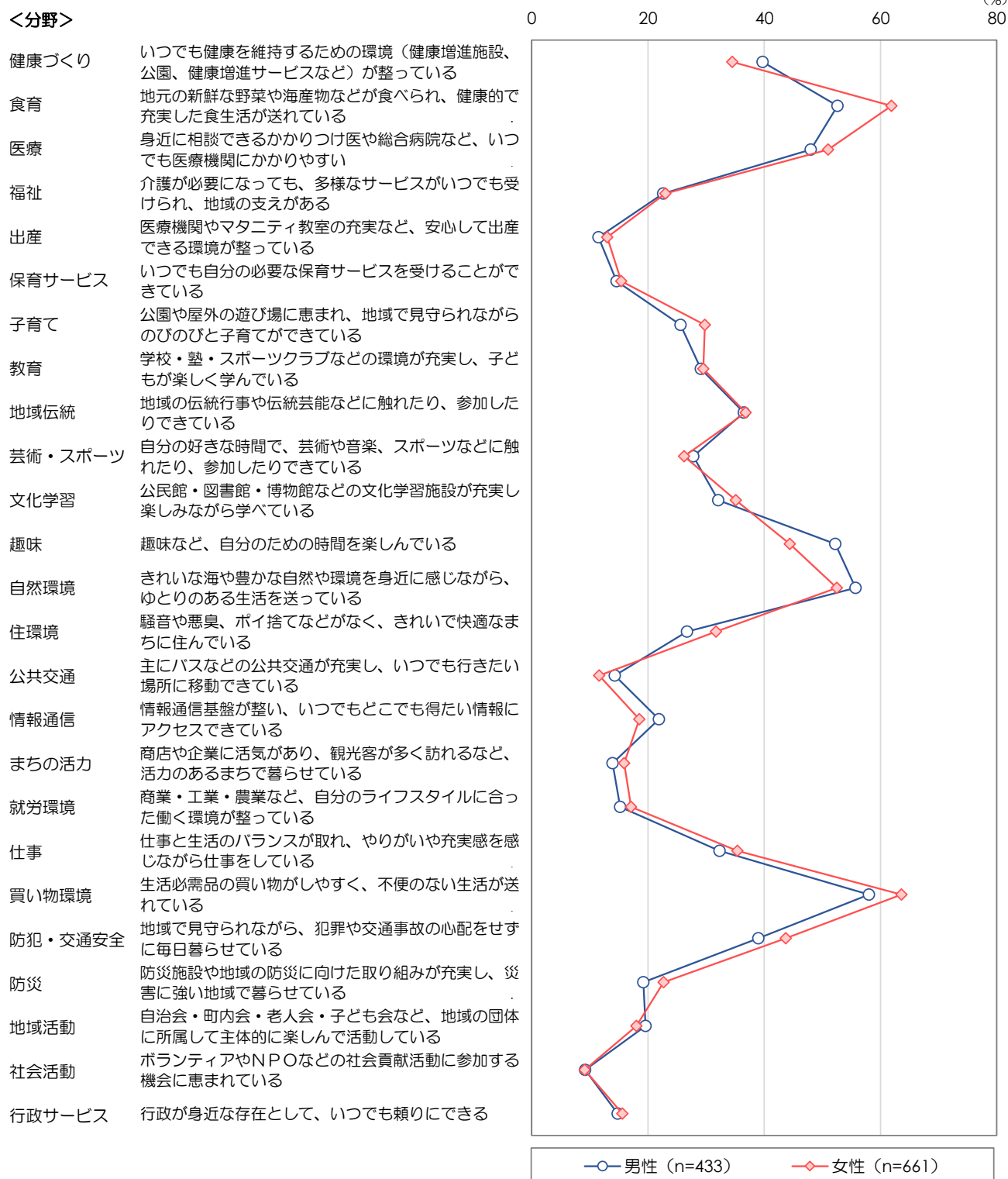
地区別にみると、ほとんどの項目で久志地区、屋我地地区の満足度が低く、特に「いつでも健康を維持するための環境が整っている」や「生活必需品の買い物がしやすく、不便のない生活が送れている」では、その差が大きくなっている。一方で、「自治会・町内会・老人会・子ども会など、地域の団体に所属して主体的に楽しんで活動している」では満足度が高くなっている。

《地区別：地域での日常の暮らしの満足点》



性別にみると、男性では「趣味など、自分のための時間を楽しんでいる」、女性では「地元の新鮮な野菜や海産物などが食べられ、健康的で充実した食生活が送れている」で、それぞれやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。

《性別：地域での日常の暮らしの満足点》



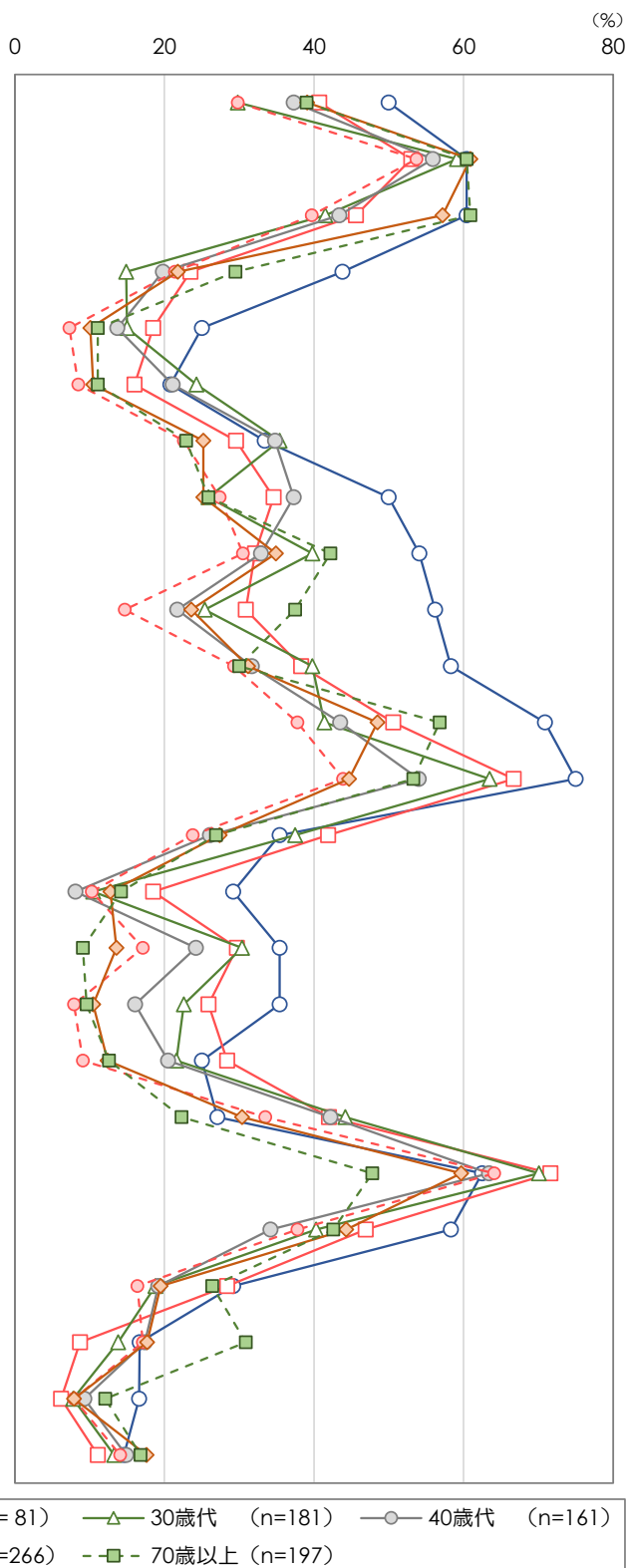
年齢別にみると、ほとんどの項目で20歳未満の満足度が最も高く、特に「きれいな海や豊かな自然や環境を身近に感じながら、ゆとりのある生活を送っている」では7割以上を占める。

一方で、「自分の好きな時間で、芸術や音楽、スポーツなどに触れたり、参加したりできている」では、20歳未満では半数を超えるのに対し、50歳代では2割未満と、大きな差がみられる。

《年齢別：地域での日常の暮らしの満足点》

<分野>

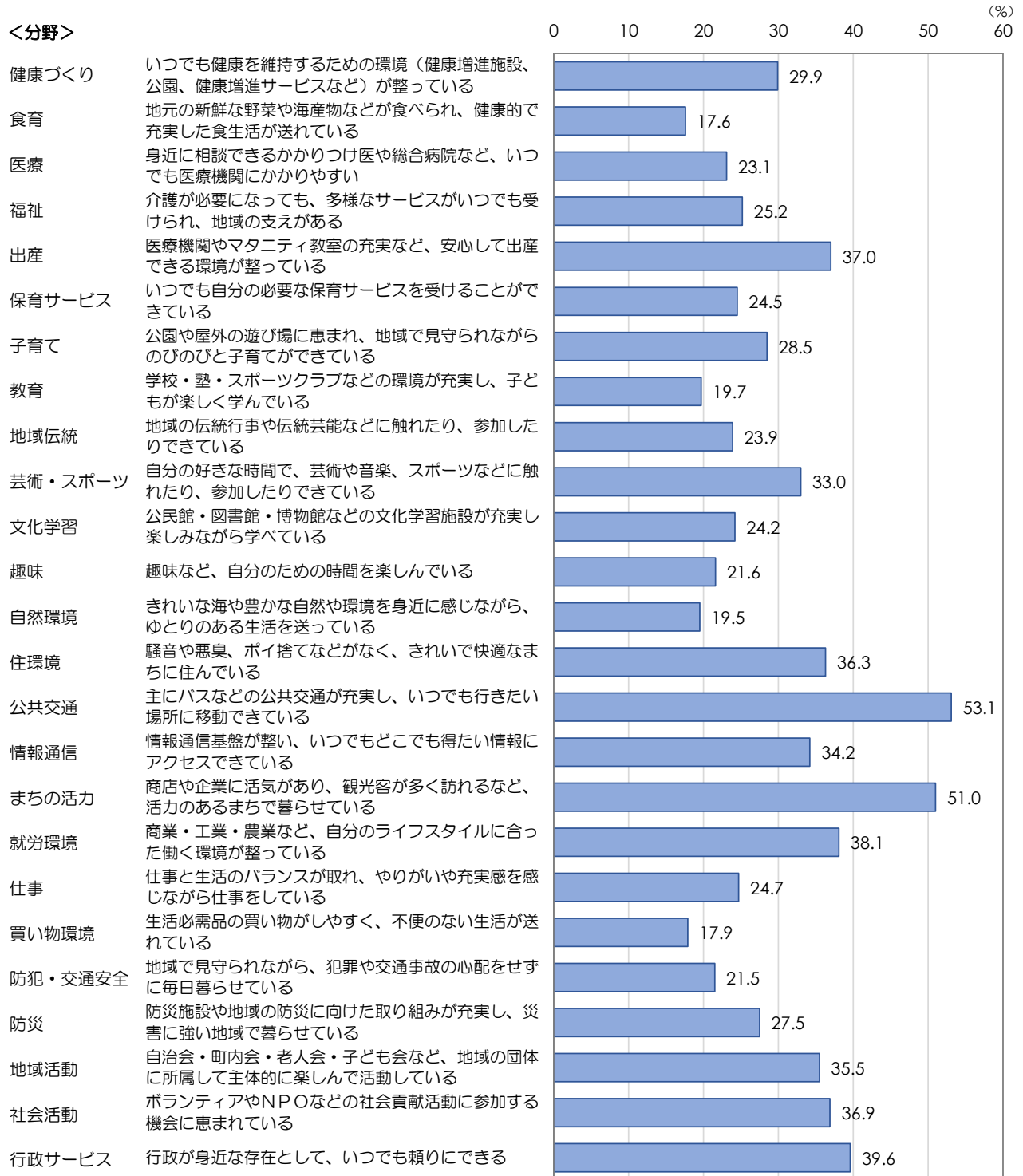
健康づくり	いつでも健康を維持するための環境（健康増進施設、公園、健康増進サービスなど）が整っている
食育	地元の新鮮な野菜や海産物などが食べられ、健康的で充実した食生活が送れている
医療	身近に相談できるかかりつけ医や総合病院など、いつでも医療機関にかかりやすい
福祉	介護が必要になっても、多様なサービスがいつでも受けられ、地域の支えがある
出産	医療機関やマタニティ教室の充実など、安心して出産できる環境が整っている
保育サービス	いつでも自分の必要な保育サービスを受けることができる
子育て	公園や屋外の遊び場に恵まれ、地域で見守られながらのびのびと子育てができている
教育	学校・塾・スポーツクラブなどの環境が充実し、子どもが楽しく学んでいる
地域伝統	地域の伝統行事や伝統芸能などに触れたり、参加したりできている
芸術・スポーツ	自分の好きな時間で、芸術や音楽、スポーツなどに触れたり、参加したりできている
文化学習	公民館・図書館・博物館などの文化学習施設が充実し楽しみながら学んでいる
趣味	趣味など、自分のための時間を楽しんでいる
自然環境	きれいな海や豊かな自然や環境を身近に感じながら、ゆとりのある生活を送っている
住環境	騒音や悪臭、ゴミ捨てなどがなく、きれいで快適なまちに住んでいる
公共交通	主にバスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所に移動できている
情報通信	情報通信基盤が整い、いつでもどこでも得たい情報にアクセスできている
まちの活力	商店や企業に活気があり、観光客が多く訪れるなど、活力のあるまちで暮らせている
就労環境	商業・工業・農業など、自分のライフスタイルに合った働く環境が整っている
仕事	仕事と生活のバランスが取れ、やりがいや充実感を感じながら仕事をしている
買い物環境	生活必需品の買い物がしやすく、不便のない生活が送れている
防犯・交通安全	地域で見守られながら、犯罪や交通事故の心配をせずに毎日暮らせている
防災	防災施設や地域の防災に向けた取り組みが充実し、災害に強い地域で暮らせている
地域活動	自治会・町内会・老人会・子ども会など、地域の団体に所属して主体的に楽しんで活動している
社会活動	ボランティアやNPOなどの社会貢献活動に参加する機会に恵まれている
行政サービス	行政が身近な存在として、いつでも頼りにできる



(2) 地域での日常の暮らしの不満点

(「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合)

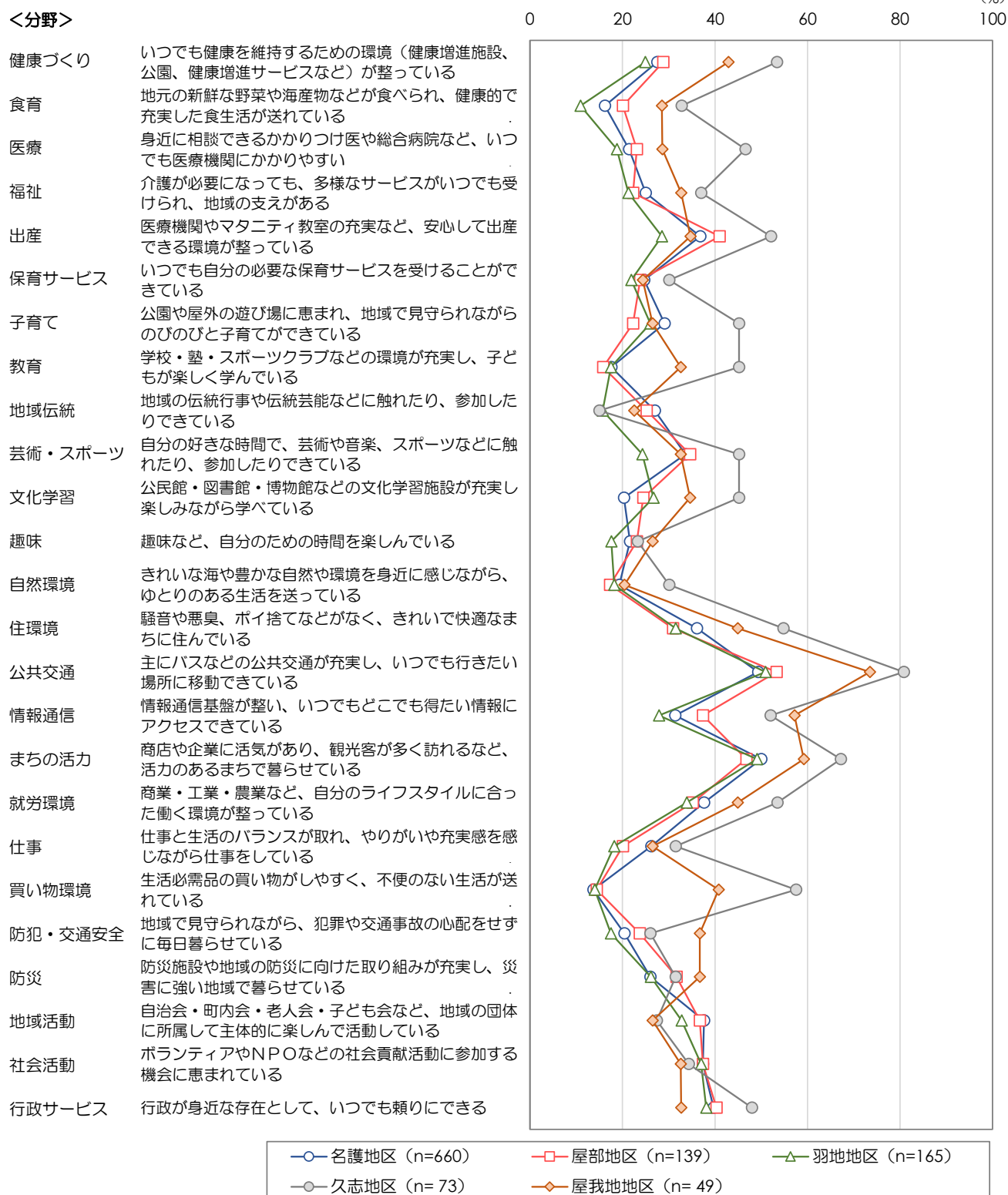
名護市での地域での日常の暮らしの不満点については、「主にバスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所へ移動できている」が53.1%と最も高く、次いで「商店や企業に活気があり、観光客が多く訪れるなど、活力のあるまちで暮らせている」(51.0%)が高くなっている。



(n=1,100)

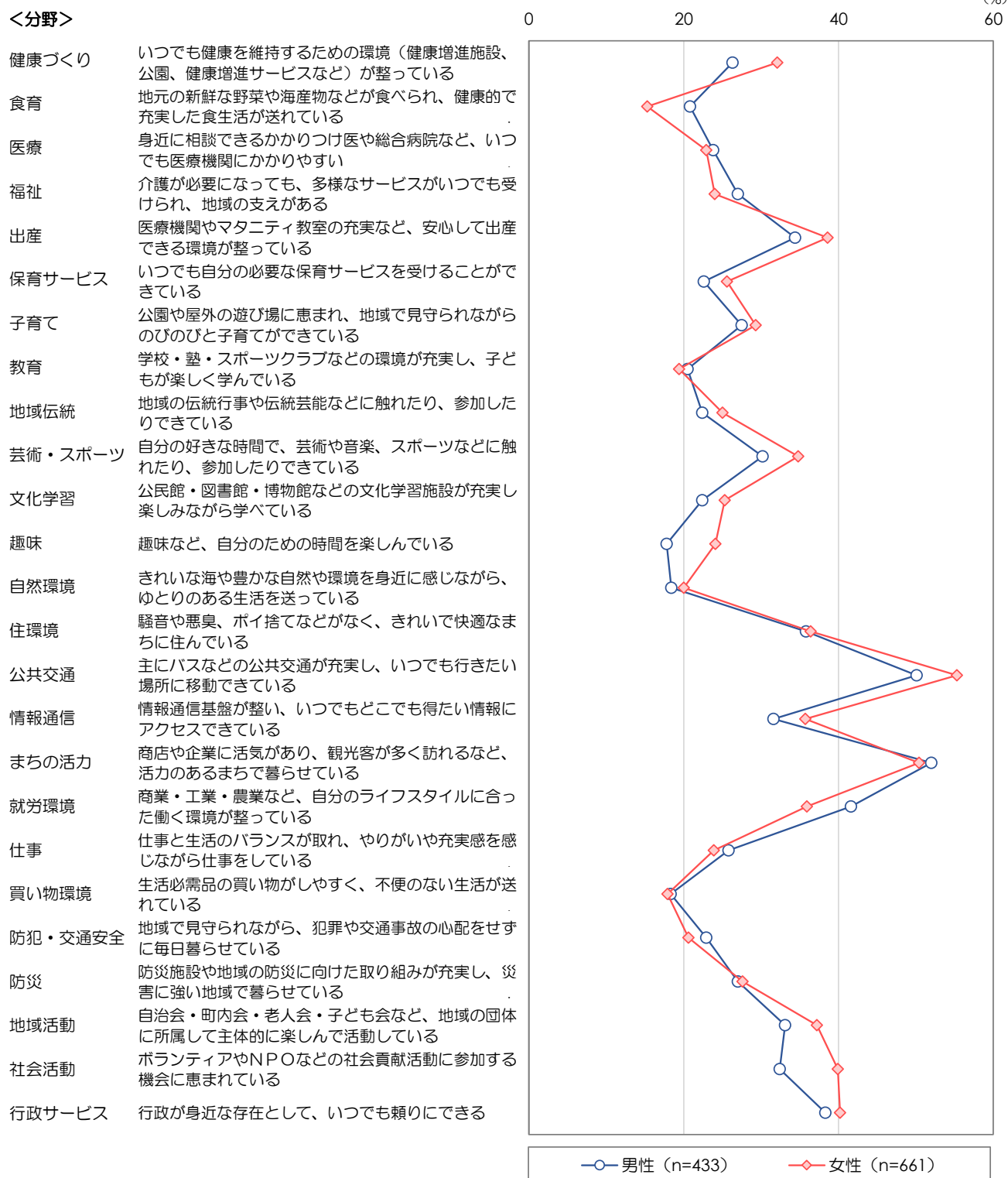
地区別にみると、満足点とは反対に、ほとんどの項目で久志地区、屋我地地区の不満度が高く、特に「主にバスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所に移動できている」や「商店や企業に活気があり、観光客が多く訪れるなど、活力のあるまちで暮らせている」では大半の人が不満と回答している。

《地区別：地域での日常の暮らしの不満点》



性別にみると、半分以上の項目で男性に比べて女性の不満度が高く、特に「いつでも健康を維持するための環境が整っている」や「趣味など、自分のための時間を楽しんでいる」、「商業・工業・農業など、自分のライフスタイルに合った働く環境が整っている」、「ボランティアやNPOなどの社会貢献活動に参加する機会に恵まれている」などで、やや差が大きくなっている。

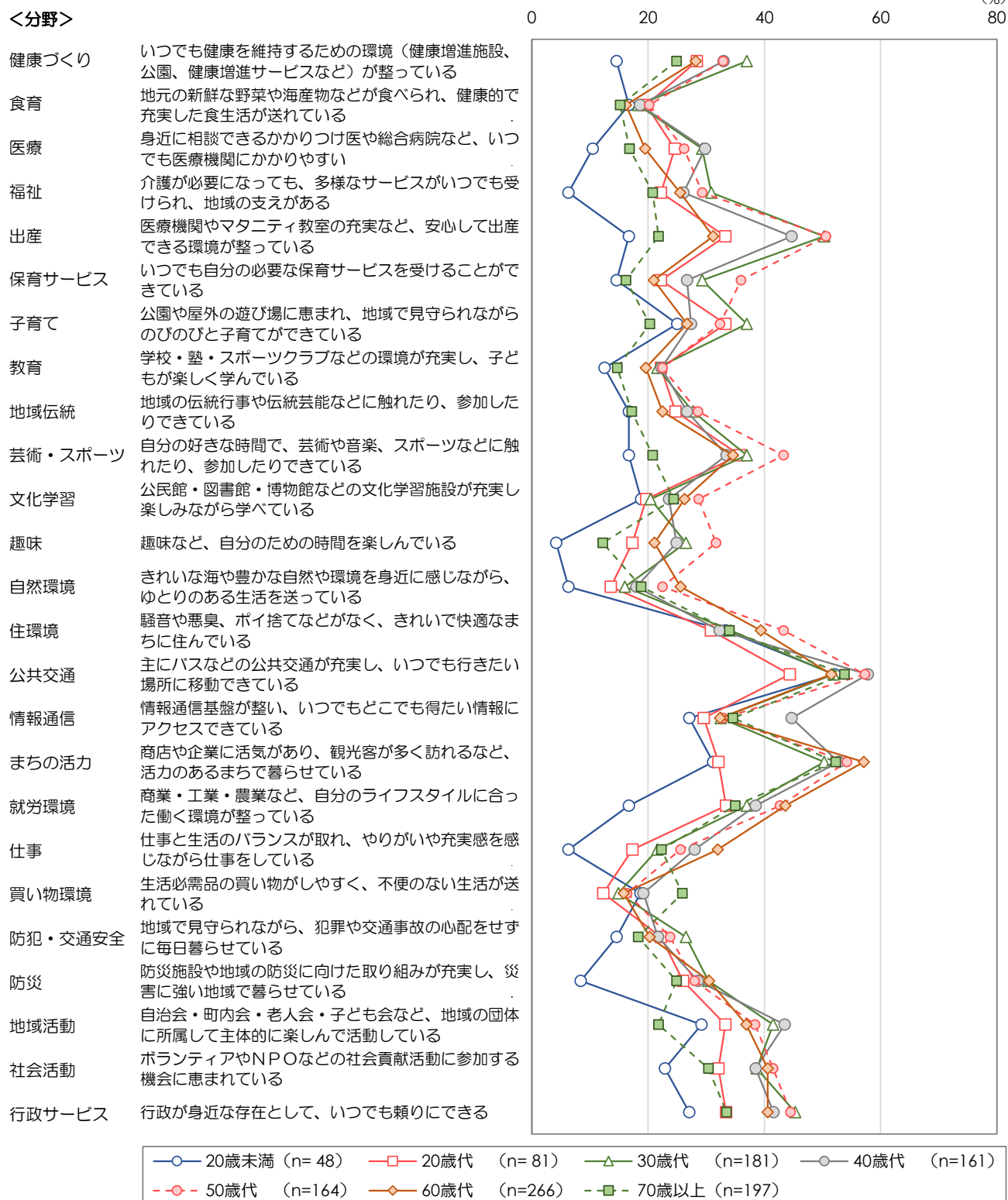
《性別：地域での日常の暮らしの不満点》



年齢別にみると、「医療機関やマタニティ教室の充実など、安心して出産できる環境が整っている」で不満度の差が大きく、30歳代・50歳代では約半数の人が不満と回答している。

また、「主にバスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所に移動できている」では、すべての年代で不満が4割を超えて高くなっている。

《年齢別：地域での日常の暮らしの不満点》



4. 地域のシンボル・誇りについて

地域のシンボル・誇りについては、497 人から意見があった。その中で2件以上の意見があったシンボル・誇りについては、下記のとおり。

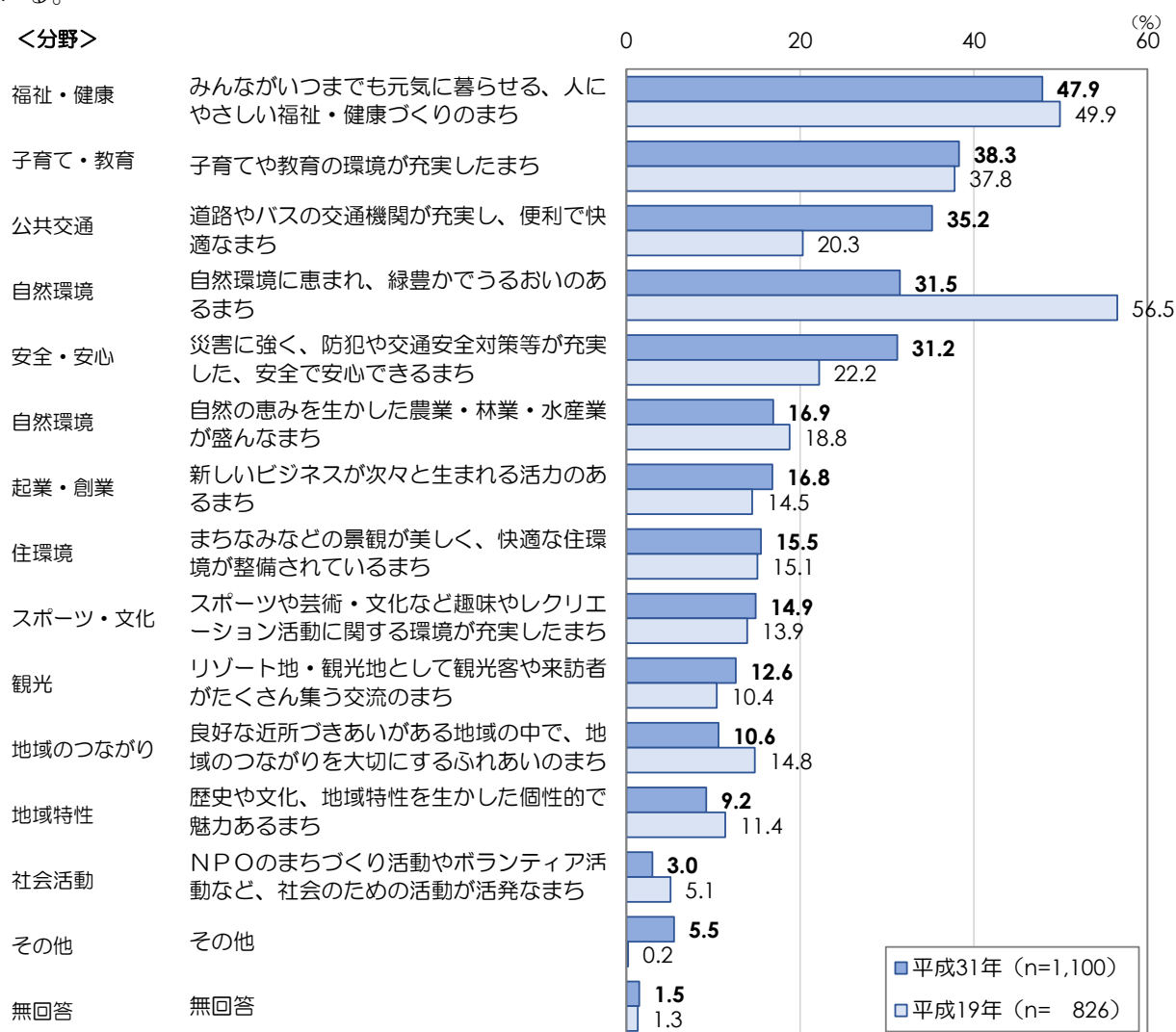
《地域のシンボル・誇りの意見詳細》

	回答人数 (人)
ガジュマル（ひんぷんガジュマル・ガジュマルの木、など）	163
名護城（名護城跡、名護城からの眺め、名護城公園、なんぐすく、など）	89
地区の豊年祭り（豊年踊り、八月踊り、夏祭り、など）	70
景色・景観（自宅からの景色、国道からの景色、など）	47
海（砂浜、ビーチ、海岸、など）	41
21 世紀公園・21 世紀の森	41
桜（さくら祭り、など）	40
オリオンビール工場（ビール祭り、など）	37
名護湾（名護湾の夕陽、名護湾の風景、名護ビーチ、など）	28
エイサー	23
名護市役所（外壁、シーサー、など）	14
羽地内海（羽地内海の景色、など）	14
福木（福木並木、など）	13
嘉津宇岳	12
コスモス畑（羽地のコスモス畑、コスモス祭り、など）	9
津嘉山酒造所	9
アコウの樹（済井出のアコウの木、屋我地小のアコウの木、など）	9
名護博物館	8
名護岳	8
多野岳	7
光文字	7
羽地ダム	7
名護親方	7
名護市立図書館	6
屋部寺	6
オランダ墓	6
ツールドおきなわ	5
マングローブ（大浦のマングローブ、など）	6
道の駅 許田	4
久護家	3
日ハムのキャンプ	3
安和岳	3
久志観音堂	2
人が良い（あたたかい、など）	2

5. これからの名護市のまちづくりについて

これから名護市が目指すべきだと思うまちづくりについては、「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」が47.9%と最も高く、次いで「子育てや教育の環境が充実したまち」(38.3%)、「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」(35.2%)、「自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち」(31.5%)、「災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち」(31.2%)の順となっている。

平成19年調査との比較を行うと、「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」及び「災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち」の割合が大幅に増加しており、反対に「自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち」の割合が大幅に減少している。



地区別にみると、名護地区では「子育てや教育の環境が充実したまち」、久志地区では「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」や「自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち」、屋我地地区では「自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなまち」、「良好な近所づきあいがある地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち」などの回答が他の地区に比べてやや高くなっている。

《地区別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	健康づくりのまち みんながいつまでも元気に暮 らせる、人にやさしい福祉・	子育てや教育の環境が充実し たまち	道路やバスの交通機関が充実 し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かで うるおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全 対策等が充実した、安全で安 心できるまち	自然の恵みを生かした農業・ 林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生ま れる活力のあるまち	
名護地区	660 100.0	320 48.5	267 40.5	219 33.2	201 30.5	217 32.9	100 15.2	110 16.7	
屋部地区	139 100.0	62 44.6	48 34.5	54 38.8	44 31.7	37 26.6	19 13.7	26 18.7	
羽地地区	165 100.0	81 49.1	63 38.2	56 33.9	53 32.1	52 31.5	35 21.2	28 17.0	
久志地区	73 100.0	30 41.1	23 31.5	35 47.9	30 41.1	22 30.1	18 24.7	8 11.0	
屋我地地区	49 100.0	27 55.1	14 28.6	19 38.8	13 26.5	12 24.5	13 26.5	10 20.4	
		まちなみなどの景観が美しく、 快適な住環境が整備されてい るまち	スポーツや芸術・文化など趣味 やレクリエーション活動に関 する環境が充実したまち	リゾート地・観光地として観光 客や来訪者がたくさん集う交 流のまち	良好な近所づきあいがある地 域の中で、地域のつながりを大 切にするふれあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かし た個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボ ランティア活動など、社会のた めの活動が活発なまち	その他	無回答
名護地区	108 16.4	105 15.9	89 13.5	69 10.5	66 10.0	23 3.5	30 4.5	9 1.4	
屋部地区	24 17.3	18 12.9	18 12.9	16 11.5	13 9.4	1 0.7	8 5.8	3 2.2	
羽地地区	23 13.9	27 16.4	19 11.5	15 9.1	11 6.7	3 1.8	11 6.7	2 1.2	
久志地区	8 11.0	5 6.8	4 5.5	8 11.0	4 5.5	2 2.7	7 9.6	- -	
屋我地地区	6 12.2	4 8.2	7 14.3	7 14.3	5 10.2	4 8.2	2 4.1	1 2.0	

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を、
2番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

性別にみると、男性では「自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち」や「新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち」、「スポーツや芸術・文化など趣味やレクリエーション活動に関する環境が充実したまち」、「リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち」などで女性に比べて高くなっている。

一方、女性では「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」や「子育てや教育の環境が充実したまち」、「災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち」などで男性に比べて高くなっている。

《性別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	みんながいつまでも元気に暮 らせる、人にやさしい福祉・健 康づくりのまち	子育てや教育の環境が充実し たまち	道路やバスの交通機関が充実 し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かでう るおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全対 策等が充実した、安全で安心で きるまち	自然の恵みを生かした農業・林 業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生ま れる活力のあるまち
男性	433 100.0	184 42.5	148 34.2	151 34.9	148 34.2	111 25.6	84 19.4	94 21.7
女性	661 100.0	340 51.4	271 41.0	235 35.6	196 29.7	231 34.9	101 15.3	91 13.8

	まちなみなどの景観が美しく、 快適な住環境が整備されてい るまち	スポーツや芸術・文化など趣味 やレクリエーション活動に関 する環境が充実したまち	リゾート地・観光地として観光 客や来訪者がたくさん集う交 流のまち	良好な近所づきあいがある地 域の中で、地域のつながりを大 切にするふれあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かし た個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボ ランティア活動など、社会のた めの活動が活発なまち	その他	無回 答
男性	63 14.5	81 18.7	83 19.2	41 9.5	36 8.3	10 2.3	26 6.0	9 2.1
女性	107 16.2	82 12.4	54 8.2	75 11.3	65 9.8	23 3.5	33 5.0	6 0.9

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2 番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

年齢別にみると、20 歳未満では「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」、20～40 歳代では「子育てや教育の環境が充実したまち」、50 歳以上では「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」が最も高くなっている。

《年齢別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち	子育てや教育の環境が充実したまち	道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち
20 歳未満	48 100.0	15 31.3	19 39.6	25 52.1	10 20.8	20 41.7	4 8.3	9 18.8
20 歳代	81 100.0	32 39.5	42 51.9	34 42.0	20 24.7	24 29.6	11 13.6	20 24.7
30 歳代	181 100.0	79 43.6	91 50.3	56 30.9	48 26.5	52 28.7	25 13.8	41 22.7
40 歳代	161 100.0	71 44.1	74 46.0	60 37.3	40 24.8	43 26.7	21 13.0	34 21.1
50 歳代	164 100.0	82 50.0	59 36.0	58 35.4	60 36.6	55 33.5	31 18.9	28 17.1
60 歳代	266 100.0	140 52.6	83 31.2	80 30.1	92 34.6	84 31.6	52 19.5	32 12.0
70 歳以上	197 100.0	107 54.3	52 26.4	74 37.6	75 38.1	65 33.0	42 21.3	21 10.7

	まちなみなどの景観が美しく、快適な住環境が整備されているまち	スポーツや芸術・文化など活動に関する環境が充実したまち	リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	良好な近所づきあいがあがる地域の中で、地域のつなごうのまち	歴史や文化、地域特性を生かした個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボランティア活動など、社会のための活動が活発なまち	その他	無回答
20 歳未満	8 16.7	13 27.1	9 18.8	3 6.3	1 2.1	1 2.1	1 2.1	- -
20 歳代	10 12.3	16 19.8	15 18.5	11 13.6	7 8.6	2 2.5	8 9.9	- -
30 歳代	36 19.9	33 18.2	25 13.8	24 13.3	16 8.8	7 3.9	13 7.2	1 0.6
40 歳代	20 12.4	25 15.5	25 15.5	13 8.1	17 10.6	5 3.1	11 6.8	1 0.6
50 歳代	31 18.9	21 12.8	20 12.2	12 7.3	20 12.2	2 1.2	10 6.1	1 0.6
60 歳代	40 15.0	39 14.7	27 10.2	26 9.8	25 9.4	15 5.6	9 3.4	6 2.3
70 歳以上	25 12.7	17 8.6	18 9.1	28 14.2	15 7.6	1 0.5	8 4.1	6 3.0

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を、
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

居住年数別にみると、10年以上の居住者では「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」、10年未満の居住者では「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」が最も高くなっている。

また、居住年数が短いほど「リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち」の割合が増加傾向となっている。

《居住年数別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち	子育てや教育の環境が充実したまち	道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち	
生まれてからずっと	367 100.0	179 48.8	148 40.3	125 34.1	104 28.3	120 32.7	63 17.2	66 18.0	
20年以上	397 100.0	214 53.9	154 38.8	131 33.0	126 31.7	130 32.7	73 18.4	59 14.9	
10年以上 20年未満	117 100.0	58 49.6	39 33.3	43 36.8	38 32.5	35 29.9	21 17.9	22 18.8	
5年以上 10年未満	98 100.0	35 35.7	37 37.8	39 39.8	37 37.8	22 22.4	17 17.3	14 14.3	
1年以上 5年未満	87 100.0	30 34.5	29 33.3	38 43.7	29 33.3	28 32.2	9 10.3	17 19.5	
1年未満	29 100.0	10 34.5	11 37.9	11 37.9	11 37.9	7 24.1	3 10.3	7 24.1	
		素敵な自然環境が整備されているまち	スポーツや芸術・文化など活動に関する環境が充実したまち	リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	良好な近所づきあいがあがる地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かした個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボランティア活動など、社会のための活動が活発なまち	その他	無回答
生まれてからずっと	56 15.3	64 17.4	43 11.7	47 12.8	26 7.1	10 2.7	19 5.2	4 1.1	
20年以上	49 12.3	49 12.3	47 11.8	38 9.6	38 9.6	10 2.5	18 4.5	6 1.5	
10年以上 20年未満	19 16.2	16 13.7	14 12.0	14 12.0	15 12.8	4 3.4	10 8.5	1 0.9	
5年以上 10年未満	23 23.5	16 16.3	13 13.3	10 10.2	10 10.2	6 6.1	3 3.1	3 3.1	
1年以上 5年未満	16 18.4	13 14.9	16 18.4	7 8.0	7 8.0	2 2.3	10 11.5	-	
1年未満	7 24.1	6 20.7	6 20.7	1 3.4	5 17.2	1 3.4	-	-	

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を、
2番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

幸福度別にみると、幸福感を感じている人では「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」、幸福感を感じていない人では「道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち」が最も高くなっている。

また、幸福感を感じている人では「自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち」などの割合が高く、幸福感を感じていない人では「新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち」などの割合が高くなっている。

《幸福度別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち	子育てや教育の環境が充実したまち	道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かでうるおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち
とても感じている	376 100.0	174 46.3	164 43.6	127 33.8	122 32.4	114 30.3	57 15.2	60 16.0
少し感じている	529 100.0	267 50.5	190 35.9	184 34.8	173 32.7	167 31.6	97 18.3	88 16.6
あまり感じていない	127 100.0	64 50.4	44 34.6	44 34.6	35 27.6	45 35.4	25 19.7	25 19.7
まったく感じていない	51 100.0	14 27.5	15 29.4	27 52.9	11 21.6	12 23.5	7 13.7	12 23.5

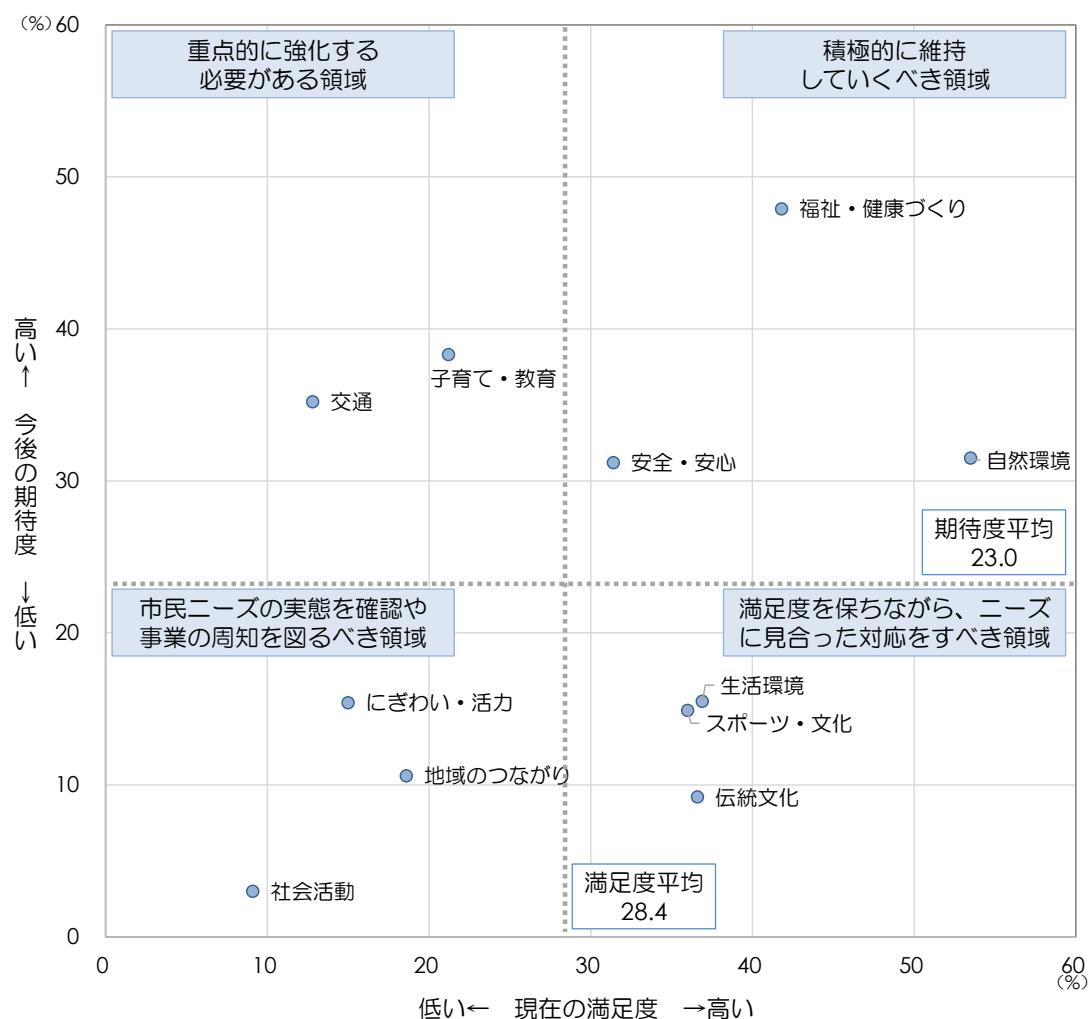
	まちなみなどの景観が美しく、快適な住環境が整備されているまち	スポーツや芸術・文化など趣味やレクリエーション活動に関する環境が充実したまち	リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	良好な近所づきあいがある地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かした個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボランティア活動など、社会のための活動が活発なまち	その他	無回答
とても感じている	57 15.2	61 16.2	51 13.6	43 11.4	42 11.2	16 4.3	21 5.6	5 1.3
少し感じている	86 16.3	81 15.3	70 13.2	51 9.6	45 8.5	9 1.7	28 5.3	4 0.8
あまり感じていない	19 15.0	13 10.2	13 10.2	15 11.8	11 8.7	4 3.1	6 4.7	2 1.6
まったく感じていない	7 13.7	7 13.7	3 5.9	7 13.7	2 3.9	4 7.8	3 5.9	3 5.9

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2 番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

【参考】満足度・期待度からみた、名護市のまちづくり施策の分布図

3（1）の地域での日常の暮らしの満足点を“満足度”として、5のこれからの名護市のまちづくりを“期待度”として整理した。

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっており、保育サービスなどを含む子育て分野や公共交通の利便性などの交通分野の充実を望む人が多いことが分かる。

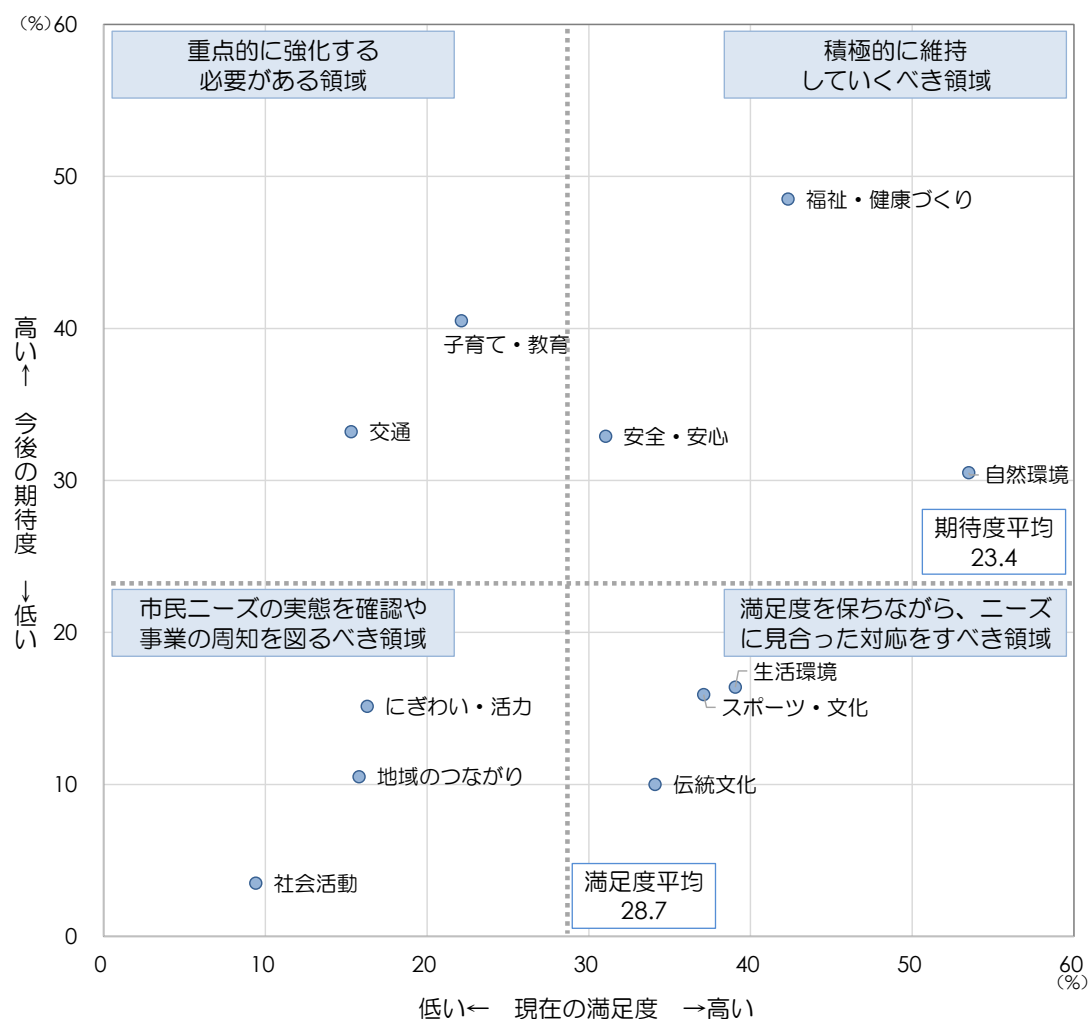


《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度 (%)	期待度 (%)	備考
福祉・健康づくり	41.8	47.9	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	21.2	38.3	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	36.6	9.2	
スポーツ・文化	36.0	14.9	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	53.5	31.5	
生活環境	36.9	15.5	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	12.8	35.2	
にぎわい・活力	15.0	15.4	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	31.4	31.2	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	18.6	10.6	
社会活動	9.1	3.0	

(1) 名護地区

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっており、保育サービスなどを含む子育て分野や公共交通の利便性などの交通分野の充実を望む人が多いことが分かる。

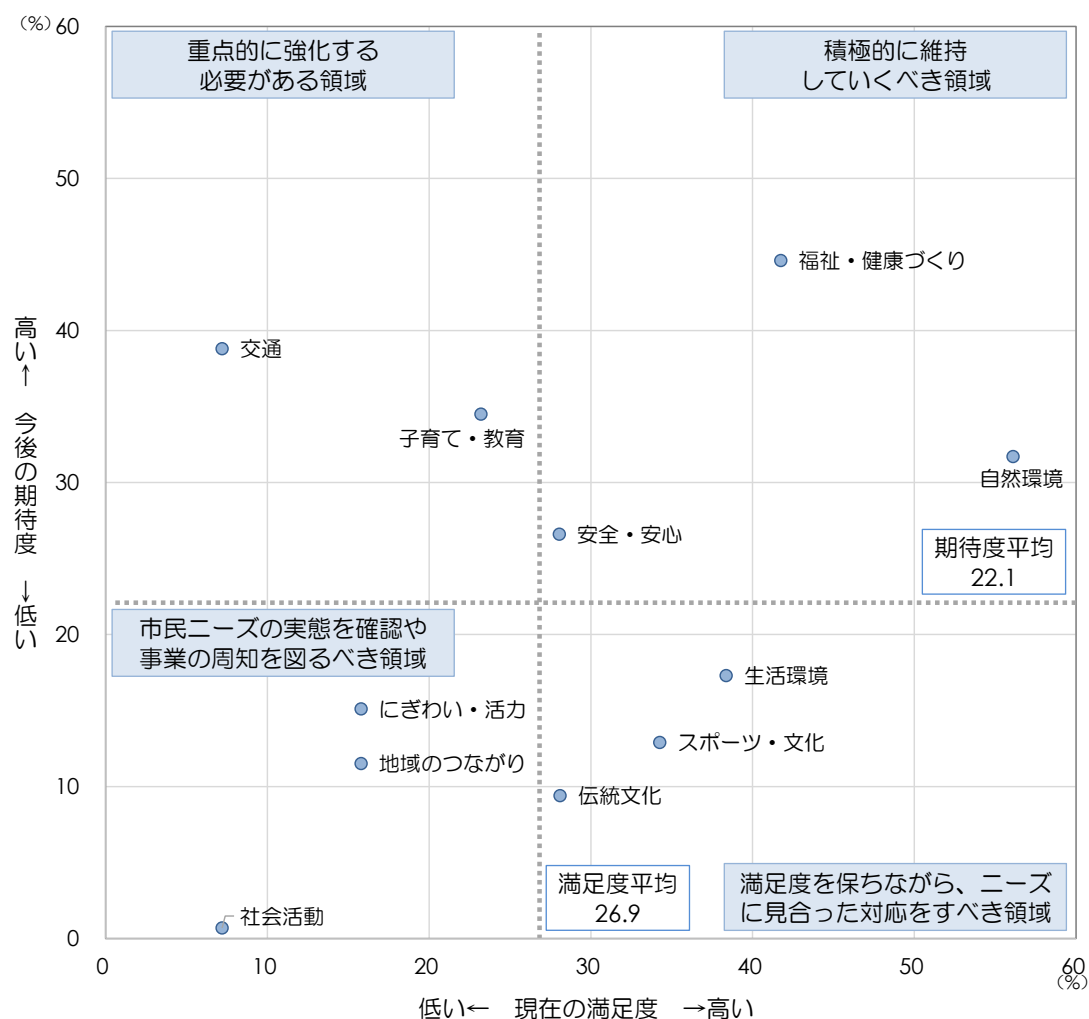


《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度(%)	期待度(%)	備考
福祉・健康づくり	42.3	48.5	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	22.1	40.5	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	34.1	10.0	
スポーツ・文化	37.1	15.9	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	53.5	30.5	
生活環境	39.1	16.4	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	15.3	33.2	
にぎわい・活力	16.3	15.1	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	31.1	32.9	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	15.8	10.5	
社会活動	9.4	3.5	

(2) 屋部地区

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっており、特に「交通」では満足度が1割未満と低くなっている。

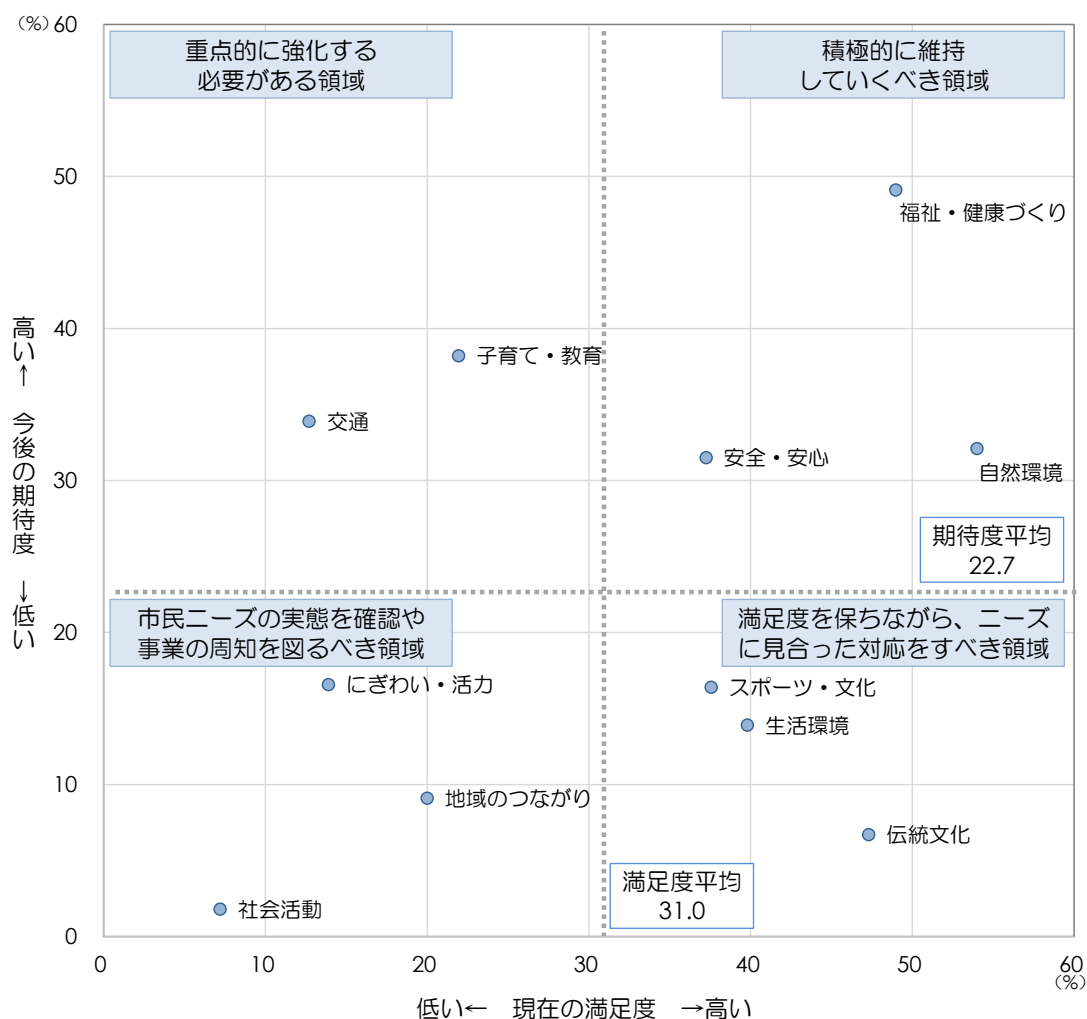


《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度(%)	期待度(%)	備考
福祉・健康づくり	41.8	44.6	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	23.2	34.5	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	28.1	9.4	
スポーツ・文化	34.3	12.9	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	56.1	31.7	
生活環境	38.4	17.3	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	7.2	38.8	
にぎわい・活力	15.8	15.1	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	28.1	26.6	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	15.8	11.5	
社会活動	7.2	0.7	

(3) 羽地地区

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっており、保育サービスなどを含む子育て分野や公共交通の利便性などの交通分野の充実を望む人が多いことが分かる。

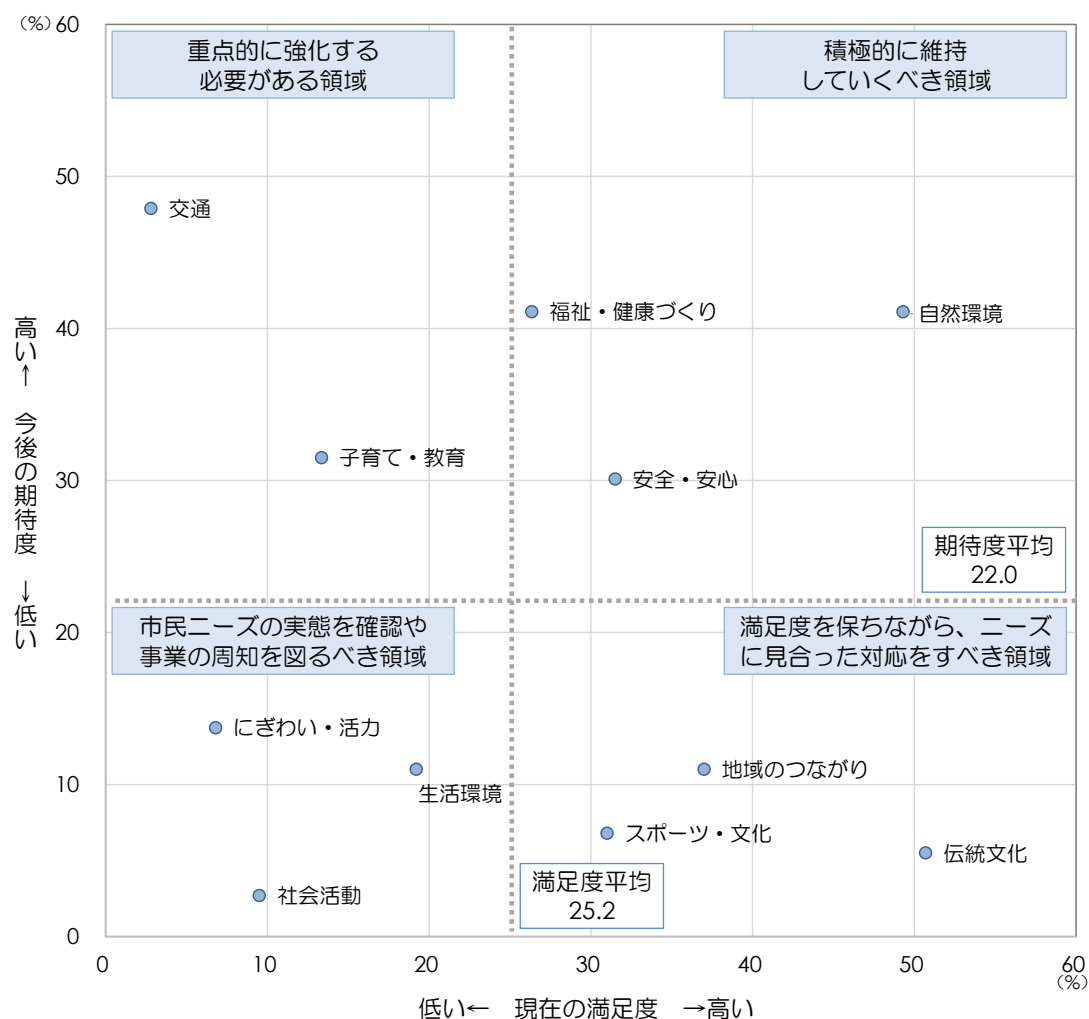


《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度(%)	期待度(%)	備考
福祉・健康づくり	49.0	49.1	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	22.0	38.2	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	47.3	6.7	
スポーツ・文化	37.6	16.4	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	54.0	32.1	
生活環境	39.8	13.9	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	12.7	33.9	
にぎわい・活力	13.9	16.6	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	37.3	31.5	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	20.0	9.1	
社会活動	7.2	1.8	

(4) 久志地区

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっており、特に、「交通」では満足度が1割未満に対し、期待度は5割近くと、充実を望む人が多いことが分かる。

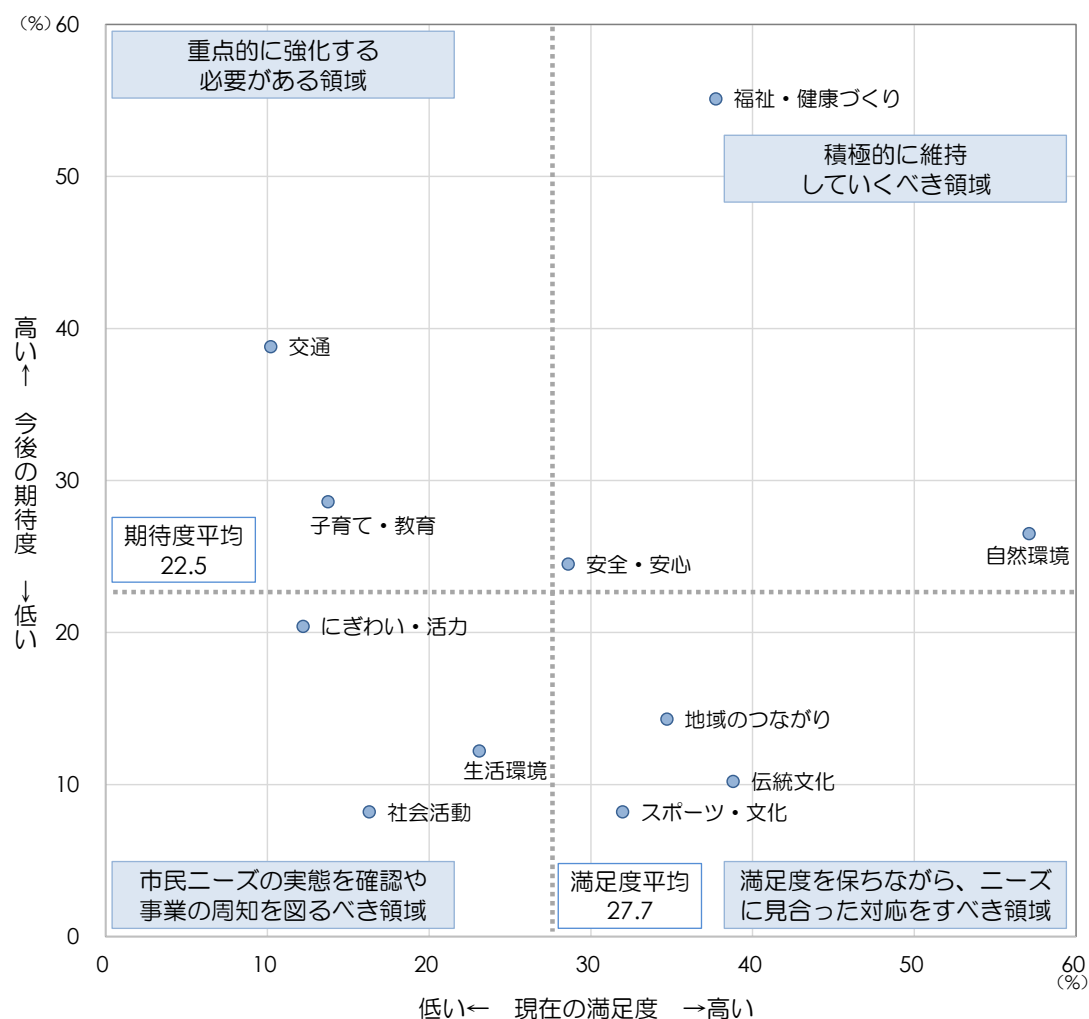


《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度(%)	期待度(%)	備考
福祉・健康づくり	26.4	41.1	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	13.4	31.5	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	50.7	5.5	
スポーツ・文化	31.0	6.8	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	49.3	41.1	
生活環境	19.2	11.0	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	2.8	47.9	
にぎわい・活力	6.8	13.7	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	31.5	30.1	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	37.0	11.0	
社会活動	9.5	2.7	

(5) 屋我地地区

満足度・期待度がともに高い、積極的に維持していくべき分野では、「福祉・健康づくり」、「安全・安心」、「自然環境」となっている。特に、「福祉・健康づくり」では期待度が5割を超えて高くなっている。一方で、期待度が高いのに対し、満足度の低い、今後重点的に強化する必要がある分野では、「子育て・教育」、「交通」となっている。



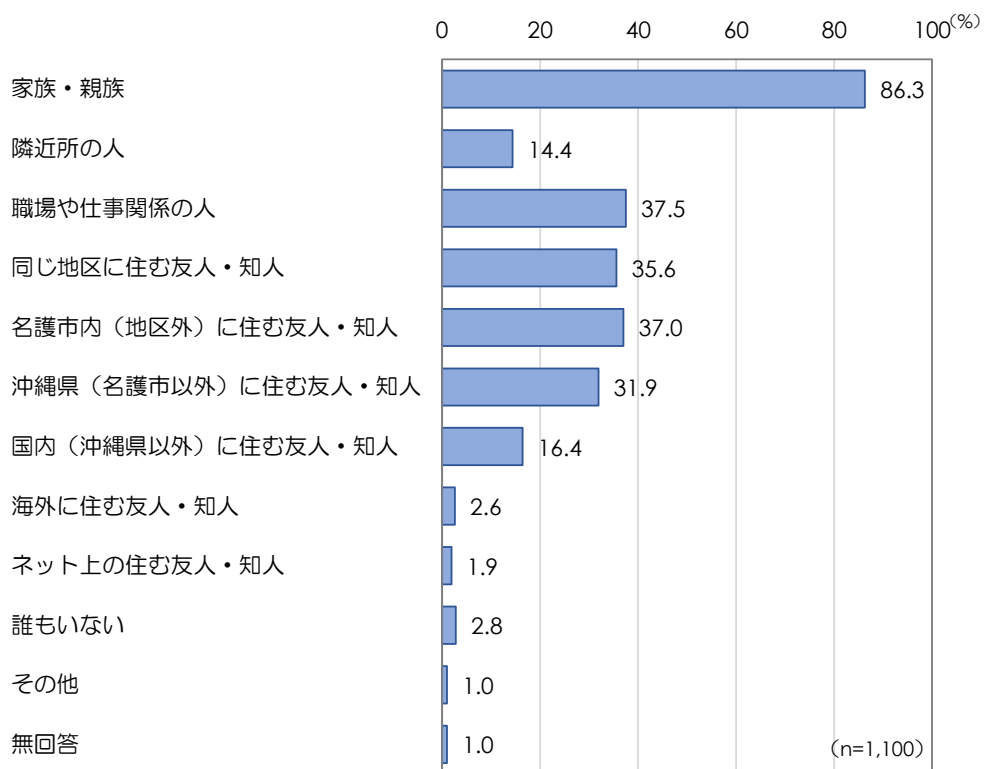
《分野別：満足度・期待度》

分野	満足度(%)	期待度(%)	備考
福祉・健康づくり	37.7	55.1	満足度：健康づくり、食育、医療、福祉の4分野の平均値
子育て・教育	13.8	28.6	満足度：出産、保育サービス、子育て、教育の4分野の平均値
伝統文化	38.8	10.2	
スポーツ・文化	32.0	8.2	満足度：芸術・スポーツ、文化芸術、趣味の3分野の平均値
自然環境	57.1	26.5	
生活環境	23.1	12.2	満足度：住環境、情報通信、買い物環境の3分野の平均値
交通	10.2	38.8	
にぎわい・活力	12.2	20.4	期待度：企業・創業、農林水産業、観光の3分野の平均値
安全・安心	28.6	24.5	満足度：防犯・交通安全、防災の2分野の平均値
地域のつながり	34.7	14.3	
社会活動	16.3	8.2	

6. 人とのつながりについて

(1) ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人

ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「家族・親族」が 86.3%と突出して最も高く、次いで「職場や仕事関係の人」(37.5%)、「名護市内（地区外）に住む友人・知人」(37.0%)、「同じ地区に住む友人・知人」(35.6%)の順となっている。



地区別にみると、名護地区、屋部地区では「職場や仕事関係の人」、久志地区では「隣近所の人」が他の地区に比べてやや多くなっている。

性別にみると、男性では「職場や仕事関係の人」や「同じ地区に住む友人・知人」、女性では「名護市内に住む友人・知人」や「沖縄県に住む友人・知人」が高くなっている。

年齢別にみると、30～50 歳代では、「職場や仕事関係の人」が高くなっている。

《地区別・性別・年齢別：ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人・ 知 人	名 護 市 内（地 区 外） に 住 む 友 人・ 知 人	知 人 沖 縄 県（名 護 市 以 外） に 住 む 友 人・ 知 人	知 人 国 内（沖 縄 県 以 外） に 住 む 友 人・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	949 86.3	158 14.4	413 37.5	392 35.6	407 37.0	351 31.9	180 16.4	29 2.6	21 1.9	31 2.8	11 1.0	11 1.0
名護地区	660 100.0	562 85.2	76 11.5	264 40.0	236 35.8	254 38.5	218 33.0	116 17.6	20 3.0	16 2.4	20 3.0	7 1.1	3 0.5
屋部地区	139 100.0	123 88.5	11 7.9	59 42.4	41 29.5	50 36.0	40 28.8	27 19.4	2 1.4	1 0.7	5 3.6	1 0.7	1 0.7
羽地地区	165 100.0	149 90.3	33 20.0	46 27.9	70 42.4	64 38.8	54 32.7	22 13.3	3 1.8	2 1.2	2 1.2	1 0.6	3 1.8
久志地区	73 100.0	63 86.3	24 32.9	23 31.5	27 37.0	20 27.4	21 28.8	7 9.6	2 2.7	－ －	2 2.7	1 1.4	1 1.4
屋我地地区	49 100.0	40 81.6	13 26.5	16 32.7	16 32.7	17 34.7	12 24.5	7 14.3	1 2.0	1 2.0	2 4.1	－ －	2 4.1
男性	433 100.0	352 81.3	53 12.2	158 36.5	158 36.5	139 32.1	119 27.5	58 13.4	6 1.4	8 1.8	21 4.8	4 0.9	6 1.4
女性	661 100.0	593 89.7	105 15.9	254 38.4	233 35.2	268 40.5	230 34.8	121 18.3	23 3.5	13 2.0	10 1.5	7 1.1	4 0.6
20 歳未満	48 100.0	41 85.4	1 2.1	6 12.5	24 50.0	21 43.8	18 37.5	9 18.8	－ －	5 10.4	2 4.2	－ －	－ －
20 歳代	81 100.0	72 88.9	2 2.5	30 37.0	30 37.0	36 44.4	39 48.1	32 39.5	8 9.9	4 4.9	2 2.5	2 2.5	－ －
30 歳代	181 100.0	161 89.0	10 5.5	103 56.9	51 28.2	71 39.2	69 38.1	39 21.5	4 2.2	3 1.7	5 2.8	1 0.6	－ －
40 歳代	161 100.0	140 87.0	15 9.3	95 59.0	56 34.8	59 36.6	55 34.2	22 13.7	7 4.3	5 3.1	1 0.6	1 0.6	－ －
50 歳代	164 100.0	144 87.8	20 12.2	85 51.8	45 27.4	67 40.9	50 30.5	22 13.4	4 2.4	1 0.6	4 2.4	2 1.2	1 0.6
60 歳代	266 100.0	227 85.3	40 15.0	70 26.3	100 37.6	82 30.8	63 23.7	40 15.0	3 1.1	2 0.8	9 3.4	2 0.8	4 1.5
70 歳以上	197 100.0	163 82.7	70 35.5	23 11.7	86 43.7	71 36.0	57 28.9	16 8.1	3 1.5	1 0.5	8 4.1	3 1.5	5 2.5

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2 番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

家族構成別にみると、ひとり暮らし、核家族世帯では「職場や仕事関係の人」、夫婦のみ世帯、二世帯以上世帯では「同じ地区に住む友人・知人」や「名護市内（地区外）に住む友人・知人」がやや多くなっている。

居住年数別にみると、年数が長いほど「同じ地区に住む友人・知人」の割合が多くなっており、20年以上の人では4割を超える。一方で、5年未満の人では「隣近所の人」が1割を下回る結果となっている。

《家族構成別・居住年数別：ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	949 86.3	158 14.4	413 37.5	392 35.6	407 37.0	351 31.9	180 16.4	29 2.6	21 1.9	31 2.8	11 1.0	11 1.0
ひとり暮らし	162 100.0	107 66.0	23 14.2	66 40.7	48 29.6	55 34.0	55 34.0	29 17.9	8 4.9	2 1.2	11 6.8	3 1.9	2 1.2
夫婦のみ （一世帯家族）	314 100.0	279 88.9	52 16.6	90 28.7	109 34.7	112 35.7	93 29.6	44 14.0	8 2.5	4 1.3	10 3.2	3 1.0	3 1.0
親と未婚の子 ども（核家族）	376 100.0	344 91.5	49 13.0	166 44.1	152 40.4	148 39.4	141 37.5	62 16.5	8 2.1	8 2.1	3 0.8	3 0.8	1 0.3
親と子ども夫婦 （二世帯家族）	79 100.0	71 89.9	13 16.5	30 38.0	32 40.5	32 40.5	16 20.3	14 17.7	2 2.5	－ －	3 3.8	－ －	1 1.3
親と子どもと孫 （三世帯家族）	74 100.0	70 94.6	8 10.8	25 33.8	28 37.8	35 47.3	24 32.4	15 20.3	1 1.4	4 5.4	1 1.4	－ －	－ －
その他	81 100.0	67 82.7	13 16.0	30 37.0	20 24.7	25 30.9	20 24.7	16 19.8	2 2.5	3 3.7	3 3.7	2 2.5	1 1.2
生まれてから ずっと	367 100.0	324 88.3	56 15.3	123 33.5	158 43.1	153 41.7	99 27.0	49 13.4	7 1.9	6 1.6	12 3.3	5 1.4	1 0.3
20年以上	397 100.0	346 87.2	71 17.9	139 35.0	161 40.6	156 39.3	122 30.7	47 11.8	5 1.3	4 1.0	10 2.5	2 0.5	6 1.5
10年以上 20年未満	117 100.0	95 81.2	12 10.3	53 45.3	31 26.5	43 36.8	46 39.3	21 17.9	6 5.1	5 4.3	2 1.7	1 0.9	1 0.9
5年以上 10年未満	98 100.0	88 89.8	11 11.2	43 43.9	20 20.4	34 34.7	41 41.8	23 23.5	2 2.0	3 3.1	2 2.0	1 1.0	1 1.0
1年以上 5年未満	87 100.0	69 79.3	7 8.0	38 43.7	19 21.8	16 18.4	31 35.6	31 35.6	8 9.2	3 3.4	4 4.6	2 2.3	－ －
1年未満	29 100.0	24 82.8	1 3.4	15 51.7	3 10.3	5 17.2	12 41.4	9 31.0	1 3.4	－ －	1 3.4	－ －	－ －

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を
2番目に回答割合の多い項目を
で色付けをしている。

幸福度別にみると、幸福感を感じていない人ほど「誰もいない」の回答が高くなっており、特に幸福感をまったく感じていない人では19.6%と約2割を占めている。

また、幸福感を感じている人では「隣近所の人」や「同じ地区に住む友人・知人」、「名護市内（地区外）に住む友人・知人」、「沖縄県（名護市以外）に住む友人・知人」などで、幸福感を感じていない人に比べて大きな差がみられる。

《幸福度別：ちょっとした心配事や愚痴を聞いてくれる人》

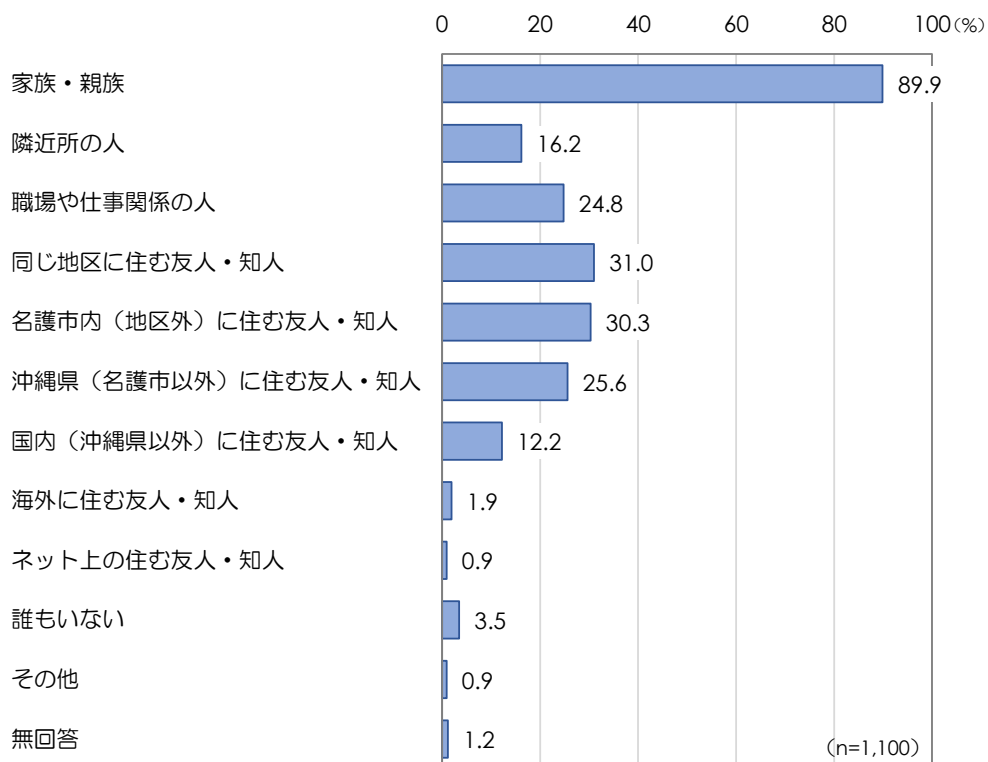
上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	949 86.3	158 14.4	413 37.5	392 35.6	407 37.0	351 31.9	180 16.4	29 2.6	21 1.9	31 2.8	11 1.0	11 1.0
とても感じている	376 100.0	341 90.7	63 16.8	154 41.0	144 38.3	172 45.7	136 36.2	86 22.9	12 3.2	6 1.6	3 0.8	6 1.6	4 1.1
少し感じている	529 100.0	475 89.8	81 15.3	205 38.8	199 37.6	185 35.0	175 33.1	72 13.6	13 2.5	13 2.5	8 1.5	3 0.6	1 0.2
あまり感じていない	127 100.0	89 70.1	11 8.7	40 31.5	36 28.3	33 26.0	32 25.2	17 13.4	4 3.1	－ －	9 7.1	2 1.6	3 2.4
まったく感じていない	51 100.0	32 62.7	2 3.9	11 21.6	11 21.6	15 29.4	4 7.8	2 3.9	－ －	2 3.9	10 19.6	－ －	1 2.0

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

(2) いざというときに助け合える人や、頼ることができる人

いざというときに助け合える人や、頼ることができる人では、「家族・親族」が 89.9%と突出して最も高く、次いで「同じ地区に住む友人・知人」(31.0%)、「名護市内（地区外）に住む友人・知人」(30.3%) の順となっている。心配事や愚痴を聞いてくれる人と比べると、家族・親族以外での割合は低くなっている。



地区別にみると、羽地地区、久志地区では「同じ地区に住む友人・知人」が他の地区に比べてやや多くなっている。

性別にみると、男性では「同じ地区に住む友人・知人」、女性では「名護市内（地区外）に住む友人・知人」が高くなっている。

年齢別にみると、30～50 歳代では、「職場や仕事関係の人」が高くなっている。

《地区別・性別・年齢別：いざというときに助け合える人や、頼ることができる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	989 89.9	178 16.2	273 24.8	341 31.0	333 30.3	282 25.6	134 12.2	21 1.9	10 0.9	38 3.5	10 0.9	13 1.2
名護地区	660 100.0	593 89.8	91 13.8	184 27.9	204 30.9	209 31.7	175 26.5	88 13.3	13 2.0	9 1.4	21 3.2	8 1.2	4 0.6
屋部地区	139 100.0	126 90.6	16 11.5	34 24.5	34 24.5	37 26.6	34 24.5	20 14.4	1 0.7	1 0.7	8 5.8	－ －	1 0.7
羽地地区	165 100.0	153 92.7	35 21.2	27 16.4	61 37.0	50 30.3	46 27.9	18 10.9	3 1.8	－ －	4 2.4	1 0.6	4 2.4
久志地区	73 100.0	65 89.0	20 27.4	12 16.4	27 37.0	18 24.7	15 20.5	6 8.2	2 2.7	－ －	2 2.7	－ －	－ －
屋我地地区	49 100.0	42 85.7	15 30.6	13 26.5	13 26.5	17 34.7	6 12.2	1 2.0	1 2.0	－ －	3 6.1	－ －	2 4.1
男性	433 100.0	376 86.8	61 14.1	110 25.4	143 33.0	117 27.0	102 23.6	48 11.1	7 1.6	4 0.9	24 5.5	1 0.2	7 1.6
女性	661 100.0	610 92.3	117 17.7	163 24.7	197 29.8	215 32.5	178 26.9	85 12.9	14 2.1	6 0.9	14 2.1	9 1.4	4 0.6
20 歳未満	48 100.0	45 93.8	2 4.2	6 12.5	16 33.3	22 45.8	12 25.0	8 16.7	－ －	－ －	1 2.1	－ －	－ －
20 歳代	81 100.0	73 90.1	3 3.7	23 28.4	24 29.6	31 38.3	33 40.7	24 29.6	5 6.2	3 3.7	3 3.7	1 1.2	－ －
30 歳代	181 100.0	168 92.8	11 6.1	71 39.2	44 24.3	53 29.3	54 29.8	28 15.5	3 1.7	1 0.6	6 3.3	2 1.1	1 0.6
40 歳代	161 100.0	140 87.0	17 10.6	61 37.9	48 29.8	46 28.6	44 27.3	17 10.6	6 3.7	3 1.9	3 1.9	－ －	－ －
50 歳代	164 100.0	151 92.1	22 13.4	58 35.4	44 26.8	55 33.5	36 22.0	17 10.4	3 1.8	1 0.6	2 1.2	2 1.2	2 1.2
60 歳代	266 100.0	236 88.7	55 20.7	38 14.3	85 32.0	59 22.2	55 20.7	27 10.2	2 0.8	2 0.8	12 4.5	3 1.1	5 1.9
70 歳以上	197 100.0	175 88.8	68 34.5	16 8.1	80 40.6	67 34.0	48 24.4	13 6.6	2 1.0	－ －	11 5.6	2 1.0	4 2.0

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を 、
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「職場や仕事関係の人」、三世代家族では「名護市内（地区外）に住む友人・知人」がやや多くなっている。

居住年数別にみると、年数が長いほど「同じ地区に住む友人・知人」の割合が多くなっており、20 年以上の人では3 割を超える。一方で、20 年未満の人では「沖縄県（名護市以外）に住む友人・知人」、5 年未満の人では「国内（沖縄県以外）に住む友人・知人」がやや多くなっている。

《家族構成別・居住年数別：いざというときに助け合える人や、頼ることができる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	989 89.9	178 16.2	273 24.8	341 31.0	333 30.3	282 25.6	134 12.2	21 1.9	10 0.9	38 3.5	10 0.9	13 1.2
ひとり暮らし	162 100.0	116 71.6	22 13.6	45 27.8	40 24.7	41 25.3	42 25.9	18 11.1	5 3.1	2 1.2	15 9.3	5 3.1	6 3.7
夫婦のみ （一世代家族）	314 100.0	287 91.4	52 16.6	62 19.7	102 32.5	94 29.9	72 22.9	35 11.1	7 2.2	4 1.3	14 4.5	1 0.3	2 0.6
親と未婚の子ども（核家族）	376 100.0	357 94.9	57 15.2	108 28.7	126 33.5	122 32.4	111 29.5	49 13.0	7 1.9	1 0.3	3 0.8	2 0.5	1 0.3
親と子ども夫婦（二世世代家族）	79 100.0	75 94.9	16 20.3	19 24.1	27 34.2	26 32.9	16 20.3	11 13.9	－ －	－ －	1 1.3	1 1.3	1 1.3
親と子どもと孫（三世世代家族）	74 100.0	73 98.6	12 16.2	20 27.0	21 28.4	27 36.5	22 29.7	7 9.5	1 1.4	1 1.4	1 1.4	－ －	－ －
その他	81 100.0	70 86.4	17 21.0	18 22.2	23 28.4	22 27.2	17 21.0	14 17.3	1 1.2	2 2.5	4 4.9	1 1.2	1 1.2
生まれてからずっと	367 100.0	348 94.8	64 17.4	85 23.2	138 37.6	126 34.3	74 20.2	39 10.6	4 1.1	1 0.3	6 1.6	1 0.3	2 0.5
20 年以上	397 100.0	360 90.7	79 19.9	91 22.9	141 35.5	121 30.5	103 25.9	32 8.1	4 1.0	1 0.3	13 3.3	3 0.8	6 1.5
10 年以上 20 年未満	117 100.0	96 82.1	14 12.0	36 30.8	27 23.1	38 32.5	40 34.2	16 13.7	5 4.3	3 2.6	5 4.3	1 0.9	2 1.7
5 年以上 10 年未満	98 100.0	86 87.8	13 13.3	25 25.5	15 15.3	26 26.5	28 28.6	16 16.3	1 1.0	2 2.0	7 7.1	2 2.0	1 1.0
1 年以上 5 年未満	87 100.0	74 85.1	6 6.9	26 29.9	18 20.7	17 19.5	28 32.2	25 28.7	7 8.0	3 3.4	6 6.9	1 1.1	－ －
1 年未満	29 100.0	22 75.9	2 6.9	10 34.5	2 6.9	5 17.2	9 31.0	6 20.7	－ －	－ －	1 3.4	2 6.9	－ －

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2 番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

幸福度別にみると、幸福感を感じていない人ほど「誰もいない」の回答が高くなっており、特に幸福感をまったく感じていない人では23.5%と2割以上を占めている。

また、幸福感を感じている人では「隣近所の人」や「同じ地区に住む友人・知人」、「名護市内（地区外）に住む友人・知人」、「沖縄県（名護市以外）に住む友人・知人」などで、幸福感を感じていない人に比べて大きな差がみられる。

《幸福度別：いざというときに助け合える人や、頼ることができる人》

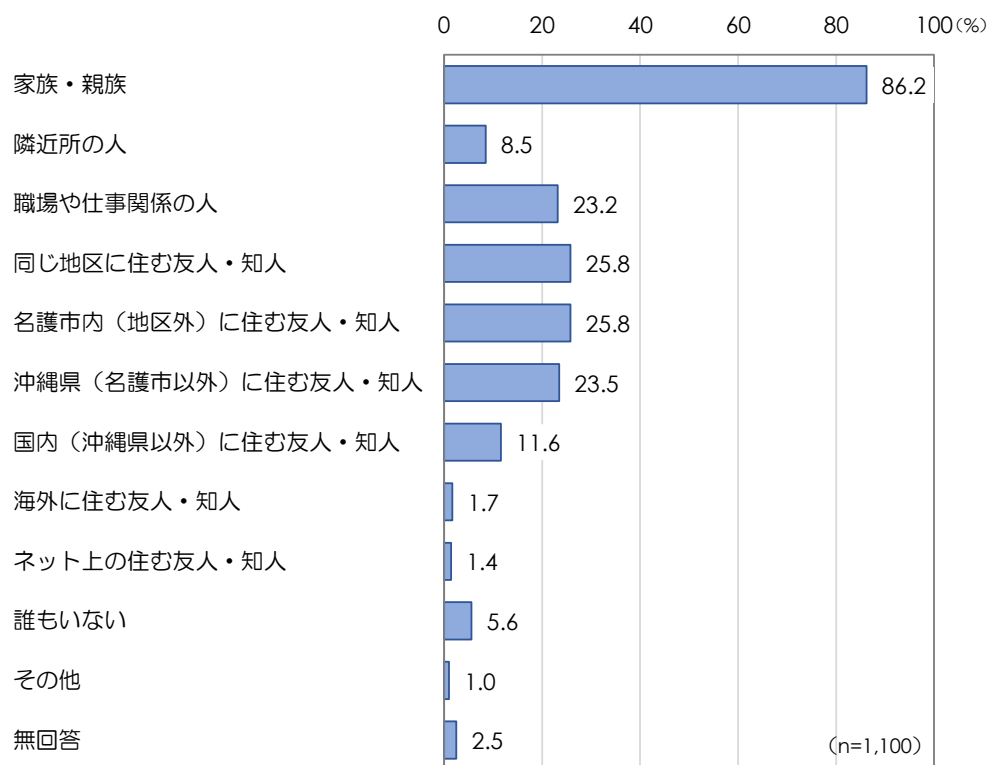
上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	989 89.9	178 16.2	273 24.8	341 31.0	333 30.3	282 25.6	134 12.2	21 1.9	10 0.9	38 3.5	10 0.9	13 1.2
とても感じている	376 100.0	354 94.1	73 19.4	122 32.4	138 36.7	138 36.7	115 30.6	74 19.7	9 2.4	4 1.1	4 1.1	4 1.1	3 0.8
少し感じている	529 100.0	489 92.4	89 16.8	130 24.6	169 31.9	162 30.6	139 26.3	49 9.3	8 1.5	6 1.1	8 1.5	5 0.9	3 0.6
あまり感じていない	127 100.0	100 78.7	13 10.2	16 12.6	26 20.5	19 15.0	21 16.5	10 7.9	4 3.1	－ －	13 10.2	1 0.8	3 2.4
まったく感じていない	51 100.0	34 66.7	2 3.9	4 7.8	6 11.8	12 23.5	4 7.8	－ －	－ －	－ －	12 23.5	－ －	2 3.9

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を  、
2 番目に回答割合の多い項目を  で色付けをしている。

（３）挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる人

挑戦したいとき応援や支援をしてくれる人では、「家族・親族」が86.2%と突出して最も高く、次いで「同じ地区に住む友人・知人」及び「名護市内（地区外）に住む友人・知人」（25.8%）、「沖縄県（名護市以外に住む友人・知人）」（23.5%）、「職場や仕事関係の人」（23.2%）の順となっている。一方で、「誰もいない」が5.6%と（１）（２）に比べてやや高くなっている。



地区別にみると、羽地地区では「同じ地区に住む友人・知人」、屋我地地区では「隣近所の人」が他の地区に比べてやや多くなっている。

性別にみると、男性では「同じ地区に住む友人・知人」、女性では「名護市内（地区外）に住む友人・知人」が高くなっている。

年齢別にみると、30～50 歳代では、「職場や仕事関係の人」が高くなっている。

《地区別・性別・年齢別：挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	948 86.2	94 8.5	255 23.2	284 25.8	284 25.8	258 23.5	128 11.6	19 1.7	15 1.4	62 5.6	11 1.0	28 2.5
名護地区	660 100.0	573 86.8	42 6.4	164 24.8	172 26.1	182 27.6	163 24.7	92 13.9	12 1.8	12 1.8	33 5.0	7 1.1	13 2.0
屋部地区	139 100.0	117 84.2	9 6.5	36 25.9	27 19.4	30 21.6	36 25.9	16 11.5	1 0.7	2 1.4	12 8.6	1 0.7	3 2.2
羽地地区	165 100.0	143 86.7	24 14.5	28 17.0	50 30.3	45 27.3	37 22.4	11 6.7	3 1.8	－ －	10 6.1	1 0.6	5 3.0
久志地区	73 100.0	65 89.0	9 12.3	15 20.5	19 26.0	12 16.4	11 15.1	5 6.8	1 1.4	－ －	2 2.7	－ －	1 1.4
屋我地地区	49 100.0	41 83.7	9 18.4	10 20.4	13 26.5	14 28.6	5 10.2	3 6.1	1 2.0	1 2.0	5 10.2	1 2.0	2 4.1
男性	433 100.0	363 83.8	31 7.2	106 24.5	110 25.4	98 22.6	96 22.2	43 9.9	8 1.8	8 1.8	32 7.4	5 1.2	7 1.6
女性	661 100.0	583 88.2	63 9.5	149 22.5	174 26.3	185 28.0	160 24.2	85 12.9	11 1.7	7 1.1	29 4.4	6 0.9	18 2.7
20 歳未満	48 100.0	45 93.8	2 4.2	6 12.5	15 31.3	22 45.8	15 31.3	7 14.6	－ －	2 4.2	1 2.1	－ －	－ －
20 歳代	81 100.0	75 92.6	1 1.2	26 32.1	18 22.2	31 38.3	29 35.8	24 29.6	5 6.2	2 2.5	1 1.2	1 1.2	－ －
30 歳代	181 100.0	166 91.7	2 1.1	63 34.8	40 22.1	48 26.5	55 30.4	33 18.2	3 1.7	3 1.7	5 2.8	2 1.1	1 0.6
40 歳代	161 100.0	138 85.7	10 6.2	54 33.5	45 28.0	38 23.6	33 20.5	14 8.7	5 3.1	3 1.9	8 5.0	2 1.2	1 0.6
50 歳代	164 100.0	142 86.6	10 6.1	48 29.3	34 20.7	44 26.8	34 20.7	19 11.6	3 1.8	2 1.2	9 5.5	1 0.6	2 1.2
60 歳代	266 100.0	224 84.2	32 12.0	36 13.5	70 26.3	53 19.9	52 19.5	20 7.5	2 0.8	3 1.1	22 8.3	2 0.8	9 3.4
70 歳以上	197 100.0	158 80.2	37 18.8	22 11.2	62 31.5	48 24.4	40 20.3	11 5.6	1 0.5	－ －	16 8.1	3 1.5	13 6.6

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を 、
2 番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「職場や仕事関係の人」、夫婦のみ世帯、二世帯以上世帯では「同じ地区に住む友人・知人」や「名護市内（地区外）に住む友人・知人」がやや多くなっている。

居住年数別にみると、年数が長いほど「同じ地区に住む友人・知人」の割合が多くなっており、20年以上の人では3割を超える。一方で、10年未満の人では「職場や仕事関係の人」や「沖縄県（名護市以外）に住む友人・知人」がやや多くなっている。

《家族構成別・居住年数別：挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）

	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	948 86.2	94 8.5	255 23.2	284 25.8	284 25.8	258 23.5	128 11.6	19 1.7	15 1.4	62 5.6	11 1.0	28 2.5
ひとり暮らし	162 100.0	111 68.5	16 9.9	41 25.3	28 17.3	36 22.2	40 24.7	22 13.6	4 2.5	1 0.6	23 14.2	1 0.6	10 6.2
夫婦のみ （一世帯家族）	314 100.0	275 87.6	33 10.5	56 17.8	81 25.8	79 25.2	63 20.1	29 9.2	5 1.6	5 1.6	16 5.1	5 1.6	6 1.9
親と未婚の子 ども（核家族）	376 100.0	342 91.0	24 6.4	100 26.6	111 29.5	103 27.4	99 26.3	45 12.0	8 2.1	4 1.1	13 3.5	4 1.1	3 0.8
親と子ども夫婦 （二世帯家族）	79 100.0	73 92.4	9 11.4	17 21.5	24 30.4	24 30.4	17 21.5	10 12.7	1 1.3	－ －	2 2.5	－ －	－ －
親と子どもと孫 （三世帯家族）	74 100.0	73 98.6	6 8.1	17 23.0	22 29.7	22 29.7	19 25.7	9 12.2	1 1.4	2 2.7	1 1.4	－ －	－ －
その他	81 100.0	68 84.0	6 7.4	22 27.2	17 21.0	20 24.7	18 22.2	13 16.0	－ －	3 3.7	7 8.6	1 1.2	2 2.5
生まれてから ずっと	367 100.0	325 88.6	35 9.5	82 22.3	110 30.0	110 30.0	75 20.4	32 8.7	4 1.1	2 0.5	17 4.6	2 0.5	8 2.2
20年以上	397 100.0	346 87.2	45 11.3	83 20.9	129 32.5	103 25.9	91 22.9	36 9.1	4 1.0	4 1.0	22 5.5	2 0.5	9 2.3
10年以上 20年未満	117 100.0	96 82.1	9 7.7	30 25.6	23 19.7	37 31.6	36 30.8	16 13.7	5 4.3	4 3.4	7 6.0	2 1.7	3 2.6
5年以上 10年未満	98 100.0	86 87.8	3 3.1	26 26.5	10 10.2	14 14.3	20 20.4	16 16.3	1 1.0	3 3.1	8 8.2	1 1.0	1 1.0
1年以上 5年未満	87 100.0	72 82.8	2 2.3	23 26.4	10 11.5	13 14.9	26 29.9	24 27.6	5 5.7	2 2.3	6 6.9	3 3.4	1 1.1
1年未満	29 100.0	22 75.9	－ －	11 37.9	2 6.9	7 24.1	10 34.5	4 13.8	－ －	－ －	2 6.9	1 3.4	2 6.9

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を
2番目に回答割合の多い項目を
で色付けをしている。

幸福度別にみると、幸福感を感じていない人ほど「誰もいない」の回答が高くなっており、特にまったく感じていない人では33.3%と3割以上を占めている。

また、幸福感を感じている人では「隣近所の人」や「職場や仕事関係の人」、「同じ地区に住む友人・知人」、「名護市内（地区外）に住む友人・知人」、「沖縄県（名護市以外）に住む友人・知人」などで、幸福感を感じていない人に比べて大きな差がみられる。

《幸福度別：挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる人》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

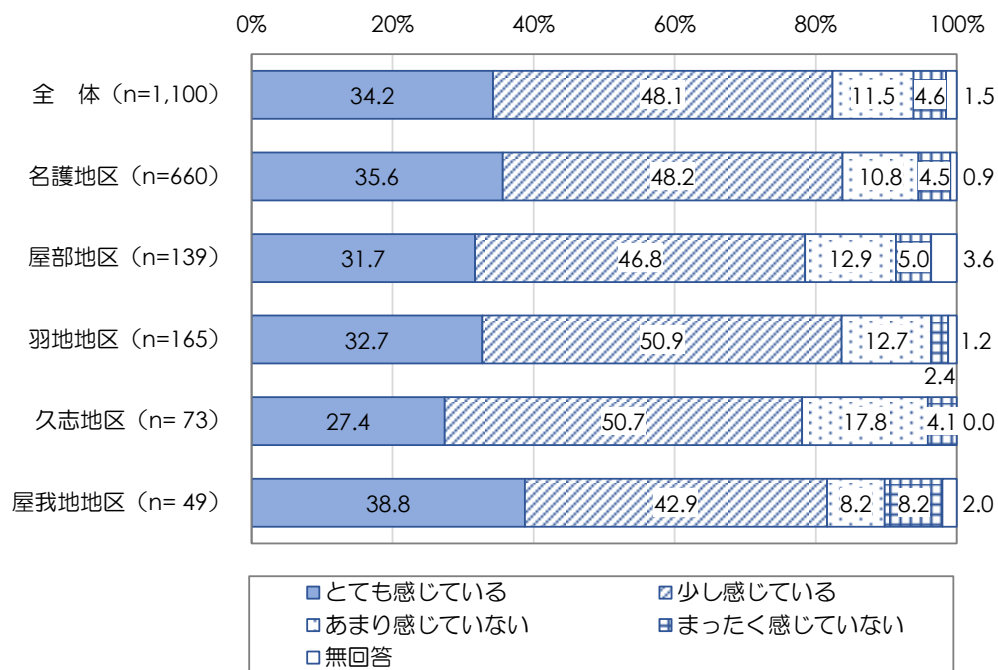
	全 体	家 族 ・ 親 族	隣 近 所 の 人	職 場 や 仕 事 関 係 の 人	同 じ 地 区 に 住 む 友 人 ・ 知 人	名 護 市 内 （ 地 区 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	沖 縄 県 （ 名 護 市 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	国 内 （ 沖 縄 県 以 外 ） に 住 む 友 人 ・ 知 人	海 外 に 住 む 友 人 ・ 知 人	ネ ット 上 の 住 む 友 人 ・ 知 人	誰 も い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,100 100.0	948 86.2	94 8.5	255 23.2	284 25.8	284 25.8	258 23.5	128 11.6	19 1.7	15 1.4	62 5.6	11 1.0	28 2.5
とても感じている	376 100.0	349 92.8	44 11.7	108 28.7	113 30.1	118 31.4	113 30.1	66 17.6	10 2.7	4 1.1	7 1.9	3 0.8	2 0.5
少し感じている	529 100.0	469 88.7	43 8.1	127 24.0	145 27.4	140 26.5	121 22.9	49 9.3	6 1.1	9 1.7	16 3.0	7 1.3	13 2.5
あまり感じていない	127 100.0	92 72.4	7 5.5	14 11.0	18 14.2	20 15.7	21 16.5	10 7.9	3 2.4	－ －	21 16.5	1 0.8	5 3.9
まったく感じていない	51 100.0	27 52.9	－ －	4 7.8	6 11.8	6 11.8	2 3.9	1 2.0	－ －	2 3.9	17 33.3	－ －	3 5.9

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を
2番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

7. 現在の幸福感

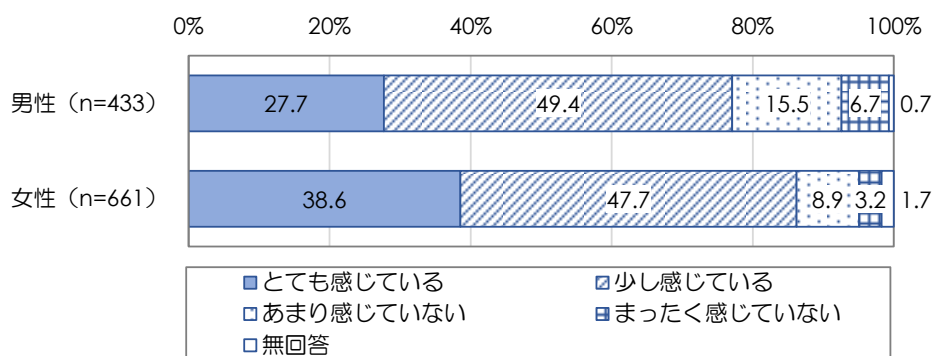
現在の幸福感については、「少し感じている」が48.1%と半数近くを占め、「とても感じている」(34.2%) と合わせると、8割以上が幸福感を感じているとの回答となっている。

地区別にみると、久志地区では「あまり感じていない」(17.8%) と「まったく感じていない」(4.1%) を合わせると2割以上を占め、他地区に比べてやや高くなっている。



性別にみると、「とても感じている」の割合が男性で27.7%と3割未満となっているのに対し、女性では38.6%と4割近くを占める。「少し感じている」と合わせた幸福感を感じている人の割合は、男性では77.1%、女性では86.3%となっている。

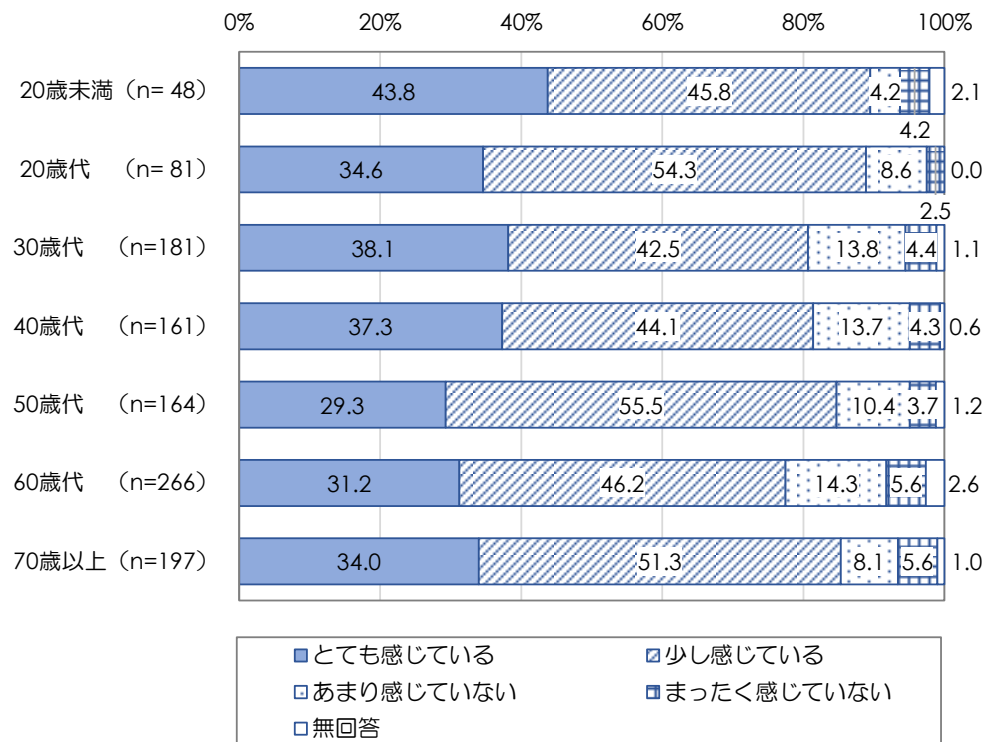
＜性別：現在の幸福感＞



年齢別にみると、「とても感じている」と「少し感じている」を合わせた幸福感を感じている人の割合は、20歳未満で89.6%と最も高く、次いで20歳代（88.9%）、70歳以上（85.3%）、50歳代（84.8%）の順となっている。

一方で、60歳代では「あまり感じていない」と「まったく感じていない」を合わせた幸福感を感じていない人が19.9%と約2割を占め、他の年代に比べてやや多くなっている。

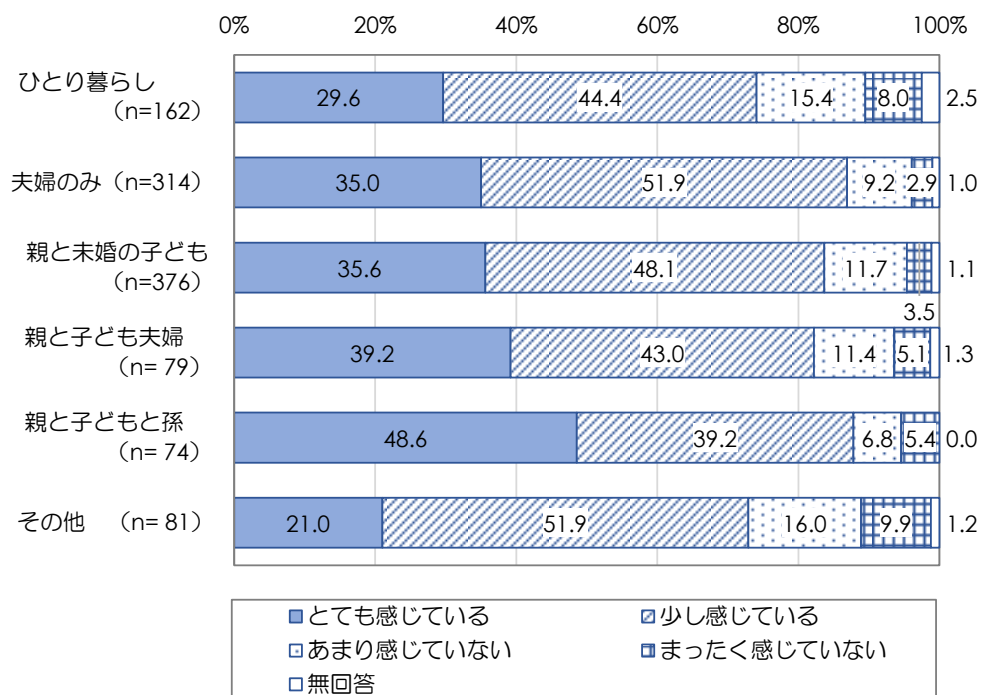
《年齢別：現在の幸福感》



家族構成別にみると、同居人数が増えるほど「とても感じている」の割合が増加傾向となっており、特に親と子どもと孫の三世代家族では 48.6%と半数近くを占めている。また、「少し感じている」を合わせた幸福感を感じている人の割合は、三世代家族で 87.8%と最も多く、次いで夫婦のみ世帯（86.9%）、親と未婚の子どもの核家族（83.7%）の順となっている。

一方で、ひとり暮らしでは「あまり感じていない」と「まったく感じていない」を合わせた幸福感を感じていない人が 23.4%と 2 割以上を占め、他の家族構成に比べてやや多くなっている。

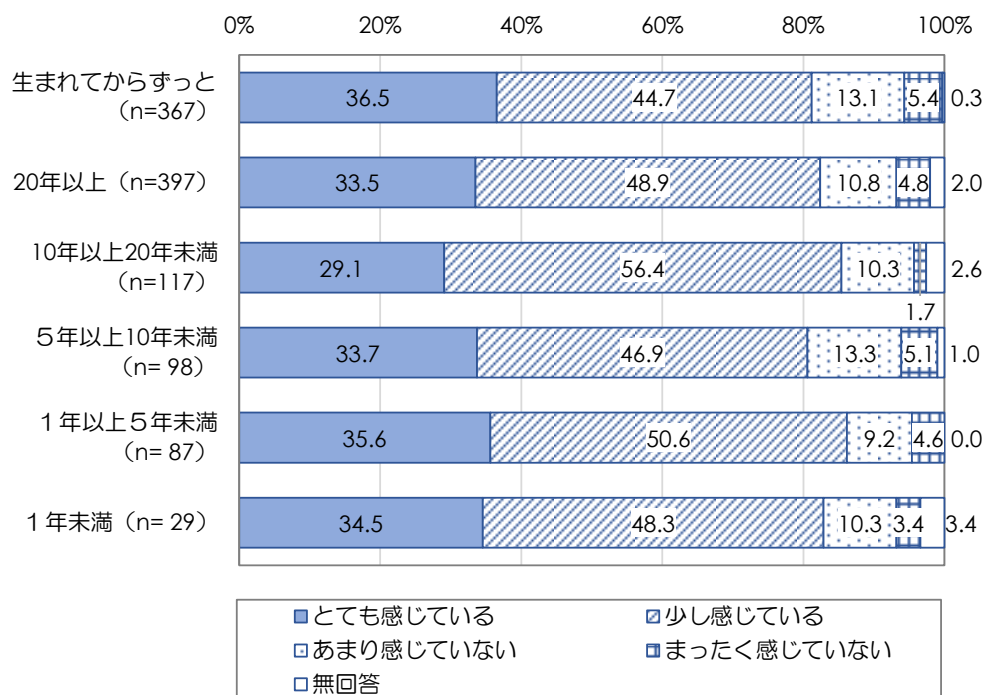
《家族構成別：現在の幸福感》



居住年数別にみると、「とても感じている」と「少し感じている」を合わせた幸福感を感じている人の割合は、1年以上5年未満で86.2%と最も高く、次いで10年以上20年未満（85.5%）の順となっている。

一方で、生まれてからずっと居住している人では、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」を合わせた幸福感を感じていない人が18.5%と2割近くを占め、他に比べてやや多くなっている。

《居住年数別：現在の幸福感》



8. 自由回答

自由意見については、573 人から意見があった。なお、個人の情報に関する部分については、一部編集を行っております。

意見	年齢	性別
安全に暮らせればそれで良いと思う。	20 歳未満	男性
医療、福祉を充実させてほしい。	20 歳未満	男性
映画館とか人が集まる施設があったらと思う。	20 歳未満	男性
学校の卒業式などでお菓子風船を渡す文化をなくしてほしいです。あの文化はもらえない人になかなかのダメージを与えます。本当に地獄みたいな空間です。完全になくすのは悲しい人がいると思うので、謝恩会や後の集まりなどで渡すくらいで良いと思います。教育委員会から学校に、「卒業式では、あげない。後の集まりなどで渡す。」と伝えてほしいです。	20 歳未満	男性
子どもや高齢者へのサポートが充実しており、住みやすい環境。	20 歳未満	男性
自分が思いつくシンボルマークなどが「ガジュマル」しかないし、地味に感じるがだからといって、東京の「スカイツリー」のような派手な建物を作らないでほしい。アピールするなら中身にしてほしい。それなら来てくれた人は分かってくれるし、そこからまた違う人へと伝達するかもしれない。急がず気長にまちづくりをして下さい。	20 歳未満	男性
スタバ、映画館。	20 歳未満	男性
鉄道を開通してほしい。	20 歳未満	男性
比較的平和な町だと思っていますが、未成年の教育等にまだ少しいたらない部分があると思うので、少しでも改善していただけると良いかなと思います。	20 歳未満	男性
病院に行った時、医者がいなくて次に来てと言われたことがあるので医者がいてほしい。医療器具がなくて、中南部に行くこともあるので、できればそれも揃えてほしい。	20 歳未満	男性
辺野古基地反対。公園に色々な年代が来やすいようにする。無料駐車場。避難施設。給水車/台などの防災用品の充実。市にある遺跡の整備。観光名所にしてほしい。ネオパークのリニューアル	20 歳未満	男性
スポーツジムを増やしてほしい。	20 歳未満	男性
若い人々が集い合えるまち、住んでよし、訪れてよしのまち。働く環境が多いまち。	20 歳未満	男性
勉強できるスペースを作ってほしい。外灯をもっと増やしてほしい。辺野古埋め立てをやめてほしい（将来が悪い方向に進んだり、自然が失われていくから）。	20 歳未満	女性
今でもいいからそのままで。	20 歳未満	女性
教育と医療機関をさらに充実して、若者が戻って暮らせる町づくりにしてほしい。	20 歳未満	女性
建物の工事が最近多い気がしますが、街並みはあまり変わらないでほしいという気持ちがあります。	20 歳未満	女性
バスの運賃を安くしてほしい。	20 歳未満	女性
教育、いじめ対策が学校内で伏せられている。防犯、名護市に防犯カメラがない。移動バスが主要地区、為又に通っていない。情報通信がまったく不備、偏り。	20 歳未満	女性
今朝、市役所に行きました。そこで感じたのは待機時間の長さ。IT 社会と呼ばれる今、少しずつで良いので、取り入れてみてほしい。あと、お年寄りの方への配慮があまりなかった。椅子の少なさ、文字の大きさ、呼びかけなど。	20 歳未満	女性
レンタカーが多くて渋滞している。信号が短い所があるのでもう少し長くしてほしい（大宮市場の交差点の信号等）。ポストを増やしてほしい。	20 歳未満	女性
娯楽施設、交通機関（モノレール）。	20 歳代	男性
インフラだけではなく、施設を充実してほしい！	20 歳代	男性
映画館など、娯楽施設を少し増やしても良いのではと感じます。美ら海へ向かう観光客に通過される街ではなく、名護がもつさまざまな魅力を感じてもらい、足を運んでもらえる街になることを願います。	20 歳代	男性
娯楽心ない。名護十字路がんばれ！	20 歳代	男性
自然環境を保護し、持続可能なまちづくりをしてほしい。	20 歳代	男性
少子高齢と言われ続け、問題になっているのにも関わらず、名護市は産婦人科を整えない（30 年もある）。小児科も少ない。それでは子どもも産めないし、ましては安全で、安心とも言えない。	20 歳代	男性

意見	年齢	性別
早急に観光地として魅力あるまちづくりをしてほしい（リゾート開発等）。	20 歳代	男性
鉄軌道を早く通らせて欲しい。	20 歳代	男性
環境の保全、安全、安心な街。文化施設、教育環境の充実。	20 歳代	男性
違法駐車を取り締まりをしてほしい。	20 歳代	男性
早く基地作って終わらせないとまちづくりどころではないと思います。反対派がひどすぎる。	20 歳代	男性
ゴミ問題（焼却炉）、燃えるごみ（再生燃料）。久志地域（下水処理）。医療（キャンプシュワブ）。活用すべき、ヘリパットなど、海上保安を兼用。	20 歳代	男性
子ども達が遊べる、遊具が整った公園。	20 歳代	男性
もっと若者が楽しめる町にしてほしい（娯楽等）。あと観光面でも頑張ってもらいたい。本部町など周辺市町村への観光地アクセスのための通り道にしかなくていい気がする。もっと市民を大切にしたい。一番の願いです。	20 歳代	男性
ゴミの分別をなくしてほしい。ショッピングセンターを作ってもらいたい。市民の娯楽の場を増やしてほしい。	20 歳代	女性
赤ちゃんの3、4ヵ月健診、定期的な家庭訪問を行って、健康相談にのってもらいたい。子どもが小さくて、1人でなかなか抱っこして役場へ行けず、体重を測ったり、相談が難しいです。	20 歳代	女性
遊べるところを増やしてほしい。夜の米軍の飛行機がうるさい。	20 歳代	女性
イオン、サンエーの通りも、バスで行けると助かる。	20 歳代	女性
今以上に保育園を作り、働きながら子育てができる環境を整えてほしいです。	20 歳代	女性
移住してきてまだ車の免許を持っていないので、交通の便が良くなると嬉しいです。	20 歳代	女性
お金を有効的に使って欲しい。道路工事ばかりじゃなくて、子どもたちの施設や公共の場で何か作ったりしてほしい。21世紀の森は、子どもたちが暗い中、サッカーやラグビーの練習を頑張っています。少しでも長く、快適に練習ができるようにライトを増やすなど。	20 歳代	女性
簡単な事ではないですが、産婦人科、マタニティ教室、マタニティヨガなど、中部・南部のようにもっともっと妊婦が安心してリラックスできる名護市になってほしい。実際、私の周りには、名護市に住んでいながら中部の産婦人科やマタニティクラスに通っている人がたくさんいます。子どもが生まれてからの名護市のサポートはありますが、産まれる前、「マタニティ」にもう少し力を入れてもらいたいです。私も名護市で2人の子を子育てしていますが、もう少し頑張ってもらいたい。	20 歳代	女性
車が渋滞しないような道路。	20 歳代	女性
車のない人たちのために、バスなどの交通機関を増やすべき。	20 歳代	女性
公園等、子どもの遊べる施設が少ない気がします。そのため、週末はいつも周辺の村、町や沖縄市等に遊びに連れて行くため、とても困っています。	20 歳代	女性
子育てを楽しんでできるように公園などの施設を増やしてほしい。保育園に入れず待機している子どもにも市から支援してほしい。（ミルクや離乳食の配布など）	20 歳代	女性
子どもから大人まで楽しめる場所をもう少し増やしてほしい。（室内、室外とも）映画館もほしい。大きいスーパー、地域行事ももう少しあると参加しやすい。新しい産婦人科もほしい。	20 歳代	女性
子どもたちが屋内外で遊べるところを増やす。雨の時児童センターぐらいしかない。家賃が沖縄市とかと比べて高い。築年数に応じてほしい。漁港を活性化してほしい。のうれん市場とかあわせ漁港みたいに。他市町村の取り組みもみてほしい。	20 歳代	女性
自転車専用道路を拡げる。	20 歳代	女性
ネオパークがせっかくあるのにあまり人が次もまた行きたい！と思えるような環境じゃないので、もうちょっと頑張ってもらいたい。もったいないです。	20 歳代	女性
産婦人科の充実が必要だと思う。中南部に比べて、選択肢が圧倒的に少なすぎる。保育士の待遇改善も必要。10月に国が保育・幼児教育無償化を始めるのであれば、現在名護市で行っている無償化の財源を保育の給料へ充てた方が良く思う。	20 歳代	女性
老朽化した団地建て替え。バス路線変更、ジャスコなどの前通ると利用者増えて便利だと思います。	20 歳代	女性
大きな商業施設を増やしてほしい。現在学生でもあり、いつも「名護市で何して遊ぶ？遊ぶ所がない！」という話が残念ながら出てきます。もっと若い人（学生など）に喜ばれるまちづくりを行ってほしい。	20 歳代	女性
保育園の充実。もっとしっかりとした医療機関求む！	20 歳代	女性
ごみ分別を減らしてほしい。名護市民児童センターをキレイにしてほしい。新しく、みんなが行きたくなるような。子ども、育児サポート。	20 歳代	女性

意見	年齢	性別
出産する際、産休育休がない会社で夫だけの給料では生活できず、保育園に入園するまで半年間生活費が足りず 50 万円借入れしました。出産祝金があれば、もっと安心して暮らせます。	20 歳代	女性
保育園がたくさんあるにも関わらず、待機児童となっている状態。保育士確保を求む。商業施設、公園、増えてほしい。	20 歳代	女性
久志地区から徒歩でアクセスできるスーパーマーケットを期待。空港へのアクセスが不便である。改善されると嬉しい。南部ばかりに大型ショッピングセンターが集まっており、不便なので、北部の発展に期待。	20 歳代	女性
共働きで子育てしにくい。近くに子どもが遊べる公園がない。病院が少ない。	20 歳代	女性
宜野座のような赤ちゃんから大きい子まで遊べる公園環境を作ってほしい。固定資産税をちょっと安くしてほしい。そしたら、家建てて名護市から離れず長く住んでもらえる。移住者も増え、人口も増える。人が増えると町にお金を落としてくれる人が増える。総合病院には紹介状なしで行ける環境を作ってほしい。病院を自分で選べるようになったら嬉しいです。今は県北に行きたくても紹介状なしでは受け入れられないので残念。	20 歳代	女性
人口増加率 1 位は嬉しいことではあるが、それに伴い交通渋滞、近隣トラブルなどが起きては意味がない。観光産業では地域にお金を落とすのも豊かになる手段ではあるが、美しい自然とともに住みやすい地域であるのは守り続けなければならないと思う。	20 歳代	女性
猫や犬など野良と思われる動物が多く見られ、自分自身は安楽死には反対なので、例えば地域猫活動を活発に行ったり、もっと動物も住みやすい地域になれば良いと思います。	20 歳代	女性
大きい船（客船）をいつ頃、名護市に出入港できるのですか。ビール祭りか、桜祭りは、どちらか超盛大にしてほしい。名護市に住んでいる人、今から住みたい人が（観光客も含め）「あの祭りはすごいね」と言うように。子どもが本を読む場所（図書館とか）、大人が本を読む場所（カフェ）が無いに等しい。夜、名護市自体、街が暗すぎる。せめて街灯のない所がない名護市に。あと、せめて十字路は名護市の歓楽街的な所では昼も夜も同様に暗い。なので若者がいない。20～30 歳代が特にいないのでは。追記で基地作りについて（整備面）ダンプカー廃棄ガスを取り締まってほしい。	30 歳代	男性
基地問題の早期解決を！！賛成でも反対でも、早く決めるべき。街の中に基地関連のポスターがあると景観が損なわれる。	30 歳代	男性
高速道路の許田 IC～本部、国頭への拡大（渋滞緩和）。若者の憩いの場の充実、映画が北部にないので作ってほしい。コーヒーショップ（スタバ、タリーズ）などあったら良い。	30 歳代	男性
交通環境（車からライトレール）。富山市を見本にしたまちづくり。	30 歳代	男性
ゴミの分別等が厳しすぎる。名護市が、何の取り組みをしているか分からない。市民税等、税金高すぎる。	30 歳代	男性
自主防災や自主防犯組織の強化（地域・行政と連携した取り組み）。公園等の整備と増設。部活動指導員の導入と特別教育支援者の増員と待遇の改善。現市政での早急の基地問題の解決を望みます。渡具知市長とともに！！	30 歳代	男性
若者が魅力を感じるような働く場が多くあってほしい。産婦人科の充実。	30 歳代	男性
活気溢れる緑街！！	30 歳代	男性
観光できる場所が充実している所が身近にあれば良いと思う。	30 歳代	男性
キッズニアのような子ども体験型の施設や、スポーツ活性化のようなもので多くの移住者の獲得へつなげてほしい。	30 歳代	男性
車、バイク等の交通安全。	30 歳代	男性
公園の充実（新しい公園を作ってほしい）。商業施設の充実。	30 歳代	男性
名護の住環境はとても気に入っています。内地出身者から見た名護の街は、30 代夫婦が暮らすには、ほぼ不便は無く、海、山、川が近い環境は魅力がいっぱいです。難しいのかもしれませんが、恵まれた自然環境を守りつつ、活気のあるまちづくりを目指していただきたいです。早急に解決していただきたいのは医療です。妻の出産の際、加療が必要だったのですが、名護で受け入れてもらえず、中部病院まで通わなければなりませんでした。これはとても負担が大きかったです。	30 歳代	男性
子育てで助けられることが多く感じます。また、役所で大変親切に対応されて、必要書類提出やサービスを受けることができました。ありがとうございます。これからも、教育に力を入れて、予算や人員をつけてもらいたいです。	30 歳代	男性
子ども達が雨の日でも遊ぶことのできる屋内施設の充実。少しはアミューズメント施設もあったら良いと思う。子育て支援についての市長の取り組みは非常に良いと思います。	30 歳代	男性

意見	年齢	性別
ゴミの分別を緩和してほしい。高齢者にやさしい街づくりをして欲しい。土日や祝日、17時30分以降の窓口業務を行ってほしい。	30歳代	男性
自転車専用道路の意義、説明不十分、作った価値なし。税金が高い。基地負担の見返り。	30歳代	男性
市内の道路について若干凸凹があるのが少し難点ですが、道路網自体はとても便利になったと感じています。必需品の購入、その他生活に必要なことにとてもアクセスがしやすいです。バスについては若干不便さを感じることもあります。また、いつもお疲れ様です。日曜日に開いている診療所があるとありがたいのですが。	30歳代	男性
総合運動公園。道路整備。観光地や若者の遊技施設。	30歳代	男性
地域か行政はすばらしい活動が多いが、情報発信が少ない。さまざまな活動の情報発信を増やすことと、それに参加しやすいようにする必要があります。	30歳代	男性
鉄道、空港の誘致、整備。辺野古基地との連携も視野。	30歳代	男性
病院が少ないので、もっと整備されると良い。	30歳代	男性
洋服店を増やした方が良いと思う。	30歳代	男性
公共交通の選択肢の少なさは積極的に改善してほしい。産婦人科医不足、医師会病院と県北の統合も早急に改善してほしい。	30歳代	男性
家具屋があれば助かります。ニトリやmax plus など生活雑貨店もできたら良いと思います。ごみの分別をもっと簡単にしてほしい！！細かくて大変です。	30歳代	男性
名護市に関わらず沖縄県は辺野古辺野古とそればかりなのでそろそろ諦めて本来力を注ぐべきことに集中すべき。無駄が多すぎる。	30歳代	男性
観光客を巻き込んだ、独自の産業の確立が必要だと思う。	30歳代	男性
愚痴、文句しかありません！	30歳代	男性
公共料金の安価。	30歳代	男性
ビーチクリーンをもっとしてほしい。	30歳代	男性
若い人達をもっと住みやすい環境を整える。	30歳代	男性
医療機関をもっと良くしたらもっと住みやすくなると思います。	30歳代	男性
辺野古基地問題について、国の天然記念物になっているジュゴンの棲家がなくなっており、何のための保護策か。また、ジュゴンだけではなく、他の生物（ウシガメや稚魚、サンゴ等）の生態系も変わり、重大な影響が出ると思われますがどのように考えているのかを聞きたい。	30歳代	男性
アパートの家賃が県内でも高いと感じます。若くお金も無い人間が結婚を考えた時に、同棲をするには負担が大きいと思います。全体的に若者の活気が溢れるようなまちづくりにして、盛り上げていってほしいです。	30歳代	男性
もっとまちづくりを考えてほしい。素通りする町ではなく、花がいっぱいの町をつくるとか、人が来なくなる町をつくってほしい。花は誰でも見にくると思うので、桜ばかりではなく季節の花をつかって一年中花のたえない町を作ってほしい。	30歳代	男性
レベルの高い医療機関の設置。	30歳代	男性
名護市の東海岸と西側で、生活環境の差がありすぎる。	30歳代	男性
映画館等娯楽施設がほしい。公園（児童センターが入った）もっと欲しい。産婦人科が充実してほしい（北部病院内に）助産婦の力を活用して助産外来を入れて医師不足をサポートできないでしょうか。市内に駐車場が（市中心街）増えてほしい。	30歳代	女性
ゴミ分別の簡素化。特に高齢者は、分別できないことが多く負担になっている。介護度が決まるまでのスピードを上げてほしい。申請してから認定されるまで長すぎる。	30歳代	女性
産婦人科が少なく、出産の時には不安を抱えての出産だった。総合病院でも出産ができ、妊婦が安心して暮らせるまちであってほしい。	30歳代	女性
アグリパークにもっと人が来るように、大型遊具などを作ってはどうかと思う。子ども連れの家族が増えるとアグリパークの利用客も増えて、お店ももっと魅力的なお店が増えていくのでは。今はあまり行きたいと思わない。	30歳代	女性
良い所がたくさんあるはずなので、もっと活気のある街になって欲しいです。	30歳代	女性
医療について、私には小さい子や病気を患っている子がいます。遠方の病院へ通っていて負担もあり、やはり地元で対応できるような病院があれば本当に助かります。	30歳代	女性
おじいちゃんおばあちゃん達が暮らしやすいまちづくり、人づくり。困っている人がいたら声をかける優しい人がたくさんいるまちづくり。	30歳代	女性
基地のない町づくり、基地がなくても名護市らしい町づくりはできると思います。自然を生かした名護市らしさを望みます。例えば、瀬長島のように「こおり島」を活性化できたらいいのかなと思います。	30歳代	女性
宜野座のような大きい公園があると嬉しいです。	30歳代	女性

意見	年齢	性別
兄弟で同じ保育園に入れない家庭が結構あると聞きます。日々の生活の充実のためにも、保育、教育環境を整えていけるよう、よろしくお願いします。	30 歳代	女性
車の人が多いのでなかなか行き届かないのかもしれませんが、外灯が少ないです。小さな子どもたちや学生が安全に生活できるよう、町全体がもっと外灯を増やして明るくなると良いと思います。	30 歳代	女性
子どもが2人いますが、2人目を出産し、生後5ヶ月で仕事をするか、就職活動をしなれば、上の子が保育園を退園になるということに対し悲しいです。どうしようもない（子を保育園に預けることが不可能）のに退園はおかしくないですか。子を預けることができれば、今すぐにでも働きたいと思っている住民は沢山いると思いました。産休、育休と保証がある仕事ではなく、パート・アルバイトで生活しているママさんは苦しんでいます。これは、家族設計、もう1人子どもが欲しいと思っても、上の子が退園になると思ったら、おそろしくて子作りもできません！	30 歳代	女性
現在、10年以上保育士として働いています。待機児童が多い名護市、現場からの意見です。その中で、出産、子育てをしながら両立をしています。保育士という仕事が大好きで職場も大好きです。保育料無料化は大変すばらしく感謝しています。しかし、名護市の保育士不足についてですが、手当や給料面だけの問題ではないと感じます。実際に休日があっても日頃の保育の仕事は大変な仕事です。保育に行事、書類に追われ、どの保育士も、一息つくのがまったくないのが現状です。両立は難しいと離れていく方がとても多いです。親支援も大切ですが、保育園は子どもを簡単に預かる場でないことを保護者にも理解していただきたい。中には休みでも預けっぱなしの方、仕事をしていない方も多く、でも協力（休みの）の依頼をするとクレームがくるのは保育園です。もっと給料だけではなく、保育園の仕事内容を理解していただかないと、この先成り立たないと感じます。子育てと保育士を両立する保育士が働きにくくなるかと感じます。その結果、影響がでるのは子ども達なので。保育士だけでなく、その以外の職業に関しても両立をする女性のためにも働きやすい名護市になってほしいです。保護者の方にも協力できるよう、園のルール（市で一律して）をはじめから発信してほしい。輝く名護市、未来のためにも改善を、よろしくお願いします。	30 歳代	女性
子育てしやすい街、安心して子育てできる街になってほしいです。	30 歳代	女性
今年4歳になる男の子と1歳になる女の子をもつ2児の母です。支援センターが多いのは助かっていますが、働いていない専業主婦も気軽に預けられる一時預かりを充実させてほしいです。私の場合、近くに頼れる家族・親族は名護市内にいません。ファミリーサポートも利用していますが、子どものことを考えると、同世代の子どもたちと社会性を身に付けられる環境の方が良いと感じます。あと、ファミサポは1時間ごとの料金なので、なかなか一日自分の時間を確保するのは料金的につらいです。ちなみに、以前住んでいた北海道の旭川市では、保育園・こども園での一時預かりは8時間預けて¥1,200（給食込）でした。気軽に利用でき、自分の気分転換もできて、とても良かったです。2つ目に、屋外施設で遊べるところはもちろんですが、沖縄の場合、日差しがとても強かったり、雨・風が強くて外で遊べないことも多く感じています。なので、もっと屋内でも思いっきり体を動かして遊べるような公園施設があればと思います。アスレチックやすべり台、走り回れるスペースが屋内にあれば、天気に関わらず子どもたちが体を思いっきり動かすことができます。北海道旭川市にある『カムイの杜』という所は広い屋内に木造のアスレチックやウォールクライミングあり、冬の雪が強く吹雪いている日でも、思いっきり子どもは体を動かすことができ、よく親子で出かけていました。夏は外に水遊びができる施設もあり、大好きな場所です。名護市も豊かな自然あふれる、のびのび子育てのできる素晴らしい所だと思います。その自然を生かし、より子どもたちが元気にすくすく育つ活気のある市になっていただけたら、親としてこの上なく幸せです。	30 歳代	女性
子ども達が公園で遊ばなくて困っているので、お年寄りの公園（公民館）でのゲートボールの時間を午前にして、午後からは子ども達が使えるように配慮してほしい。子ども達の遊べる場所を近場でも作ってほしい。	30 歳代	女性
子ども達の安全のため、辺野古に基地を作らないこと。行政が身近に感じません。もっと地域に密着するべき。シングルマザーなので不安になることもあります。相談窓口は市役所以外にもありますか。役所はオープンな所なので相談しづらい。	30 歳代	女性
子どもの耳鼻科が少ないので、もっとあったら良いと思います。ニトリもきてほしい。現市長に期待しています。	30 歳代	女性
子どもを遊ばせられる公園商業施設、スーパー銭湯を作ってください！	30 歳代	女性
ゴミの分別を少なくしてほしい。	30 歳代	女性
ゴミの分別がもっと楽になったら良いですね。	30 歳代	女性
コミュニティバスを作ってほしい。	30 歳代	女性

意見	年齢	性別
災害の時に、外国人、障害者、子どもでも、わかりやすい避難経路等の対策を考えたいと思う。	30 歳代	女性
少子化というこの時代に教育・保育料・勤務時間、働く母親にとって、充実したまちづくりを望みます。制服代等も国もしくは市が半分は負担できるような環境にしてほしい。	30 歳代	女性
シングルマザーで働かないといけないのに、働けば働く程団地の家賃は上がるし、扶養手当は下がるし働く意味がない。また、役所は土曜日か 12:00～13:00 開けてほしい。(不便)	30 歳代	女性
住んでいる町に不審者情報がたえません。子どもの安全だけでは守りきれない部分がある。町が活性化し、明るい美しい環境があれば、犯罪しにくい町になると思います。他人と他人が触れあう場やイベントなど、私たちの町を大切にすること意識付けにもなる。	30 歳代	女性
総合病院の医師不足を改善させ、充実した医療を提供してほしい。それ以外は、とても環境良く快適な住みやすい地域だと感じている。	30 歳代	女性
名護市の環境を生かして、名護市以外（海外含）の方が、観光できるようになってもらいたい。もっと人が集まるような「まち」になると思う。	30 歳代	女性
名護市は車があればとても住みやすい場所だとは思いますが、仕事に関しては若い世代が離れ、市外（南部）で働く方が多いように思います。もっと子育て世代や、若い人が働きやすく、安心して暮らせたらと思いました。	30 歳代	女性
名護市は子どもが遊べる公園が少ない。公園へ連れて行くのに中南部へ行ったりすることもある。	30 歳代	女性
名護の自然環境を大切にしてほしい。海、木々など、すぐに何かを建てるのではなく。新基地もいりません！あの海をつぶさないでほしい。	30 歳代	女性
名桜大学で行われている、ヨガやエクササイズをもっと、身近でできる所があるといいな。	30 歳代	女性
不妊治療の環境、支金援助に力を入れてほしい。子どものいない家庭にもプラスになることをしてほしい。	30 歳代	女性
辺野古についての設問がまったくありませんでした。名護市で生活する上では、辺野古への基地移転は大きな問題であると思います。(騒音、治安、安全など)	30 歳代	女性
辺野古への基地移設はしない。産婦人科の充実。緊急搬送で中部まで行かず、北部内で常時対応可能にしてほしい。	30 歳代	女性
防災の強化、災害復旧の人員、設備、訓練等不足だと思います。	30 歳代	女性
北部地域の医師不足の改善。病児保育施設の充足。十字路商店街の活性化、観光地として集客を。	30 歳代	女性
ほぼ使われていない自転車用通路を作るために、高い税金を支払いたくない。税金の無駄遣いだと思う。移住者が増え、若い夫婦が多くなってきているのだから、そこをターゲットにまちづくりをしてみたらいかがでしょうか。名護の公園は、キレイな所が少なく、比較的キレイな所にいっても、タバコの吸いがらのゴミが落ちていて、小さな子どもが安心して遊べません。他の市町村のように、管理者が常にいる公園などあればとよく思います。(宜野湾の我如古交差点近くの公園のようなところ)	30 歳代	女性
ゴミの分別をもう少し楽にしてほしい。細かくて大変です。	30 歳代	女性
名護市に限らず、北部の子どもはとても運動神経が良いです。ですが、スポーツができる環境がまったく整っていないです。と同時に、駐車場も不足。陸上競技場周辺へ路駐せざるをえず。サッカー場もないため、ラグビー場。体育館もかなり古いと思います。それらを整えることで、子どもたちもそうですが、県外・国外の方が、オフや合宿で利用し、名護市の良さを知ることでもできると思います。	30 歳代	女性
北部基幹病院早期の実現。空港アクセス充実と時間短縮。中南部との格差をなくす。北部地域にも、中南部にしかない店舗を誘致すること。新球場を第 2 のコンベンションの野外劇場にして、コンサートを誘致し、多様に使用できるようにすること。	30 歳代	女性
電車希望。	30 歳代	女性
カラス対策をしてほしい。以前は減っていたが、また増加している気がする。伊江島の基地からの騒音も気になります。	30 歳代	女性
観光について中途半端なのでロケーションが良くても活用できていない。美ら海水族館や古宇利島などに行く多くの人達の通過地点になっています。観光に来られる方が、沖縄のどこに魅力を感じているのかを知り、その中で名護市に向いていることを実践、PRすることで、地域として盛り上げる必要があるのではないのでしょうか。	30 歳代	女性
教育施設等を通じて、若い世代の定住促進（学童施設の充実等）。	30 歳代	女性
公園を増やしてほしい。	30 歳代	女性

意見	年齢	性別
子どもの育てやすいまちづくりをお願いしたいです。母子世帯なので、学童の利用、病児保育など利用することが大変です。仕事を長く続けられるように改善宜しく願います。	30 歳代	女性
乳幼児を気軽に連れて行ける公園を増やしてほしい。	30 歳代	女性
米軍基地のないまちづくり。未来の名護市、ひいては沖縄のために、新たな基地はほしくない。	30 歳代	女性
基地反対の活動家に、日常を侵略されている（演説の騒音、座りこみ、選挙の監視とか）。通勤の邪魔、賛成、反対はどうでもいい。自分の生活を邪魔しないでほしいだけ。強制的に排除できない人ですか。働く世代に希望がある街にならないと、老人とニート、変な活動家しか残らない。	30 歳代	女性
他の地域と比べて名護は市民税が高いと思います。それなら、何か特別なサービスが受けられても良いのではないかと思います。一部の人だけに利があることでないことで、サービスとして受けられたら、とても嬉しく思います。雑草とか多くて歩くのが怖い時もあります。景観が整っていれば、お年寄りや若者など、みんなが楽しめる名護に近づけるのではないかと思います。ボランティアというのは、真面目な人が一生懸命やって馬鹿をみているような気がします。今後、そういったことをしてくれる人は少なくなっていくと思います。	30 歳代	女性
大人、子ども、老人、障害もった人でも安心して住めるまち（共に歩む/共存）。	30 歳代	女性
名護東海岸のまちづくり（住みやすい、移住したいと思われる地域）に関わっていきたいと思っています。1日も早く大浦湾埋め立て工事を止めてもらい、この自然と静かな生活を取り戻したい。	30 歳代	女性
「食」をコンセプトとしてまちづくりを目指したい！！市内で肉、野菜、魚、果物など豊富にとれる「食」は観光の大きな魅力である。名護市役所・企画情報課北谷町を中心にまちづくりコンサルタントをしています。今度是非情報交換させて下さい。	30 歳代	女性
高齢者が運転をしなくていいような交通手段づくり（車に乗るよりも、便利や得となるようなこと）。危険がいっぱい！例えば、コミュニティバスの運行（公共施設へのアクセス/スーパー）。乗車率を上げるには、車が不便と思えば、国が進めている自転車も増えるかも。高齢者に限らず、例えば駐車料金が出るとか。子どもの学力向上（全国平均とれる学習内容 地域環境 家庭環境の重要性）。子育て世代を増やす取り組みを優先してほしい。増えなければ、税収も上がらない。	30 歳代	女性
子どもの習い事の情報が分からない。どこでどんな習い事があるのか。歩いて行ける公園がない。街灯が少ない、暗くて怖い。学校の周りを巡回してほしい。不審者や、不良の子たちがいると聞いたので。	30 歳代	女性
空き家対策、室内で遊べる場所。名護市は子どもが多いと思うのでゲームセンターではない遊び場をもっと多く。	30 歳代	女性
子ども達の習い事リスト（名護編）みたいなのがあったら良い。そろばん、ピアノ、塾、ダンス、野球等々。ジャンル分けしてあると放課後が充実するのではないと思う。	30 歳代	女性
野良猫に餌を与え、避妊・去勢をせず、仔猫が増えています。車に轢かれたりしてとても猫達が可哀想です。そういう家へ訪問し、改善・指導等をしていただける企画課等があってほしいです。	30 歳代	女性
無料でクラブ活動があったらと思います。小学生の子どもが2人います。学校が終わってからすぐに携帯を見るので、5時ぐらいまで公民館などで親が交代で何かできたらいいなと思います。もちろん私も協力したいです。	30 歳代	女性
役所の窓口の対応にスムーズさを感じない。他市町村の窓口を見学してみてください。下水道の整備を早めをお願いします。信号機・カーブミラー・外灯の整備が不十分に感じます。ウムサ地区（ラ・ラ・ラ保育園近くT字路など）。	30 歳代	性別不明
運転免許を返納しても、買い物等不自由しないよう、無料・低額なコミュニティバス必要。就学まででなく、高校まで子育て補助を充実させ、「沖縄一の子育て町」とし、移住者を増やす。	40 歳代	男性
子どもの給食費が無料になるが、教員の給食費は月に700円値上げすると聞いております。考えられない政策を平気でやりますね。自転車専用道路は今すぐ工事をやり直し、歩道を広くしてほしいです。	40 歳代	男性
現市長の元で多くの開発事業に取り組んでほしい。	40 歳代	男性
ゴミの分別を少なくしてほしい。ニトリがあればいいな。映画館があればいいな。宜野座（道の駅）に負けないくらいの公園を作してほしい。子どもの少子化対策として、第三子以降は、子育て支援金があればいいな。	40 歳代	男性

意見	年齢	性別
財政が豊かになることより、自然を守り、子や孫に住み続けたいと思ってもらえる町づくりをお願いします。	40 歳代	男性
市営市場及びその周辺地域の再開発について、現在よりも以前挙がっていた、もっと広い場所の再開発に取り組んでいただきたい。	40 歳代	男性
市街の活性化。福祉の充実、福祉大国へ。	40 歳代	男性
仕事が少ない割に、バスがカバーしている範囲が狭く、車を待たざるを得ない主婦や老人が多いのでは。この 2 点が改善されればもっと暮らしやすく、安心安全。	40 歳代	男性
自転車道は必要でしょうか。サクラ、ユリ、沖縄ソバ全て他地区に取られ全てにおいて後手すぎる。気付いていますか。名護市笑われていますよ。	40 歳代	男性
市役所を博物館にして新博物館の建設予定地に市役所をもっていったら良かったのに。	40 歳代	男性
人口も増えている中、医療施設の整った病院が少ないと思います。受診するだけで 1 日病院にいないといけないうので受診や夜間時間のある時に受診することになってしまう。どうにかしてほしい。中部や那覇市みたいに大きくスムーズに受診できる施設がもう 1 つあってもいいと思う。	40 歳代	男性
税金が高くて住みにくい。名護に家があるため住んでいるだけ。	40 歳代	男性
名護市内にある十字路の信号は右折信号がなく、仕方なく赤信号で右折せざるを得ない箇所が多くとても危ないです。自転車専用道を整備するよりもそちらの方が先だと思えます。大事なことなのでもう一度言います。とても危ないです！早く十字路信号につけて下さい！よろしくお願いします。	40 歳代	男性
名護市内の道路の整備をしてほしい。	40 歳代	男性
名護十字路が華やかになればいいのにね！シャッター通りじゃなくて！	40 歳代	男性
複合商業施設や映画館など娯楽・文化の施設がもっとあってほしいです。子育てに関しては、屋外の遊び場、遊園地などがまだ少ないため、もう少しあった方が良いと思います。そして、子ども医療費助成については、小学校までにしていただければ大変助かると思います。	40 歳代	男性
北部は大きな基幹病院がないので将来不安です。是非作ってほしい。観光地（レジャー施設など）作って町おこししてほしい。子育てや医療の充実した町にしてほしい。	40 歳代	男性
貧困問題。福祉の充実。	40 歳代	男性
給食費の無料化などのばらまきは食育の点からもなくした方がよい。ゴミの分別の簡素化、ゴミ袋 100 の値下げ（半額ぐらい）。役に立たない市議会議員の削減（人口比に対して多すぎる）。	40 歳代	男性
具体的な考えはありませんが、名護市民全員が「名護って素晴らしい」と言えるようなまちづくりができればいいのでは。常に市民の事を考えるまちづくり。	40 歳代	男性
21 世紀の森をもっと充実させてほしいと思います。宿泊ホテル、飲食施設の誘致など、また、子どもが遊べる遊具をグレードアップしてほしいです。	40 歳代	男性
ゴミ分別の簡素化。きれいな街づくり化、道が汚いので整備する。	40 歳代	男性
名護 21 世紀の森体育館の改修を希望します。アリーナ部はしっかりしていますが、トレーニングルームが老朽化して使用しづらい。他市町村と比較すると古さは明らか。情報通信についても自治体主導で無料 wi-fi を拡充させてほしい。インフラが整備されれば、移住者も増えてくると思う。	40 歳代	男性
e スポーツに力を入れてみては、どうでしょうか。	40 歳代	男性
キャンプシュワブ前の反対運動によって、渋滞が起こることがあるのを何とかしてほしい。反対運動をするのは自由だと思うが、それによって一般市民の生活に影響が出るのはいただけない。難しいと思うが、何か対策ができればありがたい。そのために、名護市街への最強ルートを避けることが多いので。	40 歳代	男性
基地のない名護市。	40 歳代	男性
辺野古に基地ができると、どう考えても危険が増す。対策も、約束も平気で破る米の態度はまったく信用できない。それに対する日本政府の対応も、評価できない。	40 歳代	男性
経済を重視するあまり、自然環境を壊してまで無理して開発する必要はないと思う。名護市の特徴、特に歴史、文化、風景などを活かした町づくりに取り組んでほしい。ホテル・リゾートなど、外からの人やお金をあてにするだけでは不安定だし、開発が進みすぎると特徴のない地域になり下がる懸念にも留意すべきではないか。	40 歳代	男性
自転車専用道路は福岡市のような自転車利用が多い街には必要だが、名護には不要で歩きにくくなって落ち葉ゴミが溜まるだけ。名護漁港のリゾート化は賛成、しかし残っている自然海岸をつぶしてリゾート化することは反対。名護のシンボリック風景にすべきだ。	40 歳代	男性

意見	年齢	性別
名護市の行政に関して辺野古の問題ばかりが主になりすぎているように感じる。パイパスにバスを通して、名護より北部の住民への交通を充実させる等、もっと北部の中心としての自覚を持った発展を期待します。北部にも空港等、県内外へ行きやすい施設があれば、人の流れも良くなると思う。自然は大事、基地はいらないと思うが、逆に利用して何かできないか考えることも必要だと思う。	40 歳代	男性
名護住民のうち、外国人へのケアを検討してください。たくさん外国人が名護好きで移住してきていますが、ケアがまったくないので生活が厳しいです。	40 歳代	男性
名護市は、だいぶ潤っているが、(観光客が多数) 個人的なアクティビティーな場所が少ない。サウナ・プール、市の施設が少なく、ライフライン的に市外へ行くことが多い。保育所も待機児童が多く、希望も通らない。子を預けて仕事するには、仕事もないと聞かされている。設備等を整えてほしい。	40 歳代	男性
辺野古の新基地建設にはこれからも絶対に反対し、作らせないで下さい。	40 歳代	男性
もっとバスの交通機関を充実させてほしい。	40 歳代	男性
家族で住む賃貸の家、部屋が少ない。赤瓦や白瓦の家が少なくなり、近代的な建物が多くなってきていると思います。赤瓦や白瓦の屋根を取り入れる等、沖縄らしさを残してほしいです。学校ですが、授業中に騒ぐ生徒がいるために支障をきたしております。学校側の改善も見受けられません。教育委員会には、その辺も取り組んでいただきたいものです。	40 歳代	女性
他自治体から転入した際、ライフラインが高くビックリしました。もう少し安くなると良いです。教育レベルを向上していただきたい。	40 歳代	女性
交通を便利にしてほしい。モノレールとか。市内バスの路線の道が少なすぎる。通らない所が多い、スーパー前とか。	40 歳代	女性
子どもからお年寄りまで安心して暮らせるよう、福祉、子育てを充実させてほしい。基地はいらない！！市街地だけでなく、他の地域に住む方々の暮らしやすさを改善してほしい。(交通、医療、買物の便)	40 歳代	女性
子ども達が外で遊べるよう、公園の整備と映画館や複合施設(商業だけでなく、地域の人たちが集えるコミュニティ)。軽度の障害がある人(発達障害、うつ、事故の後遺障害があるが働ける人等、日常生活に不便は感じているものの生活できている人)達への支援の充実(例：高齢者便利帳のサークルコミュニティ、若い人にもそういう場があればと思う)。観光客を呼び込むのではなく、名護市民が名護市のためにお金を使い名護市ですっと生活していきたいと思う環境を整えるべきだと思う。	40 歳代	女性
子ども達の教育に力を入れてほしい。文化的な活動ももっと充実するといい。街の活性化についてもっと力を入れていけたらいいと思います。	40 歳代	女性
ゴミ焼却場を早く新しくすべき。環境及び、市民の分別苦のため。他の市からすると、遊具のある公園が少なすぎる。小学校・中学校にプールを作してほしい。ないことに驚きました。	40 歳代	女性
なんぐすくを人が訪れやすいように整備してはどうでしょうか。上に登る階段が一直線すぎて年配者や小さな子どもにはきつそうです。上には公園(アスレチック?)がありますが、人が少なくもったいないと思います。テニスコートを整備して国内外の選手の合宿を誘致してはどうでしょうか。沖縄は真冬でもテニスができますから。	40 歳代	女性
1 回限りのまちおこし企画が多すぎると感じる。チラシや企画は立派だが、市民として参加しても楽しめず、イベント運営側の面々も渋々やっている感じが伝わる。もしくは、運営側の身内(内輪)だけでおいしい思いをして、一般市民に全く伝わらない(いつのまにか終わっている)など。	40 歳代	女性
基地のないまちづくり。教育に力を入れ、人材を育ててほしい。高齢者に優しい行政。ゴミの分別がとても大変。納税できる人(している人)を応援してほしい。このようなアンケートを行い何に役立てたのかを明確に分かるように説明してほしい。給食費をタダにするより、ゴミ袋をタダにする方が、全世帯が助かるのでは。貧困家庭と言っている人達が贅沢な暮らしをしているような気がする。このアンケートもお金の無駄ではないでしょうか。	40 歳代	女性
安心して子育てができる名護市にしてほしい。	40 歳代	女性
医療充実を目指してほしい。	40 歳代	女性
お年寄りの危険運転や観光客も。	40 歳代	女性
介護保険は払っていても、実際、介護が必要になっても介護認定が要支援ではたいした介護サービスも受けられず、本人もその家族も苦しいばかり。改善してほしいです。名護市だけの問題じゃないけど、家族が受けられる支援があるなら、利用して家でみるといっても、病院が施設に入れなさいとは、ひどすぎる。	40 歳代	女性
基地反対の人達の交通の妨げをどうにかしてほしいです。通勤の。	40 歳代	女性

意見	年齢	性別
キャンプシュワブ前の渋滞をどうにかしてほしい。	40 歳代	女性
公園の整備が行き届いていない。ゴミのポイ捨てをどこでも見かける。不法投棄が多い。まちの美化づくり。	40 歳代	女性
公共機関の充実。子どもが安心して遊べる遊具施設、公園の設置。空を見上げる度、不安にならないような環境。新しい基地はいらない！！	40 歳代	女性
子育ての真っ最中、名護市には大型遊具がある公園がなく休日には遠出をしないといけないので近場にあると助かります。	40 歳代	女性
子どもを育てるための環境作りに今一度力を入れてほしいのと、医療も充実させて子どもからお年寄りも住みやすい市になって下さい。	40 歳代	女性
ゴミの分別の種類を減らしてほしいです。	40 歳代	女性
これからも観光客が増加しそうなので、道路整備をしてほしい。自転車道路は正直必要ないと思う。その分車線を増やしてほしい。自転車道路の使い方が分からない人が多いと思う。子ども達が自転車道路を歩いたり、走ったりしているのを見かける。逆走も多い。自転車道路をつぶしてそこを車道にした方がいいと思う。交通環境が悪くなり、住みにくい街になった。とにかく道路整備してほしい。	40 歳代	女性
社会福祉活動に関わりたので情報が欲しい。住んでいる地区にゴミのポイ捨てが多いので自分で拾うようにしているが、何とかしたい。子どもの教育・貧困のことに關して積極的に活動したい。	40 歳代	女性
スーパーで働いていますが、観光客に「名護に来た！！」が分かるお土産はありますかと聞かれ、戸惑いました。日持ちがして、おいしいお土産はありますか。無ければ作ってほしいし、あれば、ネット等で情報発信してほしいです。	40 歳代	女性
税金が高い。	40 歳代	女性
専門の医者が不在のため、南部へ通院しなければならず不安がある。もし教育等、支援できるなら名護市に医療の専門的な人を育ててほしい。若者がぜひ帰って来くなるような仕事もあった方がよい。北部で建築業も充実してもらいたい。リフォームや道路補修も、中南部の業者に頼ることのないようにしてほしい。	40 歳代	女性
団地を増やしてほしい。	40 歳代	女性
名護市の 10 年先を見据えた計画を、もっと市民にも、市の職員の方にも興味を持ってほしいです。関わる方だけの意識だけでは、市・職員の気持ちから盛り上げてほしいです。県の取り組みでも情報が伝わっていないことも多い。各種講座やイベント、取り組みの周知等に気持ちに力を入れてほしいです。私個人としては将来の名護市は明るいステキな町になっていることを、強く想像・思い描いています。	40 歳代	女性
名護市の将来ということ言えば、まったく期待はしていません。逆にこれから廃れていくのでは、という思いです。現市長になってからは、名護市民にも疑問しがなく、未来はまったく見えません。	40 歳代	女性
名護市辺野古への基地移設を反対します。	40 歳代	女性
名護バイパスのバイクの騒音がひどい。取り締まりをしてほしい。高齢者が気軽に出入りかける街づくりをしてほしい。家族に頼らず、地域の交流に参加できる雰囲気が必要。	40 歳代	女性
日本ハムを、もう一度こさせて、名護市を活性化させて、観光客を増やした方が。	40 歳代	女性
バス路線の整備・拡大。新規事業への支援（市街地・名護十字路通りの活性化）。	40 歳代	女性
保育士不足改善。	40 歳代	女性
北部は医師不足と言われています。安心して生活ができるよう、医療面を充実させてほしいと思う。	40 歳代	女性
補助金（基地）に頼らず、地域特性を生かしたまちづくりを！！	40 歳代	女性
各区に公園があると嬉しい。北中城公園のような大きな公園を名護市に作ってほしい。	40 歳代	女性
ゴミの分別が複雑で分かりにくいので、改善してほしい。常に保育の心配をせずに働ける環境づくりを希望します。	40 歳代	女性
中高生の学校や塾の送迎が必須のため、自分の時間の確保が難しい。特に通学路のバス路線・バス本数を充実させてほしい。	40 歳代	女性
通勤・通学の時間帯だけでも公共交通の利便の改善。	40 歳代	女性
できるだけ基地のない名護市政を、と願っています。国の政策と話され、継続して建設を進めていくのなら、子ども達が安全であること、万が一の時にはそれに対する保証を拡充すること。	40 歳代	女性
養豚、養鶏、魚の廃棄臭等の改善に向けて、どう考えて計画しているのかを伺いたいです。改善がみられないと、地区から離れていく、住めないと話す若者が多いです。	40 歳代	女性
災害時の対策。交通の利便性の向上。	40 歳代	女性

意見	年齢	性別
医療をもっと充実する取り組みに力を入れてほしい。観光客のマナーの悪さを改善するように努めてほしい。特に運転のマナー。道路（交差点）の優先道路を分かりやすく。	40 歳代	女性
子どもが高校に通うために必要なバス運行の不足。バス乗車賃が高すぎる。バス代の補助など負担軽減してほしい。屋我地地区のインターネットの充実をしてほしい。	40 歳代	女性
ごみ出しの件ですが、ひとまとめにできたらと思います。例えば、ビニール・トレー等を燃えるごみとして出せたらと思います。	40 歳代	女性
ゴミの分別、他市町村から転入してきたらとても分別が多すぎる。	40 歳代	女性
若い人達が働く、就労場所が少ないので、さまざまな会社の誘致が必要なのではと思う。	40 歳代	女性
海・森を大切にしたい今のような空が広い名護。小さなローカルバスが便利なまちづくり。クリニックなどで利用されているような小さな移動手段の充実。	40 歳代	女性
交通機関の整備。	40 歳代	女性
図書館や児童センター等、公共施設が遠すぎて、子ども達だけで行っておいでは言えない。各地域に小規模でもいいので、そういった施設があってもいいのでは。	40 歳代	女性
細い道でも人がよく通る道には街灯をつけてほしい。名護市はサイクリングやジョギングが気持ちよくできる場所がたくさんあるが、街灯がなく暗いのももったいないです。街灯がたくさんあるまちにしたいです。	40 歳代	女性
外国人（インバウンド）誘致より、工場など誘致して就業支援（市内・市外・県外）の充実。外国人より地元優先したまちづくりをしてほしい。名護商店街の活性化、名古屋の大須商店街とか見本にしてみてもいい。もっとあったら外にでかける人も増えるのでは（B級グルメ、アニメとか古着、ゲーム、おしゃれもあり）。高齢化に向けて安心してゆんたくできる喫茶店とか。例えば、朝、病院など喫茶店（モーニングからランチ）→ゆんたくしてストレス発散。顔を合わせることで調子も分かる。	40 歳代	女性
21 世紀の森公園は駐車場が圧倒的に少ない。増やして各種イベントにも対応可となるようにする。港をもっと埋め立てて、土地を確保する。東江の海岸付近に屋台村をつくってサンセットを見ながら夜は人が集まる、食事ができるようなスポットにする。名護城公園はもっと遊具を増やして駐車場を整備。頑張ってください。	50 歳代	男性
娯楽施設の誘致（映画館、スポーツ施設「ジスタス、コナミ」）。南部より物価や賃貸アパートの支払いが高めに感じます。	50 歳代	男性
自然を大切に！緑豊かな町に！	50 歳代	男性
中南部の人が、レジャー目的で北部に来るののだが、名護は素通りする。ナゴマチで遊べるところ。海には、管理釣り場とか作ることってできないのか。コミュニティバスを運行する。日中のレジャーを充実させるための何か。川をきれいにしてほしい。選択式のアンケートではなくて記述式の市政に対する提案を募る方法もあるのではと思う。広く浅くの意見集めとかではなくて、狭くても深い意見を集める必要がある。街に個性があると、人が集まる。マニアックなところがあってもいいのでは。	50 歳代	男性
イベント会場、名護十字路、娯楽の場の駐車場がとにかく少ない。不便で参加をためらうことが多い。市民会館の駐車場規制が多い。市民のためとは思えない。	50 歳代	男性
市町及び行政職員頑張ってください。応援しています。	50 歳代	男性
市の職員の対応に謙虚さが無い。特に 50 歳代以上、定年前の職員。自分達、市の職員の給付の源泉どこから来ているのか理解していない！！	50 歳代	男性
税金を安くして下さい。扶養・子どものいない家庭にも、税を緩和してほしい。	50 歳代	男性
為又までの交通機関が不便。発展しているのに交通が不便（買い物は名護市内サンエーだけで品物が高価）名護から為又までの交通が不便（シャトルバスなどの運営）。	50 歳代	男性
転勤者です。名護は完全な車社会だと思う。市内を歩いている方がほとんどいません。商業や娯楽施設が郊外にあるのもその要因の一つ。宮里から為又方面への公共交通が充実していません。交通弱者の外での活動が制限されています。市内循環バス（名ゴ十字路～北部病院～伊佐川交差点～為又～宮里～名ゴ十字路）の運行を提案します。	50 歳代	男性
電車で那覇まで行けるとよい。	50 歳代	男性
名護市が活気のある街になるよう、第 5 次名護市総合計画に期待します。辺野古には基地はいりません。	50 歳代	男性
名護市は家賃が高い。介護保険料が高い。介護施設が乱立している。名護十字路周辺地域の活性化必要である。	50 歳代	男性
那覇市～名護市間の鉄道整備、市街地を巡回するバス、屋我地や久志地区と市街地を結ぶバス等の公共交通の整備、県立の小中高一貫教育を誘致し、進学に特化した教育	50 歳代	男性

意見	年齢	性別
面の整備。産婦人科等の充実した総合病院の整備。各地域の伝統芸術や文化スポーツの充実する取り組みの推進。		
辺野古だけが名護市ではありません。他の地域にも目を（沖縄県人だけでなく、日本国民としての立場を）。世界平和	50 歳代	男性
老人がどこへでも行けるようなまちづくり。	50 歳代	男性
基地の無い市。	50 歳代	男性
ゴミ分別を減らしてほしい。細かすぎる！基地の騒音。特に夜間 10～11 時頃まで、低空で飛んでいるヘリの音、どうにかしてほしい。子どもが寝られない。	50 歳代	男性
自分達が暮らしている地区に、商店、タクシーなどが無いので、車が無いため、買い物するのに、遠出をしないといけないので、とても大変さを感じる。	50 歳代	男性
バスの便数が少なく不便。大型の商業施設も車がないと行けないので、年をとってからだとも買い物が不便になりそう。空き家が多い。もったいないと思う。	50 歳代	男性
シンプルイズベスト。	50 歳代	男性
病院の科をしっかりと整えてほしい。妻が病気になって対応できるのが、中南部では不安でしかたない。	50 歳代	男性
医療施設（北部県立病院）の充実。	50 歳代	男性
ヘリポートの補償を、もっと目に見える方向で市政運営してもらいたい。	50 歳代	男性
ゴミのポイ捨てが多い、他の市町村に比べてゴミの分別が多いからではないか。今回のアンケートは初めてで、大いに評価します。	50 歳代	男性
ゴミ分別がお年寄りでも簡単にできるようになってほしい。	50 歳代	男性
市民が安心して生活できる医療（病院）の充実整備。	50 歳代	男性
軍事基地を作らせないため努力してほしい。住み良い環境にするために！	50 歳代	男性
ゴミ処理場を燃やさないで微生物による処理バイオマス資源化。	50 歳代	男性
助け合いの精神が培われる場所、人、金が集まるコミュニティを作り、まちづくりに強気に活動を担ってもら。明るいまちづくり。	50 歳代	男性
幼少中だけではなく、高校生以上の子どもを持つ親の経済的負担を軽くしてほしい。	50 歳代	男性
元来有する自然、環境等、すばらしい潜在的利点を生かしつつ、地域経済の向上、充実を図れるまちづくりをしていただきたい。	50 歳代	男性
医師の高齢化。産婦人科の小児科などの医療機関が不足していく状況が目前に迫っている。早く手を打たないと、若い世代が住めなくなるのではないかと憂慮しています。医師不足に本気で取り組むことが必要ではないかと思います。教育の充実も若い世代の定着には必要かと思っています。	50 歳代	女性
戦前は名護市も大綱引きが行われていたと聞いたことがあります。復活できたらいいですね！心療内科をもう少しオープンにして、買物帰りに気軽にカウンセリングを受けられるような場所や街にしてほしい！！	50 歳代	女性
市場が近くにあるのですが、店舗がどんどん少なくなっていて、活気もないように思います。駐車場も少なく、なかなかゆっくり買い物ができません。もっと広い場所に移動し、いろんなお店があるともっと多くの人達が足を運ぶのではないのでしょうか。	50 歳代	女性
最近ヘリが空を飛んでいる機数が増えた。辺野古基地、反対です！是非、飽きず、懲りずに 1 人 1 人が頑張っていきたい。子どもたちの幸せのためにも！災害についての学級会、訓練など機会を増やしてほしい。各地区で。	50 歳代	女性
自然と文化を次世代に残す取り組みをしてほしい。多くの県民が反対している新基地建設について、きちんと民意に沿って判断してほしい。米軍、基地関連の交付金に頼らない街づくりを目指してほしい。	50 歳代	女性
駐車場あっちこっちにあってほしい（アパートでなど足りない）。ネオパークのような子どもが遊べる施設（動物園、小さくても遊園地など）が、もっとあった方がよい。映画館があって、子どものアニメなど上映して、ワクワクさせたい。最近、孫ができたのでネオパークに 15 年ぶりくらいに行った時、ちょっと寂しくなっていたので、どうにか整備してほしい。観光客が来て、楽しかったと思ってくれる町づくり。中国のように、公園で、皆で朝、体操するとか。	50 歳代	女性
名護市内（市場辺りの）空店舗等の改善が必要だと思う。	50 歳代	女性
福祉に力を入れて欲しい。北部地区に、企業を増やし、若者が働ける場を作してほしいです。	50 歳代	女性
夜暗いので子どもたちが歩いて帰ってくる時危険を感じます。街灯や、カーブミラーを設置してほしいと思います。（為又）	50 歳代	女性
夫婦 2 人で住んでいます！どうしても、メンタル面で不安に陥ることがある中、気軽に利用でき、かつプライバシーが守られるカウンセリングコーナーがあればいいなと思います！あと、防犯などの対策を充実してほしいです！	50 歳代	女性

意見	年齢	性別
お年寄りにやさしい生活環境、きれいなまちづくりを望む。	50 歳代	女性
介護サービスをもう少し。	50 歳代	女性
学生（子達）の学習、進学、もっと向上し勉強に打ち込める、環境作りをもっと学校でも具体的に教えてほしいですね。	50 歳代	女性
基地問題。100 年後を考えて、未来の子孫のために。	50 歳代	女性
健康に問題があり、中・南部の病院に通っています。遠くて不便です。充実した医療が受けられるようになればと思います。若い人達が安心して子どもを産める産科も、もっと必要です。	50 歳代	女性
交通手段を確保してもらいたい。名護市が船、バス、電車、飛行機までの総合ステーションになってほしい。	50 歳代	女性
ゴミの分別が難しい。	50 歳代	女性
ゴミの分別を早く簡素化してほしい。以前はゴミの入れ物にお金がかからなかったの（ビニールや箱）、台風後や道の落ち葉等があれば、皆、積極的に片付けていつもキレイだったのに、今はいつまでもそのまま。ゴミの分別のおかげで街が汚くなったみたい。	50 歳代	女性
ゴミ分別をもう少し簡素化してほしい。お年寄り 1 人で住んでいる所はかなりのストレスを感じていると思う。	50 歳代	女性
娯楽施設、バスの交通機関。どこでも乗れる、子ども・年寄りが自由に利用できるような。運動公園、散歩・ジョギング（21 世紀を小さくした感じの場所）。	50 歳代	女性
今後、高齢者の増加が確実、公共交通が必要となる。また、子育て支援を充実しているので、多様な要望が出てくると思う。医療の充実でもっと人口を増加する可能性がある。程よい田舎感が良いと思っている。	50 歳代	女性
市街地から離れれば離れるほど、交通が不便だと思う。家族がいない老人や、高齢の人達は、車がないと住んでいくのも大変だと思う。自分が年を取ったら、ここに住んでいるかなと考えることが良くある。読谷村で見かける小さいバス（村田）は便利と思う。交通手段がないと住みにくい市だと思う。	50 歳代	女性
仕事充実し、核家族（母子家庭・父子家庭）の方達が、住みやすい町づくりにしてほしいと思います。若者の集まる町づくりが必要だと思います。	50 歳代	女性
シニアの方たちが健康増進できる施設を充実してほしい。例：名護市 B & G 海洋センタープール、プール内のウォーキング用のコースがあまりに深すぎて利用できない。子ども用のコースのように、何かを敷いて欲しい。何度か要望しているが聞き入れられない。シニアが利用できるようにしてほしい。	50 歳代	女性
商店街の活性化。	50 歳代	女性
スポーツをメインとしてもよいのではと考えます。山・海があり、施設も割とそろっている方だと思います。何かあったときの医療施設もあります。大会、合宿には選手、スタッフ、家族、ファンが来ます。バランスの良い地元食材で身体を整えることもできそうです。羽地で作ったお米、鶏卵、鶏肉、お茶、柑橘類など、スポーツに必要な食材が名護にはあります。あれこれ欲張らず、じっくりと考えた方がよいのではないかと思います。	50 歳代	女性
生活環境を整えることも大切ですが、できるだけ、自然が残るよう希望します。宇茂佐の砂浜が残っていることは素晴らしいことだと思います。お互い相手のことを思いやることのできる、地域でありたいです。子ども大人の両方で利用できる施設の充実（図書館の数を増やすなど）。	50 歳代	女性
生活保護を受けている方について。色々な事情があると思いますが、中には働けるのに働かず、遊んでいる方もあると思います。パチンコをしている話もよく聞きます。受給の条件として、月に 1～2 回程度のボランティア活動の義務化を設けたらどうでしょうか。働ける方についてだけですが、不正受給の防止にもなると思うのですが。	50 歳代	女性
滞在型観光地を目指してほしい。	50 歳代	女性
地域で見守りできる安全な町、一人が安全安心で生活が送れるまちづくり。人にやさしい町。福祉に強いまちづくり。	50 歳代	女性
ゴミの分別が簡素化できる施設の改善。	50 歳代	女性
名護市児童・生徒の給食費の無料化に反対です。ずっと続けられるなら良いのですが、一時的なら今の人には得をし、次世代の人に負担となると思う。財政が圧迫すると心配ですし、子どもが食べる物は親が払えます。	50 歳代	女性
名護市の団地を増やしてほしい！	50 歳代	女性
排水路の整備をしてほしい。	50 歳代	女性
福祉の充実。特に老後、安心して暮らせる地域であってほしい。経済的に不安なく、生きがいをもって生きられる社会。	50 歳代	女性

意見	年齢	性別
母子家庭で、子どもの進学のことと相談できる場所などが分からず、困ったことがあった。	50 歳代	女性
まず税金が高い。保育園が少ない。公園の遊具が少ない。	50 歳代	女性
町の中心に色々な遊具があり、赤ちゃんから年寄りまで年齢に合った遊びができるアスレチック的な大きな公園があったら嬉しいです。	50 歳代	女性
公共施設等が車移動を前提とした位置にあり（個々に点々とある）不便。その割に、公共交通機関も少なく料金も高い。市役所、市民会館、図書館、B&G 児童館、博物館、産支センター等は同じ建物にあると便利。箱物の統一は早急に考えるべき。土地活用を有効化に。休日に訪れる魅力も無い市街地を抱える弊害の対策。市全体のビジュアルを統一して、町をデザインし直す。市のイメージ作り（京都とかイメージが統一されている）短年的な計画ではなく、長期的なビジョンで変えるべき。今は 50 歳代で車も運転でき、生活に支障はないが、運転できなくなる 20～30 年後の生活が心配。すでに 70～80 歳以上の方々は不便を強いられていると思う。集合住宅～病院～買い物といった、町バス（低料金）があれば良い。生保を受給している方で、パチスロにお金を使い生活するお金に困り借りにくる人がいるが、現金を渡すのではなく、金券や居住のための費用にダイレクトに行く仕組みはできないものかと考える。生活弱者の取り組みだけをしている、向上心のある人は他市町村への移動を考えてしまうのでそのバランスが大切。例えば、スタバとか映画館、大型商業施設への税制面での有利さをアピールできると、（本社を移動するだけでなく施設を作る事が前提）いろんな企業が名護に移動して来るので（仮定）仕事生まれ、若年層の名護離れにストップがかかるかもしれない（仮定）市は、法人市民税が増収するかもしれない（仮定）街を考えるということは資金が必要になるので大手企業の力を少し分けてもらうといったことが一つの考え、個人企業の多い名護の弱点。期待しています。	50 歳代	女性
子ども達だけではなく、子育て世代だけではなく、お年寄りや、50～60 歳代の人達にも優しい名護市であってほしいです。	50 歳代	女性
R58 に大型バスでなく、中型のバスを通す。病院の整備。民生委員の人数を増やす。給与制にする。給与・労働の見直し。同じ時間、同じ労働でも（名護市職員）のあり方。女性議員が少ない！	50 歳代	女性
総合病院が安定してほしいです。	50 歳代	女性
基地問題で自然を大切にしたいという声が聞こえてくるが、自然を守るための具体的な活動はほとんど行われていないように思う。公金の無駄遣いになっていないか心配です。ちばる事業というものも行われているようですが、区民全体に内容が伝わっていない。一部の住民のやりたいことが進められている気がする。残念です。高評価を受けているということが。ここ数年、見慣れない人たちが区内を散策されているが、活性化とともに、住民の中には不安を覚えたり、静かでのどかな環境が失われた感も。地元民だけでなく、地区外から入ってきた方々の自然愛への意気込みの強さを感じる。エコを主張しながら、それを上手く商売（事業）につなげている。見習うべきなのか。観光客を惹きつける（呼び込む）ための造作物や企画をどんどん増やしていく。作りあげた観光地を目指すのか。今ある暮らしの環境を、きちんと清掃の行き届いた風景へと整えていくことも重要だと感じる。各家庭周辺の道の掃除、路肩の掃除、山林の手入れ、倒木の危険性のある木の伐採、海・川の浄化、挙げるときりがないが、まずできることから始めたい。生活圏を整えたい。足元の自然を見つめ直してほしい。再度、汚れていくのも時間の問題だと感じる。上流の川の汚染がすごく気になる。きれいな川でなければ綺麗な海は保てないと思う。今年の台風の後、橋近辺の（川の河口付近）海辺の景色は一変した。50 年前の海岸が戻ってきたのかと思うほど美しくなった。見かけが。生き物は？砂の下は？海は自力で掃除をしたと感じたが、砂が堆積しただけだ。これまでは海岸へ向かうと、いつも汚れていて嫌だと思いながら散歩をする、潮の香りよりもヘドロの臭いがきつく感じることもしばしばある。自然の豊かさよりも人間の生活臭（感）を味わってしまう、残念です。時間と心にゆとりのある時はなるべくゴミ（プラスチック、ガラス瓶もあり）を拾い集めたり、モクマオの小木を抜いたりすることを心掛けている。遠い昔の海の美は、生き物が豊かにいた時代を知っているだけに現在の状況に心が痛む。この地域で暮らしているということは、私も産みを汚している者の一人なのだと思う。下水道整備が必要かと思うが。下水道がなければ自力で海を汚さない暮らし方を考えていくことも必要かと思えます。	50 歳代	女性
キャンプシュワブの反対派の人達のマナーの悪く、通勤、通学に迷惑しています。改善して下さい。	50 歳代	女性
燃やさないゴミの回収、利用施設（最近TV放映）があったら良いと思う。	50 歳代	女性

意見	年齢	性別
公共交通の充実による交通弱者の支援。待機児童解消。名護市（市民）が自律的に名護市のまちづくりに参画できる仕組みづくり（他の行政機関に関与されすぎない）。	50 歳代	女性
基地に頼らない町づくり。	50 歳代	女性
保育所に入れないと悩む人が、周りに多くいました（この数年は特に）。中南部に比べ医療面が弱いと感じています。	50 歳代	女性
老人介護をしています。色々大変で、もう少し介護福祉の方もよろしく願います。	50 歳代	女性
那覇から名護までの電車があると、一番嬉しいです。これからの若い女性のためにも産婦人科が増えると良いですね。	50 歳代	女性
自転車道が整備されてきたので、サイクリングコースやレンタサイクルをもっと観光の 1 コマにアピールできたら良いと思う。海も山も絶景がたくさんあって、そばもグルメもスイーツももっと広くアピールする必要があると思う。また、辺野古の新基地は、ヘリポートの話から、まったく規模の違った計画になっていて非常に心配です。久志地区も名護市です。見捨てないで下さい。	50 歳代	女性
もっと福祉サービスを分かりやすく。スポーツ施設などの料金が高すぎる。	50 歳代	女性
お年寄りだけではなく、家庭を持っていて病院に通っている女性達の生活面の安定の環境を整えてほしいと願います。無料で健康マッサージしている場所までバスが通ってくれるシステムがあると良いと思いました。遠い方は通えないので。例えば、ファーマーズの近くにあるマッサージ施設。	50 歳代	女性
雇用環境。文化教育施設の充実。	50 歳代	女性
58 号線沿いだけでも、もう少し道の草木を整備すると、きれいな街に見えるのにもったいないです！	50 歳代	女性
辺野古に基地を作らないで下さい。	50 歳代	女性
人と動物がともに幸せに暮せる社会を目指してほしい。弱い動物の立場を考えてほしい。捨てさせないようにもっと役所でも取り組んでほしいです。	50 歳代	女性
耳の痛い話題だと思いますが、早く辺野古問題が決着してほしいです。辺野古充実のために地元企業が潤うことは、悪いことではないと思います。ただ潤った分、一般市民に広く還元を実感させなければ、今の市政に対する不信感が高まりそうで、心配です。もっと具体的に見える形で、福祉の充実、若い世代の所得増加！！これが「まちづくり」を考える上で、一番の名護市の課題だと思います。頑張ってください！！担当者様、応援します！！	50 歳代	女性
市内バスの運行。生活が大変。	50 歳代	性別不明
市内バスの充実。高齢者福祉をこれにあて、家から外に出す方向で。幼、小、中、高生等運転免許を持たない人への配慮をする。	60 歳代	男性
医療施設の充実（県外病院と医師会病院の 1 本化）。医師、看護師の充実（産婦人科、脳外科など）。若者が安心して、結婚、子育てができる収入が得られる職場の充実。名護のシンボル（なんぐすく）の充実・整備（サクラの街の復活）。	60 歳代	男性
子どもの教育の充実。子どもに投資することで将来の名護市のプラスになる。昔あった英語学校のように、誰でも低価格で学習できる施設	60 歳代	男性
子どもを安心して遊ばせる公園が少ない。老人の生活安定のため、年金を上げてほしい。または、その他の援助。	60 歳代	男性
ゴミの分別がもう少し簡単になってほしい。	60 歳代	男性
ゴミの分別をもう少し減らすか、焼却の機械を変えるという選択はありませんか。	60 歳代	男性
年間生活の半分を働きながら名護市で滞在できるシェア型、賃貸市営アパートの設置。	60 歳代	男性
津波対策。非農地（放置された農地）の宅地化。桜まつりや青空まつりでのオリオンビールの半額販売又は無料化。商工会主催のカラオケ大会の実施（のど自慢大会）。	60 歳代	男性
名護市の将来を担う人材育成のために必要な進学校を設置する必要がある。（開邦、球陽のような）。名桜大学に薬学部を設置して、父母の経済的な負担を軽減するとともに、医療界の人材育成が必要である。国際料理フェスタの規模を大きくするような取り組みを行い、町の活性化を推進してほしい。イベントのない時期のイベントの創出。空地を活用して屋台通りを創設するなど、活性化のために工夫が必要である（港区の駐車場の活用など）。市役所内の人事の適正化、能力に応じた人事の実現。	60 歳代	男性
ゴミの区別、区別する種類多すぎ。名護市の市民税の高すぎ。	60 歳代	男性
あれだけのちゅら海水族館の観光客、素通りをどうにかしたい。	60 歳代	男性
沖縄からすべての米軍基地が無くなれば、経済発展する。観光客もさらに増加、米兵による事件、レイプ、軍用機の事故などもなくなり、安心、安全に暮らせる。心から平和に暮らせる。どうしてこの単純明快なことが分からないのだろう。目先のお金に	60 歳代	男性

意見	年齢	性別
心が支配されている。地元議員は、自分の地位欲しさに自公中央セントンチューに支配されている。植民地支配されたままで良いのか。沖縄差別を先んじて受け入れるのか。奴隷根性は捨てよう。		
旧市街地市場、名護市産業支援センターなどの都市再開発に継続でないことに残念。希望の地区は郊外、宮里、為又、大北の将来へ名護市都市構想に期待する。	60 歳代	男性
給食費、保育料の無料やその他の子育て支援等の政策は、働き盛りの若者や市民に「パンとサーカス」を与えている政策が強い感だ。長期スパンでの市民の将来を見据えた持続可能な政策や市民の志気高揚を図る政策が重要では。	60 歳代	男性
公共施設の民間活用	60 歳代	男性
工場が施設の誘致をするのに道路港の整備をしてインフラを整備しなければ発展はない。	60 歳代	男性
自由でのびのび、暮らしよいまちづくりにしたら良いと思います。	60 歳代	男性
スポーツ施設の建物（武道・サッカー場等）。	60 歳代	男性
税金が高いのではと思う。保育所の待機児童が多い。公園（遊具）が少ない。	60 歳代	男性
名護市民憲章の 1・2・5 番目の 3 つを市民憲章の 3 本柱として、教育の重点を置き、経済と共に文化を大切にする意識を持った市民を増加していく、世界に誇れる名護市、名護市民を目標にすると良いと思う。	60 歳代	男性
農業大学跡地へ市役所を移転させ、港区、市役所跡、宇茂佐地区を大リゾート地として宇茂佐海岸を活かす。名護湾を利用し、クルーズ船の寄港とヨットハーバーを設けて、ハワイに負けないリゾートにする。	60 歳代	男性
バリアフリーの優しい街。	60 歳代	男性
福祉に充実している町（子ども、障害者、年寄りにやさしい町）。	60 歳代	男性
北部農林高校前の道路（ゆがふいん H o t e l ～屋部）大型ダンプ車の通行禁止にしてほしいです。とっても危険を感じています。バイパス利用してほしいです。お願い致します。	60 歳代	男性
屋部地域の海岸リゾート開発（ウォーターフロント）を重点的に進めるべきだと思う。観光客が集うリゾート施設の構築を期待する。	60 歳代	男性
行政に携わる人々の熱意が。	60 歳代	男性
色々な共同話題がある地域づくり。皆が気軽に相談、手伝いができる地域づくり。	60 歳代	男性
子育て、教育環境の充実した町。	60 歳代	男性
ゴミの分別化を止めてほしい。焼却炉の新設は、なぜできないのか。他の市町村はやっている。バス利用者が少ない為又（イオン沿線）にバス路線を通してほしい。自転車道は無駄、利用者が少ない。インターネット環境を充実させてほしい（ワイファイ、スマフォ支払等）。名護市役所を新築し、シンボルとして市内の拠点作りにする。野球、サッカー、陸上の施設を充実させ、キャンプを誘致してほしい。	60 歳代	男性
辺野古新基地を作らず、もっと観光・農業を大切にできるまちづくりに努めてもらいたい。	60 歳代	男性
。名護の大南に住んでみました。宮古島でスポーツに興味を持ち那覇マラソンに参加しました。宮古島はスポーツの盛んな町です。名護も可能性はあります。東シナ海と太平洋に面して風光は明媚で条件は揃っている。町全体がスポーツに親しむ雰囲気が必要です。名護は小学校が 10 校以上あります。小学校は親子の繋がりが強くて小学校の駅伝大会を計画してみてもは。	60 歳代	男性
映画館を作ってください。	60 歳代	男性
周囲に低所得、無気力の住人が多く、社会のセーフティネットが逆に労働意欲を奪っているように思える。社会主義的な再分配に解決策を求めすぎることの慎み、労働機会増加に直結するような施策を主に追及すべきだ。また、市役所の職員は政治信条と業務は明確に区別し、正義・公正に基づいて業務を遂行すべきだ。法律違反をしている低所得者に対し、弱者救済と勘違いに、その行為を黙認するようなことがあってはならない。	60 歳代	男性
超少子高齢化に対応した施策をもっと充実してほしい。伝統文化守りつつ、心、身体が健康になれる町になってほしい。	60 歳代	男性
数十年前から悪臭（養豚、養鶏）に悩まされ体調不良、ストレスを近隣住民は抱えています。個々のレベルではなく市として本腰を入れて取り組んでいただきたい。	60 歳代	男性
生活環境の周辺での畜産業に対する取り組みの改善がないと、地域の活性化にもよくないので至急行政の責任で良い方向へ持って行ってほしい。	60 歳代	男性
もっと若者が増えて、住人が増えてほしい。	60 歳代	男性
大浦区はチリ津波の被害を体験した住民が多いため、防災については敏感な地域です。一日も早い護岸整備、充実した避難場所の整備を要望します。	60 歳代	男性

意見	年齢	性別
米軍施設の撤去等の生活環境改善を望みます。	60 歳代	男性
辺野古への基地移設問題を、久志地域住民の身になって、もっと真剣に考えて、県民投票の結果を受けて取り組んでいただきたい。本当にこのままで良いのか？	60 歳代	男性
名護市は自然が豊かで、その自然を壊すことのないまちづくりをしてほしい。名護市を車で走っていると、道路、歩道に飲み物の容器、弁当の容器、ビニール袋が捨てられている。屋我地を散歩していて、毎日集めているが、それでもなくならない。どうにかならないか。また、犬や猫の保護活動を考えてほしい。	60 歳代	男性
名護から那覇までの交通機関を充実させてほしい。	60 歳代	男性
金の無い人の老人ホーム。金の無い人の生活保護。私に生活保護下さい。	60 歳代	男性
子どもが気軽に利用できる文化、スポーツ施設。高齢者の気軽に学べ、楽しめる施設。地域の文化活動（伝統芸能）等が気軽に体験できる施設等。	60 歳代	男性
名護城の桜の手入（肥料や管理）による毎年桜の花が開花するような取り組み。名護市役所を高台へ移転し、跡地にリゾートホテルを誘致。名護湾にクルージング船を導入（夕日やナイトツアー）。基幹病院の早期実現。	60 歳代	男性
計画的な都市運営と思えない。市民の進む先が見えない。名護市の発展を願います。	60 歳代	男性
辺野古に新基地建設反対！基地ができると住環境が一変して名護の良さが失われる。	60 歳代	男性
防災の取り組み情報の公表。	60 歳代	男性
若者が名護市内に定着できる環境、仕事の面で何か色々あれば良いと思う。	60 歳代	男性
分からない。自分の事で精一杯。	60 歳代	男性
移動手段として公共交通を利用しやすいように整備してほしい。映画などの娯楽が近くで観ることができたら良いと思います。辺野古新基地建設による交付金に依存しないで安定した収入が得られる仕事があり、夢がもてる安全な生活ができる場所。	60 歳代	女性
教育の充実、特に進学校、中高一貫校。医療の充実のためにもぜひ。進学のため、那覇・南部へ流出している。他の地域から進学のため、呼び寄せられるような。	60 歳代	女性
現在マイカーが移動手段ですが、高齢になると不便を感じるのではないかと気になる。	60 歳代	女性
高齢化が進んでいる老後充実、施設、病院（高度医療）。子ども達が遊べる施設（屋内・外）。遊べる場所がないので市外に出るのが多い。	60 歳代	女性
名護城の桜の木の手入れ、植樹、保護を改善し、「桜祭り」に見合った桜の花を咲かせたい。シルバー世代に限らず、学べる場をもっと増やしてほしい。パソコン講座（マルチメディア館以外）。市の特産物を生かした料理講習等、市営市場の利用。	60 歳代	女性
辺野古への新基地建設に反対です。基地の不安のない、安心・安全な生活を送れる名護市であってほしい。自然の豊かさを生かしたまちづくりをしてほしい。	60 歳代	女性
「アートな町・名護市」他県からもアート作品を見に来てくれるような、将来を見据えたアート作りで人を呼び込み、観光につなげる。市役所のシーサーも壊して捨てるのではなく、使えそうな物は一か所に集めてアートにする。老人会を町の行事、ボランティアに活用し、家から外に出かけられる場、健康でやる気のある老人はたくさんいると思う。	60 歳代	女性
映画館等あれば良いと思います。	60 歳代	女性
チリをすてる場所が大変そうなので、心配しています。	60 歳代	女性
居住環境・医療・福祉等の充実。生まれてから亡くなるまで安心して暮らせる名護市であってほしいし望みたい。	60 歳代	女性
桜をメインにして画期的な街づくりに着手してほしい。「ネオパーク」は市としてどのようなポジションにあるか分かりませんが、とてももったいないと思う。遊具を整え、環境整備・美化し、子ども達の遊びの拠点にしてほしい。自動車も素晴らしいですし、中・南部の施設に劣らぬ名護のメイン施設（子の）になると思います。辺野古の海は埋め立てしないで下さい。美しい海と生き物は守りたい。	60 歳代	女性
若者の働く企業の誘致。交通の便を良くしてほしい。那覇、名護間のモノレールの加速化。	60 歳代	女性
医師不足、科の整った病院。	60 歳代	女性
イベント企画を役所・商工会が共通理解し、（例、プロ野球・サッカー等の誘致）市民に働きかけ、市を盛り上げ活気付けてほしい。	60 歳代	女性
イベントの計画、協力。	60 歳代	女性
今の市長は政府の言いなりで、見込みなし。	60 歳代	女性
今は元気ですが歩けなくなったりした時に息子も病気になった場合はどうなるのか心配です。福祉がどうなっているのか、心配しています。今は夫も私も元気です。ドライバーも心配で交通便も早く良くなるとよいです。	60 歳代	女性
医療施設の充実。	60 歳代	女性

意見	年齢	性別
色々なことは分かりませんが、ゴミの問題はすべての人が大事なことで、町がきれいになるには、ストリートにゴミ箱を置いて、いつでも、どこでも、誰でも、拾って捨てることができれば良い。	60 歳代	女性
川上区、ムネサハイツ前の排水溝、閉じて、道路拡張お願い致します。	60 歳代	女性
基地のない街に暮らしたい。充実した総合病院の 1 日も早い開設を望みます。	60 歳代	女性
各家庭の前にチリを入れる箱を（網で覆うのではなく）。カラスや犬などがビニールを破り、中がちらかって汚い。市民からチリ箱を募集し、名護市独自の箱を作成し安値で購入してもらおう。チリを回収する職員も、「もっと地域をきれいにする」という意識を持って、散らばったチリを払うという教育をしてほしい。	60 歳代	女性
教育環境・保育・子育て支援などを充実させてほしいです。	60 歳代	女性
教育環境の充実。安心して住みよいまち。	60 歳代	女性
車が無い人達には日頃の買い物は市場では限りがあります。大型スーパー量販店が並ぶ地区にバスが通っていたら買い物も楽しくなると思います。	60 歳代	女性
軍事基地移住に走りそうでこわい。「ごみ」問題で近くにいつも野焼していて個人ではどうにもならない。	60 歳代	女性
現在は歩いて買い物に行っていますが、いずれ足が弱くなって買い物に行けなくなったら、近所の店もなくなり、スーパーは遠いし、心配ですね。	60 歳代	女性
国民健康保険税（年間 10 万）市民税、県民税（年間 5 万）が高くて、生活が苦しいです。（1 年分で 1 人計 15 万）それさえなければ、最高に住みやすい場所です。	60 歳代	女性
子育て、保育所の充実。	60 歳代	女性
子育て家庭への支援（給食費、保育料、医療費等）も大切だと思えるが、高齢者（65 歳以上）向けの支援があってもいいのでは。老々介護、低年金暮らし等、生活困難世帯の仲間入りで健康に気配りしながら暮らしている現状です。道路は整備されてきましたが、街灯が少なく、夜間の防犯面から早めの街灯設備を要求したいです。赤嶺病院→高橋通り→大北小通り。	60 歳代	女性
今後ますます老人が増加します。免許証返納後の足がなくなりますのでコミュニティバスを運行させ、老人用の複合施設の建設を希望します。	60 歳代	女性
最近自転車専用道路ができていますが、自転車の乗り方、マナーなどの研修もあると良いです。年をとってから今は車の移動ですが、たまには、自転車に乗って風を感じながら運動したいと思う。	60 歳代	女性
自然の保護、管理に努め、貴重な野生動植物、美しい自然、後世へ受け継いでいてほしい。	60 歳代	女性
市内だけ周るバスがあったら、とても便利。	60 歳代	女性
市内のアーケード、歩行者天国等を数回実施し、歩いて気軽に買い物等で賑わいをみせた方が良いのではないのでしょうか？	60 歳代	女性
シニアのために映画やアロマの風呂などの施設がほしい。	60 歳代	女性
自分達の住んでいる所にもっと商店街があっても良いと思う。	60 歳代	女性
市民会館を利用して、歌手や芸能人を呼び、市外からも若い人達を集め、賑やかに、華やかにしてほしい。	60 歳代	女性
市役所職員の教育。	60 歳代	女性
障害のある 30～40 歳代の人達の働ける職場がもっともっとあれば良いと思う。軽度の人がとても困っているのです。	60 歳代	女性
定年して年金だけで生活できない不安の中、過ごしております。プールで運動などしたくても、70 歳以上でなければ、お金もかかるし、65 歳以上が増えていく中、将来のため、早めに考えてほしい。	60 歳代	女性
電柱の撤去をお願いします。観光都市を目指し、まずは電柱の撤去から始めていただきたいと思います。	60 歳代	女性
特産物や特産品が見つかりません。若者が楽しめる（アトラクション、ショッピング、スポーツランド、コンサート、映画館）場所があると良いと思います。漁港はもったいない！高齢者が楽しめる、全島 G G 大会など。	60 歳代	女性
とにかく基地をなくし、静かな町。	60 歳代	女性
とにかく公園が少ないと感じる。公園があっても子どもたちの遊べる遊具環境を整えてほしい。また、安心して子どもが産める、産後のケアにも力を注いでほしい。周りのママさんたちが、産後のケアができる施設がなく困っています。総合病院の環境も、他市町村に比べ、安心できないと感じている。また、動物園などのアミューズメントパークも考えてほしい。このアンケートも目的が分かりにくい。もっと的を絞って今後の名護について考えてほしい。	60 歳代	女性
トレッキングのできるコースが名護市の山々にほしい。健康維持にも効果的では。	60 歳代	女性

意見	年齢	性別
名護市内の公園の遊具をもっと増やしてほしい。宜野座村や大宜味まで行ったことがあり、名護市内にもあれば保育園も多いので改善してほしい。名護市内に観光客が遊べる、観光（例えば21世紀のビーチ等）PRして呼んでほしい。	60歳代	女性
名護市の美化に力を入れてほしい。若い人達の働く場を作ってほしい。	60歳代	女性
名護市は中・南部に比べ、公園も少なく子ども達が安心して遊べるよう、きれいにしてほしい。	60歳代	女性
名護市は中南部の市町村に比べてスポーツ施設が少ない（例えばジスタスのようなスポーツジム）。個人的に私は中部まで出かけそのスポーツジムで汗を流しています。そのようなスポーツジムの積極的に取り入れてほしい。そうすれば名護市、北部地域のメタバが改善されるのではと思っています。ギャンブル依存症も少なくなると思います。それから最近、東江沿線にリゾートホテルが増加し外国人の観光客が増えています。名護市に経済効果をもたらすのは喜ばしいことではありますが、その反面、治安も悪くなっていく気がします。マナーの悪さ（夜大声で喋ってうるさい）経営者い市から指導してほしいです。改善されることを期待しています。	60歳代	女性
名護十字路周辺の活性化、外国人観光客への案内、相談窓口の設置、十字路に市民が気軽に健康相談できる場所や憩える場所を。	60歳代	女性
何もしない村。コンビニ・店なし。不便。	60歳代	女性
バスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所に移動できるようになったら良いと思う。	60歳代	女性
早くゴミ分別をもっと簡単にしてほしい。	60歳代	女性
保育料ただ、医療費ただで、子どもに対しては良いと思いますが、障害者、高齢者にも少しはやさしくしてほしいです。	60歳代	女性
保護生活を受けていますが、テレビもない、冷蔵庫もない、洗濯機も壊れそうで心配です。	60歳代	女性
もっと趣味やレクリエーションができる場を増やしてほしい。	60歳代	女性
若い世代が安心して働き、暮らせる子育て支援、待機児童の解消、学童保育の充実、質の向上。シルバー人材の活用、人生100歳を見据えた、健康長寿対策。生涯現役を目指し、寝たきりや要介護老人の減少のための、食・運動、脳活プログラム策定等。	60歳代	女性
若い人達の活動を期待しています。	60歳代	女性
渡具知市長のおかげで、子ども家族も共々幸せに暮らせています。	60歳代	女性
ゴミの回収の簡易化。公園整備（子どもの遊ぶ遊具）。健康のためのサービス、健康センター。年1回の健診ではなく、行くといつでも採血や血圧など、体調を整えられる場。	60歳代	女性
下水道を設置してほしい。医療施設の充実（県北と医師会の統合）。	60歳代	女性
待機児童を0にするために取り組んでほしい。友人の子ども、知り合いの人の子どもが保育所に入れないで困っているの。排水溝の水が淀んで、悪臭がして大変です。	60歳代	女性
辺野古基地ができると騒音が激しくなると思う。静かな環境で生活できることを願う。活気ある町づくり。	60歳代	女性
市営住宅の建て直し希望です。水道からサビ水が出ます。役所の方へお願いしましたが、直してくれません。どういことでしょうか。保健所に水の調査を依頼しないと工事はできないのでしょうか？役所の係の方へ水も持って行ったのですが。	60歳代	女性
いつまでも健康で楽しく生きるには植物との会話が一番。私は「おはよう」と話しかけ「私に植物のパワーを下さい、手入れしてあげます」という具合に元気なまちづくりは緑の木を育て目にやさしく、心が和む美しいグリーンのあるまち。それには水が必要です。字の住民がほしがっているダムの水を今から農業を楽しみながらやろうと考えている人に利用させたら健康で長生きできると思う。真喜屋ダムの水は出戻り区民には利用できないのですか。観光農業を目指しているのだから水が必要です。	60歳代	女性
介護の件、老人施設などが不足しています。最近、認知の方が多くなっているため、いつでも入所できるようにしてほしいです。	60歳代	女性
旧羽地村の通学路の整備。歩道の狭い場所の拡張や中学生の自転車乗りの子ども達の安全が保てる環境作りを是非考えてほしいです。街方は整備がどんどんやられるのにこちらは置いてきぼりをくらわされている気がします。	60歳代	女性
現在は車を自分で運転し、買物等に行けるが、将来的には無理なので、小型のバスが集落内まで運行できるようになってほしい。	60歳代	女性
子どもと老人が暮らしやすい町であってほしい。	60歳代	女性
住み良く活気の有る名護市を望みます。運動施設（BG、プール）金額を安くしてほしい。	60歳代	女性
住めば都、羽地は良い所です。	60歳代	女性

意見	年齢	性別
生活苦で税金を払いたくても払えない人達、病気しても病院に行けない人達、そういう人達のためにも窓口相談が優しく対応ができて、悩みが解決することで名護市に住んで良かったと思います。	60 歳代	女性
中部南部と同じレベルの医療が受けられる町に早くなってほしいと思うことが一番です。主人がクモ膜下出血で中部の病院に搬送され、とても心細い思いを体験しました。	60 歳代	女性
名護市立北部病院の建替えをお願いします。	60 歳代	女性
他の市町村に比べて、グランドゴルフ場などの健康的な遊び場が少ないような気がします。	60 歳代	女性
無料法律相談会を再開してもらいたい。	60 歳代	女性
老後に世話になる施設が充分にあるかどうかとても気になります。人生いつまで生きていられるか、心配しないで入れる場所があれば、楽しく過ごせます。	60 歳代	女性
若い人が住みやすい将来性のあるまちづくりをお願いします。税金が高すぎる。仕事がない。	60 歳代	女性
自然環境を大切にしてほしい。	60 歳代	女性
辺野古への新基地建設は絶対反対です。	60 歳代	女性
名護市は市街地でこれといった公共施設・娯楽施設のようなものがなく、観光客が素通りしていくような所だと思います。58 号線の海岸線上には、漁港、市民会館、21 世紀の森公園、ラグビー場、球場、体育館等をつなげて人が集える場を提供してほしい。	60 歳代	女性
子どもを遊ばせる公園・施設が少なすぎ。近くにお店がなくて買い物も車がないとできない。	60 歳代	女性
自分で自転車が運転できなくなり、病院に行く負担を減らすためのコミュニティバスみたいな地域の公共交通を作してほしい。子どもが遊ぶ公園が増えたが、それに伴っての管理が追いついていないので、安心して利用できる状況にしてほしい。	60 歳代	女性
済井出区は、どんどん開発が進んでいます。生れてからずっと住んでいる者にとっては、ただただびっくりするばかりです。区の変化にどう対応していけば良いのか戸惑います。でも誰にも止められません、受け入れるしかありません。この先 2～5 年内では、今以上に変わると思います。人口減、住んでいる私達はどうすればいいのかと考えます。来られる皆さんは口を揃えて良いです「いいところですね。」昔はそうでなかったはず。この先「いいところ」にするにはどうしたらいいか教えてください。	60 歳代	女性
ライフラインの充実。	60 歳代	女性
私達老人が多くなっている（人口の比率）ので将来社会福祉などの面が心配です。60 歳を超えると生活能力がなくなりますので（年金では生活できないし）、預金するのにも限界がある。	60 歳代	女性
各地域（公民館等）で災害時を想定した緊急避難訓練を実施してほしい。高齢者、生活困窮者世帯等に対して、福祉サービスや支援等の周知活動に力を入れてほしい。	60 歳代	女性
ごみ分別の簡素化、細かすぎて出せないこともあり。年月が経てばゴミ屋敷になる可能性が高い。市のイベントが分かりにくい、伝わってこない。税金の使い道が無駄のような（一年に一回のための自転車専用道路イベント）。近隣の町や村に負けているような気がする。	60 歳代	女性
総合病院としては、県立病院（現北部病院）は医師会と一緒にしない方を望んでいた。県立北部病院を充実させた方が将来の名護市民。北部地域の人々にはより良いと思っている。那覇までのモノレールがあればと思います。自然を生かしてほしい。	60 歳代	女性
バスの停留所などは昔のままで。商店街も時代と共に変わり、為又方向への大型スーパーの前とかにバス路線があると便利になると思う。	60 歳代	女性
きれいな海で観光客を呼べるようにしてほしい。	60 歳代	女性
これからの時代を担っていく子どもたち、すべての子どもたちが、特に貧困家庭の子どもたちが学ぶことができる教育環境作りを考えてほしいです。「知・徳・体」を育てたい。	60 歳代	女性
名護市内の方と生活を共にすることになり、大変お世話になっています。一つお願いがあります。私はある事情から肢体障害者になってしまいました。もう 10 年になります。当時、福祉手当があつて手続したら 9,000 円いただいて大変助かっていました。それが無くなった今は、タクシーチケットに替わりしました。これがとても利用しづらく困っています。私のように軽度の人を車は運転していますので、元に戻すということを考えてもらいと思います。このチケットは沢山残って、捨てています。	60 歳代	女性
目先の利益や活性化を目指すのではなく、豊かな自然環境を大切に歴史・文化を脈々とつないでいくまちづくりをしていただきたい。	60 歳代	女性

意見	年齢	性別
車社会の沖縄で、特に名護市は高齢者が多く、若人は都会か本土へ流れて名護市は、何があるか。地場産業はあるのかな。働きがいがあるのか、賃金はどうか、8時間働けるか（パートで5時間はダメだと思う）。観光産業だけでは、だめだと思う。もっと何か、名護市だけのものが必要だと思う。高齢者のための、各地域を巡回する、福祉バスみたいなシステムがあると良いと思う。	60 歳代	女性
「あけみお」は名護市の造語であるとしても構わないと思うのですが、その解釈には違和感を覚えます。	70 歳以上	男性
中南部に比べて専門医がいない。宇茂佐に大型スーパーが必要。路上駐車が多くて、ゴミも捨てられている。宇茂佐にアパートが多くて空が見えない。風景がよくない。	70 歳以上	男性
名護市を明るい活気溢れる市にして下さい。葬祭場をきれいにして下さい。	70 歳以上	男性
名護十字路を中心にして活気のある商店街（現在は飲食店が多く昼間が特に活気がない）を考えてほしい。旧 58 号線の街灯が少なく夜間暗い所が多い。	70 歳以上	男性
グラウンドゴルフ、パークゴルフ場の設置（健康維持、仲間作りのため）専用コース、できる事なら公認。地域に密着した街路樹の選定の方法。如何に名護に人を集めるか（観光客含）複合施設と長期滞在可能な宿泊場所作り。特に冬場は本土からの各組織の受け入れ体勢作り（受け皿）（例：北海道（農協））	70 歳以上	男性
名護湾を観光レジャー、スポーツ等。近大のマグロ養殖計画に影響無いように。若者の流出防止策として、企業誘致の土地造成及び埋立事業等。子どもをたくさん産めるような環境づくり、2～3 名以上→子育て応援。中南部並の総合病院（北部地区対象）。環境へのゴミの分別・簡素化（焼却炉の改善など。他町村並み）。	70 歳以上	男性
アメリカでは缶ビールを持っているだけで逮捕される。アルコールの昼間の相談室がほしい。私が面倒を見ます。夜の会合はありますが、昼の行き場はない。アルコールは巧妙で不可解で強力なもの。アメリカ、ロシア、ヨーロッパ各国、インド等では、スーパーの食品売り場にアルコールはない。テレビでも飲食場面は違法である。アルコールの問題は、世界を見習うべきだ。私はアメリカ 4 回、ヨーロッパ 3 回、ロシア、インド、ニュージーランド等に行きました。日本は世界に学ぶべきである。アルコールの恐さを若者に伝えたい。アメリカの禁酒法等、世界はアルコールを恐れている。日本は、アルコール問題は最低の国である。スーパーの正面に酒を売っているのは世界で日本だけ。テレビで飲むシーンがあるのは日本だけ。日本はアルコールで滅ぶと思う。昼間、午後 2 時間、アルコールで苦しんでいる人達が集まる公的場所を望む。私は 1994 年から 2012 年まで一滴もアルコールを飲まなかった。アルコールの世界的現状を分かち合いたいです。よろしくお願いします。	70 歳以上	男性
浦添市の財政のあり方などを。福祉関係などの整備が市民のために公平に取り組んでいる浦添市の財政のあり方を学んでほしいと思います。	70 歳以上	男性
街路灯の充実をしてほしい。	70 歳以上	男性
河川にゴミを捨てる人が許せない。海にゴミが流れ着いている。	70 歳以上	男性
観光地を多くしてほしい。	70 歳以上	男性
国の言いなりの名護市に未来はない	70 歳以上	男性
市役所は 20～30 年先の市のあり様を市民に示してほしい。	70 歳以上	男性
修学旅行生等の 21 世紀ビーチ利用が増えていると思いますが、着替えはビーチの管理棟の前の広場等でされているのをよく見かけます。更衣室等の施設の拡充を図ってほしい。	70 歳以上	男性
税金が高くて老人には暮しにくい感じがします。	70 歳以上	男性
滞在型の観光産業への取り組み。市内商店街の活発になるよう、市会議員の皆様、イデオロギー捕らわれず、健全な名護市発展のため尽力されてほしい。	70 歳以上	男性
名護のまちづくりの印象、58 号線のアグリパーク入口にある葬祭施設に違和感があります。また、メインストリートの放置された陳腐なアーケード施設など、行政の賑わいへの取り組みが理解できません。中心街における歩きタバコ禁止、公共施設内禁煙やイベント会場の全面禁煙の実施。	70 歳以上	男性
名護湾を整備し、大型船が入港できるようにする。観光地、リゾート地とし発展できれば最高。将来 20 万都市を目指せば、鉄軌道もできてくる。	70 歳以上	男性
東江から宇茂佐まで 4 車線と両側に駐車スペースを兼ねそなえた道を作り、道路沿いホテル、商店街奥は集合住宅の高層ビルへと大改革を望む。	70 歳以上	男性
辺野古基地反対。	70 歳以上	男性
辺野古に基地を作らないことを望む。名護の山々を利用したクロスカントリー場を作してほしい。集落に繋がると同時に子ども達の体力強化に生かせる。	70 歳以上	男性
医療、福祉、子育て、教育、貧困、各種産業等、全体的バランスのとれた発展を目指す行政に期待する。即効性があり、形が見えるだけでなく、将来的に確実に継げる行	70 歳以上	男性

意見	年齢	性別
政、長い目で見た人材育成が根本では。教育環境の充実！教育環境の施設設備の充実、環境美化（敷地、排水、植栽等。鉢物は良好なり）公園の維持、管理の徹底、質の充実。通り街の美化（例、北部病院裏、ろうきん前、良好）。イベント的な活性化ではなく日常の生活からつながる豊かな生活（身心共に）！		
基地のない名護市。	70 歳以上	男性
福祉面をもっと考えてほしい。辺野古基地問題そして自然を大事にしてほしい。	70 歳以上	男性
個人病院が多い。大きな病院がほしいです。それと医師が専門家を養ってほしい。	70 歳以上	男性
自然環境に恵まれている名護の特色を生かしたまちづくりを考えてほしい。例えば、羽地内海の周回遊歩道・羽地ダム周回自動車道と歩道等。基地のない町。福祉の充実した町。	70 歳以上	男性
浄化槽を、那覇市のように整えてほしい。	70 歳以上	男性
環境整備して下さい。	70 歳以上	男性
基地から発生する騒音（爆弾処理）の改善。	70 歳以上	男性
基地のない町にしたい。	70 歳以上	男性
少子高齢化の進む過疎地域の東海岸地域（二見～天仁屋）の振興と、低料金で乗車ができるコミュニティバスの運行。	70 歳以上	男性
年金生活なので介護保険料や国民健康保険税が重く感じる。1 年間介護保険を使用しなかった場合に少しでも返金があれば、ちょっと楽しみである。	70 歳以上	男性
ヘリパット音に流産する人が出るかもしれない。振動。	70 歳以上	男性
ヘリポート反対。	70 歳以上	男性
早急に、那覇から名護まで電車を通すこと。そうすれば医師不足が解消され、那覇も通勤可能となる。高速道路の片側（通学）路線を利用すれば、土地の買収の必要はない。	70 歳以上	男性
私の住む地域は海が目の前にあるが生活用水が流れ、海の中へ入れません。下水道の整備が必要かと思います。昔ながらの家も多く、道幅が狭く、緊急時の時や災害の時心配です。道幅等の整備も必要かと思います。バスの便が悪く、市街地に行くのに少々不便さを感じます。	70 歳以上	男性
レンタカーが多くて怖い。	70 歳以上	男性
映画館等、市民が名護市に還元して名護市民で名護市を潤すまちづくり。福祉の充実を希望。	70 歳以上	女性
北域の公園にトイレの設置（建築）をしてほしい。管理面、衛生面も考慮して。	70 歳以上	女性
病院（総合病院の充実）現在中部まで診療を受けに行っているから、産科も少ないのではと思う。地域のつながりはある方だと思うが、これからもっとつながりを深めて助け合っていける環境作りをしていきたいと思う。	70 歳以上	女性
今は介護のことで精一杯、これから色々な改善策にも目を向けたい。	70 歳以上	女性
海と山に囲まれた名護市、それは「宝」と云える。しかし全然活かされず活気のない町になっている。現在名護湾の一角に球場を建設、海の絶景を利用せずもったいないことをしている。名護にステキな大きなホテルが 2～3 軒できないと街は力をなくす！名護湾の最高の景色を生かすホテルを！東京、渋谷にいた頃、65 歳以上のバス代年 1000 円。ここはバス代も高い！車が運転できなくなったらどうすれば良いのか。大型バスを小型バスにして一律 100 円に。ゴミ袋を買うことに驚いた！無料化を。	70 歳以上	女性
観光客が足と止めて宿泊したい、是非見たい、心を引き付けるまちづくりに力をもっと考えて欲しいです。	70 歳以上	女性
基地のない、自然な環境にしてほしい。	70 歳以上	女性
現在ある自然を守る。生活を体験できる観光。	70 歳以上	女性
子育ては保育料、給食費無料で良いことですが、年金の少ない老人のことも考えてほしいです。	70 歳以上	女性
市内バスに乗車して、5 地区に行けるようにしたり、スーパーや病院等で乗り降りることできるようにしてほしい。高齢者の運転免許の返納等に合わせ、自家用車がなくても暮せる名護市に取り組んで下さい。自宅が袋地である河川に面した場所で道幅が狭い等、ゴミ収集日が自宅前でなく橋の所まで持っていく。風の強い日はゴミ入れが飛ばされ困っています。道幅が狭いため車の出入りが容易でない。市民 1 人 1 人が幸せに暮らせる名護市にして下さい。	70 歳以上	女性
食による健康づくり。特に子育て中の母親の食に対する考え方。	70 歳以上	女性
生活環境の排水、何度も予算がないとか、私有地（何故私有地に流しっぱなし）言い訳で解決しない。前からの担当の方がもういない等。各地で現実起こっている災害にとっても不安、もっともっと見てほしい。今なら防げる手段がある。差別を感じる。	70 歳以上	女性
税金が高い。その他の公共料金も。生活保護の見直しをお願いします。	70 歳以上	女性

意見	年齢	性別
徒歩で買い物に行くため、お店に行く所にバスが通らないため不便。	70 歳以上	女性
乳児、幼児のいる家族が安心して遊べる場所を作ってもらいたい。最近できている宜野座の見本を見て来てもらいたい。	70 歳以上	女性
バスの市内線を非常に要望します。	70 歳以上	女性
辺野古基地がなければ最高の場所です。	70 歳以上	女性
辺野古に基地はいらないと思う。	70 歳以上	女性
マラソンや自転車レースなど、大きなイベントが、年間行事として、たくさんあり、活気があって楽しみです。ボランティアなど大変と思いますが、多くの支援をこれからも続けて欲しいです。	70 歳以上	女性
目が不自由なので、アンケートは送らないでほしいです。このアンケートは人に見てもらって書いています。	70 歳以上	女性
もっと交通（バスの本数が少ない）が便利になれば良いし、バス代が高いと思います。知人などもバス代が高いと言っています。	70 歳以上	女性
市内バスあったら良いと思います。政府や役所関係を通る時だけでも税理の時、2月16～30日の時だけでも今までいつも歩いていました。歩くのは健康で良いですけど、年をとるとトイレが。私は個人的に名護市役所に良くしてもらっています。また市民の広場に色々な相談の電話番号もありますので、そのうちに相談に行こうと思います。	70 歳以上	女性
ジュゴン、サンゴきれいな海にたくさんの生き物～さかな、たこ、海草類～名護の海は自然のままで守りたい！！きれいな海、きれいな沖縄の上を軍用機は飛んでほしくない！！	70 歳以上	女性
農業政策でどうにかなりません。現在地域では以前畑だった所に空地ができ、そこに建売住宅ができつつある。以前私が畑にいた時も「この土地売ませんか？土地を探している」と来た人がいた。働き手がいないため売ってしまうのかも分かりませんが、はたしてこのままでいいものか気になる。	70 歳以上	女性
運転免許返納後も不自由なく生活できるように交通機関を充実してほしい。自然環境に恵まれた市。	70 歳以上	女性
羽地地域に市でパークゴルフ場を作してほしい。健康寿命を延ばす。子ども達が安心、安全に遊べるような施設の整った公園の設営。	70 歳以上	女性
幼稚園では1人で足りないと開園できないのは大変なことだと思う。1人でも子どもに目を向いてほしい。外から見える市場にしてもらいたい（見えない市場）。	70 歳以上	女性
海を壊さないで下さい。	70 歳以上	女性
川の土砂を取ってほしい。大雨が降ると橋に木がかかって怖いです。	70 歳以上	女性
娯楽施設が少ないことや町の景観に細やかな配慮がほしいです。ポイ捨て等。空き家対策等。車検切れの車がそのまま放置されていたりして（道路に）。また、ハブ対策等にも力を入れてほしいです。	70 歳以上	女性
市長さんが変わってすぐ道がきれいになったのはびっくり、でも今は皆忙しいのでしょうか、せめて台風の後ぐらい道の点検をして安心して暮らしていけるようにお願いいたします。	70 歳以上	女性
生活環境を整え、若者が我が故郷に住めるよう、今から整備をしていかないとどんどん過疎化が進み、市町だけが栄え小さな部落は廃れて行き、人口もますます減って行き老人だけの部落になります。市政をすみずみの市民のため頑張ってください、心よりお願いします。ずっと住み続けたい名護のために。	70 歳以上	女性
道路にゴミがたくさんある。飛行機の騒音が多い。海沿いにゴミがたくさんある。道路の草刈りの方々にいつもありがとうございますと思っていますが、道路端の草だけ刈らないで、ゴミや土地などきれいに掃除してほしい。信号機を待っている間タバコのすいがらをポイ捨てしてゴミで溜まっている。	70 歳以上	女性
羽地地区は交通が不便です。周りにスーパーもないので買い物するにも支障をきたしています。特に80歳代以上の人にとって、市内バスを通してもらえれば助かると思います。羽地地区には公共施設がなく、他の地域と比べると利用するには名護地区に行かざるをえません。	70 歳以上	女性
部落内の歩道の整備、下水道の整備、（羽地地区内の）河川の整備を早急にしてほしい。	70 歳以上	女性
辺野古新基地建設に反対の取り組みが必要だと思います。	70 歳以上	女性
山は自然界の父で、海は命を育む母であります。今現在、家族（名護市民が）の兄弟喧嘩中は（意見の対立）最高案の計画、実行をしても、表向きは盛り上がりますが、本当の意味の成功は限り無くゼロに近く感じます。家主（市長）は命がけで自然界	70 歳以上	女性

意見	年齢	性別
(神様)を守り、和合し、兄弟仲良く平和で穏やかな家庭を築くのが使命ではないでしょうか。		
基地問題を解決してほしい。	70 歳以上	女性
交通機関の充実と防災に向けた取り組みが充実して災害に強い地域になればなお良い。	70 歳以上	女性
子育て支援も大事だと思うけど、日本（沖縄）を支えて来た老人を大切に、老人ホームが必要と思います。	70 歳以上	女性
自然環境を守り、静かに暮らせる。	70 歳以上	女性
新基地建設を止めてほしい。強く反対する。	70 歳以上	女性
生活保護受けている人の徹底調査をしてほしいです。（自家用車・飲酒をしている）	70 歳以上	女性
早朝、夜間演習がなければ、将来は良い町になると思います。	70 歳以上	女性
原野の開発をして、若い人達に、儲かる農業をやってもらいたいです。	70 歳以上	女性
ヘリポート中止。	70 歳以上	女性
これから老人になります。病院が少ない、老人ホームが高くて、入所ができない。これからの医療を充実して下さい。	70 歳以上	女性
見せかけ、上辺だけではなく、日常生活の中で改善が必要だと思います。調査も多いけど活かしていますか。チリ問題にしても分別の難しさに他地区から子ども達を取りにくる老人もいます。中身のない名護市だとよく聞きます。	70 歳以上	女性
屋我地にお店（コンビニ）や、信号機も設置してほしいです。	70 歳以上	女性
名護市は経済特区であり、他国から国内の資産人科類の方々を名護市に投資資金のコントロール。名護市シンボルタワー（仮）など等々、市営バスをお考え下されると助かります。市役所→スーパー→病院市内買物関係等々。高齢社会、即ち、幸齢社会。現代の成熟社会、即ち、充実社会の模範市に！人間の通る道、四門、生老病死の名護の美しさは心の郷だからではありません。戦後の日本は東京タワー作りよりスタートしました。名護市内にシンボルタワーがあるとすばらしい歴史ができあがります。	年齢不明	性別不明

**第5次名護市総合計画策定に向けての
基礎調査報告書
＜アンケート調査結果分析編＞**

発行年月：令和元年5月

編集・発行：名護市役所 地域政策部 企画情報課

〒905-8540 沖縄県名護市港一丁目1番1号

TEL：0980-53-1212（内線239）